

平成 9 年 研究業績目録

(前段：和文業績)
(後段：欧文業績)

院 長 Director-General

抄録のある学会報告

古市圭治, 上畑鉄之丞, 磯野威. 情報科学センターをめぐって. 第10回公衆衛生情報研究協議会, 高崎, 1997.1(特別講演)

学術報告書等

古市圭治. 平成8年度総合的地域健康教育検討事業(班長古市圭治)報告書. 公衆衛生振興会, 1997

次 長 Deputy Director-General

原 著

上畑鉄之丞. 精神的ストレスと健康—労働関連性の疫学. 日本災害医学誌, 1996; 44(6): 389-396

上畑鉄之丞. 過労死・精神疾患労災裁判の最近の動向. タイプA, 1997; 8(2): 19-27

若松弘之, 金田麻里子, 上畑鉄之丞. 老人保健事業対象人口率調査からみた健康診査受診状況—職域での健康診査受診状況を中心に. 厚生の指標, 1997; 44(2), 22-27

総 説

上畑鉄之丞. ストレスと循環器疾患. 循環器科, 1997; 41: 563-568

上畑鉄之丞. 地域の小規模企業で働く人たちの健康管理. 保健婦雑誌, 1997; 53(7): 519-522

上畑鉄之丞. 症例からみた突然死—ストレスによる症例. メディカル朝日, 1997; 26(9): 18-21

上畑鉄之丞. Acute coronary syndrome の発症予防—ストレス・過労の影響と対策. CARDIAC PRACTICE, 1997; 8(4): 89-92

著 書

介護福祉士養成講座10, 医学一般, 上畑鉄之丞他(共同監修), 中央法規, 東京, 1997

産業保健からみた突然死, 上畑鉄之丞, 心臓性突然死(村山正博, 笠貫宏編), 医学書院, 東京, 1997: 57-62

抄録のある学会報告

上畑鉄之丞, 杉澤あつ子, 土井由利子. 産業労働者の心疾患発症と生活ストレス要因に関する疫学研究. 第7回日本疫学会総会, 東京, 1997.1

古市圭治, 上畑鉄之丞, 磯野威. 情報科学センターをめぐって. 第10回公衆衛生情報研究協議会, 高崎, 1997.1(特別講演)

上畑鉄之丞. ストレス関連疾患, 第70回日本産業衛生学会シンポジウム, 「産業ストレスの課題とその対策」, 富山市

上畑鉄之丞. 産業労働者における循環器疾患の予防管理—基調報告, 第70回日本産業衛生学会パネルディスカッション, 富山市

上畑鉄之丞. 保健所長は医師でなければならないか, 第38回社会医学研究会フォーラム, 最近の保健・医療・福祉従事者の課題, 札幌市

学術報告書等

上畑鉄之丞, 石井享子, 他. 高齢者のための健康と生きがいづくりに関する研究. 高齢者のための健康と生きがいづくりに関する研究検討委員会(委員長上畑鉄之丞), 報告書, 平成8年度老人保健健康推進事業, 1997.3

上畑鉄之丞. 教育研修教材の改善—事例研究とその執筆について. 平成8年度総合的地域健康教育検討事業, 班長古市圭治)報告書, 公衆衛生振興会, 1997: 73-78

上畑鉄之丞, 杉澤あつ子, 他. 日本の産業労働者のストレスと健康総合調査報告(代表: 上畑鉄之丞). その3: ストレス疾患労災研究会, 1996

土井由利子, 上畑鉄之丞他. 日本における働く女性の労働状態, 仕事の特徴, 職場ストレスに関する横断研究, 第3回「健康文化」研究助成論文集, 1997: 103-110

視聴覚資料/電子媒体等による研究成果

上畑鉄之丞, 鳩野洋子, 菊地頌子共編. 保健婦たちのあゆみ. 東映, 東京, 1997

Proceedings with Abstracts

Uehata, T. **Epidemiological findings of work-related cardiovascular diseases**, International Symposium of Work-relatedness of Stroke and Heart Diseases, Feb, 1997, Seoul, Korea

Uehata, T., Sone, T. **Present situation and future development of professional education and training for public health personnel in Japan**, Workshop on the Development of the Appropriate Public Health Personnel Training Strategy toward 21st Century, Seoul, Korea

総務部国際協力室 International Cooperation Office

総説

大原賢了, 逢見憲一, 林謙治. **アジア地域の保健システムの動向について**. 厚生指標. 1997; 44(8): 3-14

土井 徹, 陳, 大原賢了. **老人保健施設実態調査からみた継続在所者の家族状況**. 厚生指標. 1997; 44(15): 10-16

学術報告書等

林謙治, 大原賢了. **諸外国の保健システムの比較に関する研究**(主任研究者 林謙治). 平成8年度厚生科学研究費補助金厚生行政科学研究報告書, 1997

大原賢了. **公衆衛生分野における研修のあり方に関する研究**(主任研究者 大原賢了). 平成8年度厚生科学研究費補助金厚生科学特別研究報告書, 1997

Books

Kenryo Ohara. **Health System in Japan: Health Care System in Asia-Pacific Region** (APACPH Joint Project). 1997; 189-204

Kenryo Ohara, Kenji Hayashi. **Health Care System in Selected Asian Countries: Health Care System in**

Asia-Pacific Region (APACPH Joint Project). 1997; 205-220

Proceedings with Abstracts

Kenryo Ohara, **Unexpected E.coli O157 Outbreaks in Japan**. Asia-Pacific Academic Consortium of Public Health. Perth. Dec. 1997; 88-89

保健統計人口学部 Department of Demography and Health Statistics

原著

村上義孝, 橋本修二, 土井徹, 大橋靖雄, 郡司篤晃, 林謙治. **患者の受療行動・満足度に関する調査項目の信頼性と妥当性**. 日本公衆衛生雑誌. 1997; 44(1): 22-32

土井徹, 陳. **老人保健施設の全国調査における在所者レコードのリンケージ**. 日本公衆衛生. 1997; 44: 532-539

土井 徹, 陳, 葛西健. **老人保健施設における在所者の追跡継続率に関する研究**. 厚生指標. 1997; 44(3): 14-20

橋本修二, 中井里史, 土井徹, 林正幸, 山東太介, 野田広. **老人保健施設入所者の在所期間の指標とその年次推移**. 厚生指標. 1997; 44(10): 11-16

土井徹, 陳, 大原賢了. **老人保健施設実態調査からみた継続在所者の家族状況—老人保健システムの中の老人保健施設アセスメントに向けて—**. 厚生指標. 1997; 44(15): 10-16

島悟, 荒井稔, 廣尚典, 角田透, 柱宗孝, 阿部康男, 森岩基, 林剛司, 塚本浩二, 庄司正実, 中川茂昭, 小泉典章, 野田順子, 鎗川圭一郎, 三藤康嗣, 新居智恵, 倉林るみい,

池田正男, 北村俊則, 藤縄昭, 丸田敏雄, 加藤正明. **勤労者におけるA型行動パターンに関する研究**. タイプA. 1997; 8(1): 47-53

三藤芳子, 佐藤准子, 兵井伸行. **発展途上国における臨床検査の適正技術に関する検討—特に妊産婦管理における超音波検査の役割について—**. 臨床病理. 1997; 45(8): 778-784

総説

林謙治. **変化する避妊と人工妊娠中絶**, 医学のあゆみ別冊. 1997: 15-18

大原賢了, 逢見憲治, 林謙治. **アジア地域の保健システムの動向について: インドネシア, フィリッピン, マレーシア, 韓国の状況**. 厚生指標. 1997; 44(8): 3-14

抄録のある学会報告

橋本修二, 中井里史, 陳, 土井徹, 曾根智史, 山東太介, 野田広. **老人保健施設の在所期間と関連要因 第1報 在所期間と退所後の状況**. 第56回日本公衆衛生学会, 神奈川. 1995.10: 197

土井徹, 陳颺, 橋本修二, 中井里史, 曾根智史, 山東太介, 野田広. 老人保健施設の在り期間と関連要因 第2報 入居者の在宅介護上の問題点. 第56回日本公衆衛生学会. 神奈川. 1995.10; 198

陳颺, 土井徹, 橋本修二, 中井里史, 曾根智史, 山東太介, 野田広. 老人保健施設の在り期間と関連要因 第3報 在り期間と家庭介護力. 第56回日本公衆衛生学会. 神奈川. 1995.10; 199

中井里史, 橋本修二, 陳颺, 土井徹, 曾根智史, 山東太介, 野田広. 老人保健施設の在り期間と関連要因 第4報 在り者の療養意欲と生活満足度. 第56回日本公衆衛生学会. 神奈川. 1995.10; 200

内海優子, 西田茂樹. 発展途上国における保健活動の推進方法に関する研究—わが国の愛育班活動の経験を通じて—. 第12回日本国際保健医療学会, 茨城県結城. 1997.7; 169

鎌田明美, 綿引信義, 西田茂樹. 青森県と全国の平均寿命の格差の統計的分析. 第46回東北公衆衛生学会, 弘前. 1997.7; 35

瀧上博司, 永井正規, 西田茂樹. 出生コホートによる出生率の検討. 第56回日本公衆衛生学会総会, 神奈川. 1997.10; 193

野原真理, 須藤紀子, 高田紀子, 鷹箸右子, 脇坂美和子, 比嘉陽子, 福田邦子, 前田清美, 築場玲子, 信濃有美, 吉村伸子, 小田宏子, 富田素子, 加藤則子, 野田順子, 綿引信義, 西田茂樹. 育児支援施設の連携についての調査—第1報— 一施設間の連携の実態について—. 第56回日本公衆衛生学会総会, 神奈川. 1997.10; 882

高田紀子, 野原真理, 須藤紀子, 鷹箸右子, 脇坂美和子, 比嘉陽子, 福田邦子, 前田清美, 築場玲子, 信濃有美, 吉村伸子, 小田宏子, 富田素子, 加藤則子, 野田順子, 綿引信義, 西田茂樹. 育児支援施設の連携についての調査—第2報— 一保健所の各種育児支援事業の認知度について—. 第56回日本公衆衛生学会総会, 神奈川. 1997.10; 883

須藤紀子, 野原真理, 高田紀子, 鷹箸右子, 脇坂美和子, 比嘉陽子, 福田邦子, 前田清美, 築場玲子, 信濃有美, 吉村伸子, 小田宏子, 富田素子, 加藤則子, 野田順子, 綿引信義, 西田茂樹. 育児支援施設の連携についての調査—第3報— 一保健所の育児支援への期待について—. 第56回日本公衆衛生学会総会, 神奈川. 1997.10; 884

松井康弘, 大迫政浩, 田中勝, 畑栄一, 柿崎賢志, 藤波博. ごみ分別収集に対する市民参加の実態. 全国都市清掃会議. 東京. 1997.1; 16-18

松井康弘, 大迫政浩, 田中勝, 畑栄一, 柿崎賢志, 藤波博. ごみ分別収集に対する市民参加とその意識構造. 全国都市清掃会議. 東京. 1997.1; 19-21

家田重晴, 後藤ひとみ, 田中豊穂, 戸部秀之, 西岡伸紀, 畑栄一, 渡邊正樹. 学校健康教育の内容体系の検討, (3) 3部9系列の内容体系案. 日本学校保健学会. 愛媛. 1997.10; 81-82 (学会共同研究).

西岡伸紀, 渡邊正樹, 畑栄一, 戸部秀之, 田中豊穂, 後

藤ひとみ, 家田重晴. 学校健康教育の内容体系の検討, (4) 「安全」の系列に関する内容の校種別配当. 日本学校保健学会. 愛媛. 1997.10; 82-83 (学会共同研究)

篠田道代, 畑栄一, 加藤一之, 中村志富. 3歳児の体型と食事に対する母親の意識. 日本公衆衛生学会. 神奈川. 1997.10; 793

和田秀代, 辻川仁美, 田中良明, 三井文子, 赤尾典子, 渡邊まり, 磯浜亜矢子, 上住津恵, 渡邊かおり, 檀原三七子, 岩永俊博, 畑栄一, 川南勝彦, 佐藤加代子, 石井敏弘. 地域づくり型保健活動の展開1, 参加態度の段階的变化. 日本公衆衛生学会. 神奈川. 1997.10; 502

磯浜亜矢子, 根本仁美, 和田秀代, 三井文子, 田中良明, 赤尾典子, 渡邊まり, 上住津恵, 渡邊かおり, 檀原三七子, 岩永俊博, 畑栄一, 川南勝彦, 佐藤加代子, 石井敏弘. 地域づくり型保健活動の展開2, 住民の参加態度の変化をもたらした支援. 日本公衆衛生学会. 神奈川. 1997.10; 503

田中良明, 根本仁美, 和田秀代, 三井文子, 赤尾典子, 渡邊まり, 上住津恵, 磯浜亜矢子, 渡邊かおり, 檀原三七子, 岩永俊博, 畑栄一, 川南勝彦, 佐藤加代子, 石井敏弘. 地域づくり型保健活動の展開3, 展開のために働いた機能. 日本公衆衛生学会. 神奈川. 1997.10; 504

Yasuhiro Matsui, Masahiro Ohsako, Masaru Tanaka, Eiichi Hata, Hiroshi Fujinami. A Structural Model of Recycling Behavior. 廃棄学会研究発表会英語セッション. 埼玉. 1997.10; 39-41.

高田紀子, 福島富士子, 畑栄一. 父親の「子供の世話」に対する意識調査. 日本小児保健学会. 京都. 1997.11; 188-189

野田順子, 土井由利子, 森田博. 女子中学生における抑うつについて. 第15回日本小児心身医学会. 盛岡. 1997.9; 140

土井由利子, 野田順子, 森田博. 女子中学生におけるこころとからだの健康. 第56回日本公衆衛生学会. 神奈川. 1997.10; 854

秋山潮子, 野田順子. 地域での家族支援における保健所の役割—精神障害者家族教室をととして—. 第56回日本公衆衛生学会. 神奈川. 1997.10; 1075

福田邦子, 野田順子. 地域精神保健福祉の「支え手」に関する研究. 第56回日本公衆衛生学会. 神奈川. 1997.10; 1079

兵井伸行, 綿引信義. 多国間・二国間援助機関による保健医療プロジェクトの評価について. 第12回日本国際保健医療学会, 茨城県結城. 1997.7; 101

佐藤准子, 工藤芳子, 兵井伸行. 妊産婦管理における臨床検査体制に関する一考察—タイおよび中国におけるヘマトクリットの制度管理調査を通して—. 第12回日本国際保健医療学会, 茨城県結城. 1997.7; 134

工藤芳子, 佐藤准子, 兵井伸行. 発展途上国における臨床検査の適正技術に関する検討—タイ農村部医療施設における超音波検査導入状況について—. 第12回日本国際保健医療学会, 茨城県結城. 1997.7; 85

綿引信義, 兵井伸行. 人口・家族計画プログラムに関する調査研究の動向について, 第12回日本国際保健医療学会, 茨城県結城. 1997.7; 106

学術報告書等

林謙治. 厚生省国際医療協力委託研究, 環境と健康問題を中心とした国際協力のあり方に関する研究報告書 (主任研究者 林謙治): 1997

土井徹. 老人保健施設実態調査における平均在所日数に与える影響要因の把握方法の改善に関する研究. 平成8年度厚生科学研究費厚生行政科学研究 (主任研究者橋本修二). 研究報告書: 1997; 3-39

西田茂樹. 保健所長資格のための教育—国立公衆衛生院での医師を対象とした長期課程カリキュラムの一試案—, 平成8年度総合的地域健康教育検討事業公衆衛生における卒後教育研修体系に関する研究 (主任研究者: 長田泰公) 1996年度報告書: 1997; 17-28

久松由東, 西田茂樹, 上畑鉄之丞. 教育研修の評価方法, 平成8年度総合的地域健康教育検討事業公衆衛生における

卒後教育研修体系に関する研究 (主任研究者: 長田泰公) 1996年度報告書: 1997; 47~57

兵井伸行. ベトナムでの新しい試み. 世界と人口, 1997; 275: 7-11

兵井伸行. 第二国研修事前調査報告書 ベルー母子保健・家族計画. 国際協力事業団: 1997; 4-6, 15-19

兵井伸行. ヴィエトナム国リプロダクティブヘルスプロジェクト長期調査員報告書. 国際協力事業団: 1997; 16-21

内山巖雄, 佐々木昭彦, 兵井伸行, 原沢英夫, 本田靖, 門司和彦, 竹本泰一郎, 本田純久. 社会集団の健康事象に及ぼす気候変動の影響—アジア太平洋地域のライフスタイル研究—, 平成8年度環境庁地球環境総合研究「地球温暖化によるアジア太平洋地域社会集団に対する影響と適応に関する研究B-10 (3)」, 1997.5

視聴覚資料/電子媒体等による研究成果

西田茂樹(監修). シリーズ日本の公衆衛生 国立公衆衛生院60年の歩み. 東映: 1997.

Originals

Hayashi K. **Induced Mental Disorders due to Unintended Pregnancy, US-Chinese Psychosomatic Medicine J.** 1997; 1(3): 151-153 (in Chinese)

Hayashi K and Gao J. **Demographic Impact on Environment —A Case Study in China Focussing on CO2 Emission—**. National Institute of Population and Social Security. 1997; Research Series, No.290: 9-16

Proceedings with Abstracts

Hayashi K. **Health Insurance and Nursing Care.** International Conference Toward the 21st Century: State, Family and Social Welfare, 11, Taipei, 1997 Mar.

Hayashi K. **Adolescent Sexuality in Japan.** Asia

Pacific International Symposium on Adolescent Health: Problems and Opportunities, 35, Ulanbataar, Mongolia, 1997 June

Hayashi K. **Health Care for the Elderly in the 21st Century.** International Symposium on the Emerging Issues of Health care in the 21st Century, 23, Taipei, 1997 October

Hayashi K. **Emerging Transition in Fertility—Sex Preference at Birth in East Asia—**. International Symposium on Emerging Issues in the 21st Century, 84, Perth, 1997 Dec.

Hyoj, N., Watahiki, N. **Evaluation of Health Projects by Multilateral and Bilateral Aid Agencies.** The 12th Conference of Japan Society for International Health, 101, Ibaraki, 1997 July

疫 学 部

Department of Epidemiology

原 著

橘とも子, 本保善樹, 増山英則, 高瀬昭, 桜山豊夫, 後藤辰子, 箕輪眞澄. 都立某高校における結核集団感染: 感染源患者との接触状況とツベルクリン反応発赤径との関連を中心とした検討. 日本公衛誌. 1997; 44(1): 61-71

三徳和子, 星融, 尾崎米厚, 箕輪眞澄. 専門学校生徒における喫煙率とたばこ依存度. 厚生指標. 1997; 44(3): 26-30

大井田隆, 尾崎米厚, 望月友美子, 関山昌人, 箕輪眞澄. 看護婦の喫煙行動に関する調査研究. 日本公衛誌. 1997; 44(9): 694-701

玉腰暁子, 川村孝, 大野良之, 橋本修二, 箕輪眞澄, 稲葉裕, 藍沢茂雄. 全国疫学調査による難病受療患者数の推計——大野班3年間(1993-95年度)の成績. 日本医事新報, 1998; (3843): 25-28

吉川領一, 日詰正文, 山本京子, 藤田利治. 乳幼児発達健診における精神発達検査の開発. 日本公衛誌. 1997; 44(3): 207-219

眞崎直子, 藤田利治, 甲斐祥一, 財津裕一, 平泰子, 近藤くみ子, 山下清香, 畑田一憲. 精神科医療保護入院後の退院患者の再入院とその関連要因. 日本公衛誌. 1997; 44(5): 372-382

山田兼雄, 森和夫, 木村哲, 三間屋純一, 伊藤正彦, 丹

後俊郎. HIV 感染症に対する ddI 単独療法及び SNMC, ddI 併用療法の臨床比較試験. 臨床とウイルス. 1997; 25: 249-261

木村恵子, 長田斉, 矢澤正人, 小松崎理香, 青山句, 和田聖一, 伊谷公男. 1歳6カ月児歯科健康診査の乳歯う蝕罹患分類における O₁, O₂型判の定基準に関する研究. 口腔衛生学会雑誌. 1997; 47: 11-19

田村文蒼, 水上美樹, 綾野理加, 向井美恵, 金子芳洋, 青山句, 小倉草, 白田祐子. 在宅高齢者および中途障害者のむせと姿勢との関連. 摂食, 嚥下リハビリテーション学会. 1997; 1: 57-68

総 説

箕輪眞澄. 疫学的アプローチの意義 (特集: 感染症, 伝染病の予防医学・医療). 月間保因連. 1997; (530): 11-16

箕輪眞澄. なぜ日本では喫煙率が下がらないのか. 総合臨床. 1997; 46: 2199-2200

箕輪眞澄. 禁煙と肺以外のがん. 癌の臨床. 1998; 44(1): 7-11

箕輪眞澄. 禁煙と肺以外のがん. 公衆衛生研究. 1997; 46(3): 234-248

箕輪眞澄, 尾崎米厚, 大井田隆, 川口毅. 三重県の教職員の喫煙対策に対する態度: 専門教科および勤務先との関係. 日本衛生学会誌. 1997; 52(1): 236

丹後俊郎. 線形関係式における Bootstrap 法の利用方法. 臨床検査. 1997; 41: 830-832

藤田利治. 薬剤疫学とその手法. ファルマシア. 1997; 33(2): 166-170

藤田利治. 薬剤疫学に必要なとされる情報基盤. 月刊薬事. 1997; 39(5): 909-912

藤田利治. 薬剤疫学に有用なデータ. カレントセラピー. 1997; 15(6): 162-164

青山句. 8020を阻害する要因: 抜歯の原因. 公衆衛生研究. 1997; 46: 13-16

青山句. 歯および口疾患の対応とその予防. 小児科臨床. 1997; 50: 229-235

尾崎米厚, 箕輪眞澄. 腸管出血性大腸菌 O157集団感染事例への保健所の対応. 公衆衛生研究. 1997; 46(2): 92-97

尾崎米厚. インターネットと公衆衛生情報. 保健婦雑誌. 1997; 53(1): 80-81

尾崎米厚. 薬害エイズから何を学ぶか. 保健婦雑誌. 1997; 53(6): 508-509

尾崎米厚. コミュニティヘルス, アプローチの昨日, 今日, 明日—コミュニティ変貌の視点から—. 日本公衛誌. 1997; 61(3): 155-160

尾崎米厚. 企業における喫煙関連医療費. 医学のあゆみ. 1997; 183(7): 470-471

尾崎米厚. 最近の食中毒の動向. 順天堂医学. 1997; 43(3): 503-505

尾崎米厚. 新興, 再興感染症. 保健婦雑誌. 1997; 53(13): 1094-1100

吉宮仁美, 尾崎米厚, 母里啓子. 中学生をもつ親をととした性, エイズ教育の実態と意義についての研究. 学校保健研究. 1997; 39(4): 364-373

著 書

箕輪眞澄. 喫煙と疾患: 喫煙とニコチン依存. 織田敏次, 森亘総監修: ハイパー臨床内科. 東京: 中山書店. 1997. (CD-ROM 版)

箕輪眞澄. 喫煙と疾患: たばこ煙とその健康影響の概観. 織田敏次, 森亘総監修: ハイパー臨床内科. 東京: 中山書店. 1997. (CD-ROM 版)

箕輪眞澄. 喫煙と疾患: 悪性新生物. 織田敏次, 森亘総監修: ハイパー臨床内科. 東京: 中山書店: 1997. (CD-ROM 版)

箕輪眞澄. 喫煙と疾患: 呼吸器疾患. 織田敏次, 森亘総監修: ハイパー臨床内科. 東京: 中山書店: 1997. (CD-ROM 版)

箕輪眞澄. 喫煙と疾患: 循環器疾患. 織田敏次, 森亘総監修: ハイパー臨床内科. 東京: 中山書店: 1997. (CD-ROM 版)

箕輪眞澄. 未成年者における喫煙防止の意義. 柏木昭, 篠野脩一編: 医療と福祉のインテグレーション. へるす出版. 東京: 1997; 146-155

小林修平, 光安一夫, 西村誠, 下田智久, 石井拓男, 箕輪眞澄, 青山句, 花田信弘, 養老孟司, 斉藤毅. 口腔保健と全身的な健康. 口腔保健協会. 1997

丹後俊郎. 小児基準値の設定方法. 小児基準値研究班編. 日本人の小児の臨床検査基準値. (財)日本公衆衛生協会. 1997; 467-473

抄録のある学会報告

箕輪眞澄, 尾崎米厚, 三徳和子, 星融. 専門学校生徒における喫煙: 喫煙についての知識と態度. 第7回日本疫学会学術総会抄録集, 名古屋. 1997. 133

箕輪眞澄. 公衆衛生情報のニーズと供給. 第10回公衆衛生情報研究協議会研究会抄録集, 高崎. 1997. 11-12

上島弘嗣, 岡山明, 喜多義邦, 箕輪眞澄, 橋本勉, 飯田稔, 嶋本喬, 柳川洋, 堀部博, 柴田茂男, 児玉和紀. 喫煙の循環器疾患死亡に及ぼす寄与危険度: NIPPON DATA より. 日本衛生学会誌, 東京. 1997. 52(1): 82

箕輪眞澄 (座長: 秋葉伯澄). 禁煙と肺がん以外のがん. シンポジウム「日本人の喫煙とがん」. 第20回がん疫学研究会抄録集, 東京. 1997

箕輪眞澄. 難病患者 QOL 評価の地域ベース観察. 第29回 Quality of Life 研究会, 1997.

箕輪眞澄, 尾崎米厚. 小中高校の健康教育についての全国調査. 第56回日本公衆衛生学会総会抄録集. 横浜. 1997. 10. 267

箕輪眞澄, 藤田利治, 星野明子, 篠崎育子, 信野左千子, 尾形由起子, 飯塚俊子. 神経難病患者用主観的 QOL 評価尺度の開発と地域における難病患者への適用. 「公開シンポジ

ウム：難病の緩和医療の進歩と今後——QOLの向上に向けて」プログラム，抄録集，1997，32

斎藤麗子，箕輪眞澄，徳留修身，青山旬，医学部における喫煙規制状況，第56回日本公衆衛生学会総会抄録集，横浜，1997，10，271

早藤知恵子，市川久次，鈴木とし子，長野みさ子，江島有紀，城所敏英，伊藤拳，窪山泉，山下三男，箕輪眞澄，長谷川明，骨密度及び骨代謝に影響する因子，第56回日本公衆衛生学会総会抄録集，横浜，1997，10，739

関口陽子，窪山泉，長田斉，箕輪眞澄，八王子市における就学前児の口腔保健行動：第2報休甘日の周知と生活習慣の改善，第56回日本公衆衛生学会総会抄録集，横浜，1997，10，1138

岩永俊博，箕輪眞澄，尾崎米厚，箕形崇史，岩崎和代，三徳和子，林素子，一般住民の性行動調査：1，調査手順と回答者の特性，第56回日本公衆衛生学会総会抄録集，横浜，1997，10，1176

岩崎和代，岩永俊博，箕輪眞澄，尾崎米厚，箕形崇史，三徳和子，林素子，一般住民の性行動調査：2，コンドームの使用，第56回日本公衆衛生学会総会抄録集，横浜，1997，10，1177

林素子，岩永俊博，箕輪眞澄，尾崎米厚，箕形崇史，岩崎和代，三徳和子，一般住民の性行動調査：3，感染に対する不安，第56回日本公衆衛生学会総会抄録集，横浜，1997，10，1178

窪山泉，伊藤拳，大木幸子，金田麻里子，前潔，上木隆人，箕輪眞澄，高脂血症と食事摂取——保健所での50人未満の事業所健康診断からの検討，第56回日本公衆衛生学会総会抄録集，横浜，1997，10，1370

Tango T. On the simplest maximum likelihood estimator in the three parameter log-normal distribution. 日本計量生物学会，応用統計学会1997年度合同年次大会，東京，1997，4，101-106

丹後俊郎，実質科学における同等性検定，1997年度日本行動計量学会，仙台，1997，8，242-243

丹後俊郎，不適格例を除外すべきでない臨床試験のデザイン，第65回日本統計学会大会，大阪，1997，7

丹後俊郎，統計モデルの視点とデータサイエンス，第65回日本統計学会大会，大阪，1997，7

丹後俊郎，研究の種類に応じたデータのまとめ方—統計的方法の適応以前の科学研究者としてのセンス—，第39回日本消化器病学会大会，福岡，1997，10(医学統計フォーラム基調講演)

山岡和枝，丹後俊郎，予測のための Cross Model Validation の利用—食物摂取頻度調査からの実摂取量の予測，第56回日本公衆衛生学会総会，横浜，1997，10，184

渡辺満利子，萩野アサ子，小倉久代，山岡和枝，丹後俊郎，糖尿病予防のための栄養教育評価に関する介入研究，第56回日本公衆衛生学会総会，横浜，1997，10，1315

和田正道，丹後俊郎，患者の初発と最多発時による摂食時点の推定，第56回日本公衆衛生学会総会，横浜，1997，

10，1342

丹後俊郎，日本人小児の臨床検査基準値について，愛知県臨床衛生検査技師会，臨床検査情報システム後援会，名古屋，1997，11(基調講演)

小林佐知子，若林三津子，大川日出夫，工藤勤，高橋信雄，藤田利治，虚血性心疾患及び脳血管疾患の発症とその関連所見の検討，産業衛生学雑誌，第39巻臨時増刊号：S84，1997

藤田利治，高橋信雄，大川日出夫，循環器疾患等の発症と家族歴，食習慣の関連：企業の健康管理データベースに基づく検討，第56回日本公衆衛生学会総会抄録集，横浜，1997，10，1369

眞崎直子，藤田利治，山室照子，甲斐祥一，宇治光治，松尾繁子，大村弘子，精神障害者の退院後の追跡研究，第56回日本公衆衛生学会総会抄録集，横浜，1997，10，1070

築場玲子，藤田利治，佐々木淳，大村豊子，医療保護入院退院後の再入院等に関する追跡研究，第56回日本公衆衛生学会総会抄録集，横浜，1997，10，1074

大西良之，河本恭子，牛山明，水上みどり，小嶋由美，後藤幸枝，近藤政代，下元裕子，佐藤和美，岡永真由美，山口洋子，尾崎米厚，藤田利治，福島富士子，井原成男，乳幼児の事故予防対策 第1報，第56回日本公衆衛生学会総会抄録集，横浜，1997，10，893

青山旬，長田斉，安井利一，福田雅臣，高久悟，尾崎哲則，丹羽源男，宮武光吉，中尾俊一，今後の地域歯科保健のあり方に関する総合的研究 その1 市町村保健センター及び口腔保健室の設置状況について，第46回日本口腔衛生学会，鹿児島，1997，47(4)，390-391

安井利一，福田雅臣，高久悟，尾崎哲則，青山旬，長田斉，丹羽源男，宮武光吉，中尾俊一，今後の地域歯科保健のあり方に関する総合的研究 その2 市町村保健センター及び口腔保健室の業務内容について，第46回日本口腔衛生学会，鹿児島，1997，47(4)，392-393

尾崎哲則，青山旬，長田斉，安井利一，福田雅臣，高久悟，丹羽源男，宮武光吉，中尾俊一，今後の地域歯科保健のあり方に関する総合的研究 その3 市町村保健センター及び口腔保健室のマンパワーと事業について，第46回日本口腔衛生学会，鹿児島，1997，47(4)，394-395

福田雅臣，高久悟，尾崎哲則，青山旬，長田斉，安井利一，丹羽源男，宮武光吉，中尾俊一，今後の地域歯科保健のあり方に関する総合的研究 その4 都道府県庁及び市町村の歯科技術職員配置による歯科保健業務内容について，第46回日本口腔衛生学会，鹿児島，1997，47(4)，396-397

市野浩司，青山旬，地域保健活動を支援するための情報管理及び広域連携システムの構築に関する研究—母子歯科保健に関する保健所機能について—，第46回日本口腔衛生学会，鹿児島，1997，47(4)，398-399

一宮頼子，梶本雅俊，青山旬，小谷田仁，福田雅臣，丹羽源男，成人女性における保健行動の実践と口腔保健の関連性，第46回日本口腔衛生学会，鹿児島，1997，47(4)，456-

457

青山旬, 向井美恵, 小倉草, 白田祐子, 金子芳洋. 在宅寝たきり者の摂食状況調査. 第46回日本口腔衛生学会. 鹿児島. 1997. 47(4). 618-619

長田齊, 安井利一, 福田雅臣, 高久悟, 尾崎哲則, 青山旬, 丹羽源男, 宮武光吉, 中尾俊一. 今後の地域歯科保健のあり方について その1 市町村保健センター及び口腔保健室の設置状況. 第56回日本公衆衛生学会. 横浜. 1997. 44(10). 1154

高久悟, 尾崎哲則, 青山旬, 長田齊, 安井利一, 福田雅臣, 丹羽源男, 宮武光吉, 中尾俊一. 今後の地域歯科保健のあり方について その1 市町村保健センター及び口腔保健室の業務内容. 第56回日本公衆衛生学会. 横浜. 1997. 44(10). 1155

福田雅臣, 竹木幸恵, 丹羽源男, 青山旬. 甘味食品の摂取状況と生活習慣との関連性. 第56回日本公衆衛生学会. 横浜. 1997. 44(10). 1325

菊池純子, 青山旬. 妊娠期または乳幼児期の疾患と1歳6か月児のう蝕との関連 第2報. 第56回日本公衆衛生学会. 横浜. 1997. 44(10). 818

田村文誉, 古山公英, 水上美樹, 綾野理加, 向井美恵, 金子芳洋, 青山旬. 在宅寝たきり高齢者(中途障害者)の摂食状態について. 第8回日本老年歯科学会. 東京. 1997. 12. 146

後藤幸枝, 河本恭子, 大西良之, 牛山明, 水上みどり, 小嶋由美, 近藤政代, 下元裕子, 堀江和美, 岡永真由美, 山口洋子, 尾崎米厚, 藤田利治, 福島富士子, 井原成男. 乳幼児の事故予防対策第2報—事故予防教育プログラムの作成を試みて— 第56回日本公衆衛生学会総会抄録集. 横浜. 1997. 10. 894

尾崎米厚, 簗輪眞澄, 大井田隆, 川口毅. 三重県の教職員の喫煙行動—ストレス等との関係. 日本衛生学会誌. 1997; 52(1): 237

鷹箸右子, 尾崎米厚. AIDS患者, HIV感染者生活実態調査(第1報). 第56回日本公衆衛生学会総会抄録集. 横浜. 1997. 10. 1189

土井由利子, 丹後俊郎, 野田順子, 森田博. 女子中学生におけるこころとからだの健康. 第56回日本公衆衛生学会総会. 横浜. 1997. 10. 854

野田順子, 土井由利子, 森田博. 女子中学生における抑うつについて. 第15回日本小児心身医学会. 岩手. 1997. 9. 140

川南勝彦, 簗輪眞澄. 児童生徒の肥満, 血圧と食生活との関連. 第56回日本公衆衛生学会総会抄録集. 横浜. 1997. 10. 792

川南勝彦, 簗輪眞澄, 上島弘嗣, 岡山明, 喜多義邦, 飯田稔, 児玉和紀, 柴田茂男, 嶋本喬, 橋本勉, 柳川洋, 堀部博. 喫煙の肺がん死亡に及ぼす影響: NIPPON DATA 1980より. 日本衛生学会誌. 東京. 1997. 52(1). 232

学術報告書等

簗輪眞澄他. 地域における防煙教育のあり方に関する調査研究. (財)健康, 体力づくり事業財団平成8年度健康づくり委託事業(健康づくり等調査研究委託事業)報告書. 1997.

簗輪眞澄, 尾崎米厚, 他. 既存資料による患者数の比較—全国疫学調査の意義の検討—. 厚生省特定疾患調査研究事業「特定疾患に関する疫学研究班」(主任研究者: 大野良之)平成8年度研究業績集: 1997; 31-33

簗輪眞澄. 東京におけるAIDS患者, HIV感染者の推計と将来予測. 平成5年度東京都エイズ研究班(主任研究者: 塩川優一)研究報告書: 1997; 164-167

簗輪眞澄, 岩永俊博, 尾崎米厚他. 地域住民の性行動調査に関する研究. (主任研究者: 木原正博)平成8年度厚生科学研究費エイズ対策研究推進事業「HIVの疫学と対策に関する研究」研究報告書: 1997; 425-438

簗輪眞澄. 健康関連QOLの考え方とその評価尺度の開発. 厚生省特定疾患免疫疾患調査研究班(主任研究者: 橋本博史)平成8年度研究報告書: 1997; 5-21

簗輪眞澄, 川南勝彦, 喫煙とCVDリスクファクターについて—疾患別死亡率と喫煙量, 飲酒量, 肥満度, 生活活動度との関連(7指—2高齢者の循環器疾患による生活の質の低下予防策に関する研究, 主任研究者: 上島弘嗣)平成8年度厚生省循環器病研究委託費による研究報告集: 1997; 304

簗輪眞澄, 川南勝彦. 児童生徒の肥満, 総コレステロール, 血圧と食生活習慣との関連. 厚生省心身障害研究小児期からの総合的な健康づくりに関する研究(主任研究者: 村田光範)平成8年度報告書: 1997; 217-222

簗輪眞澄, 尾崎米厚他. 未成年者の飲酒行動に関する全国調査報告書(主任研究者: 簗輪眞澄)平成8年度厚生科学研究費補助金厚生科学特別研究事業「未成年者の飲酒行動に関する実態調査」研究班報告書: 1997

丹後俊郎. 調査の評価方法—統計学的評価. 東京都編. 東京都衛生検査所精度管理事業報告書. 1997; 9-49

青山旬他. 今後の地域歯科保健のあり方に関する総合的な研究. 総合研究報告書(主任研究者: 中尾俊一). 1997; 1-12

青山旬. 成人歯科保健業務量の分析および地域歯科保健従事者の研修計画. 今後の地域歯科保健のあり方に関する総合的な研究班(主任研究者: 中尾俊一). 平成8年度報告集: 1996; 14-15

青山旬. 高齢者(中途障害者)の摂食状況の調査. 個人の摂食能力に応じた「味わい」のある食事内容・指導等に関する研究班(主任研究者: 金子芳洋). 平成8年度報告書: 1997; 25-35

青山旬他. 専門職の配置されていない場合の保健活動の実施に関する研究. 活動の方向性と手引き作成における課題の研究(主任研究者: 高野陽). 平成8年度厚生省心身障害研究「市町村における母子保健事業の効率的実施に関する

る研究」報告書, 1997; 203-220

土井由利子, 上畑鉄之丞他. 日本における働く女性の労働状態, 仕事の特徴, 職場ストレスに関する横断研究. (主任研究者: 土井由利子) (明治生命健康文化研究助成論文集: 1997; 103-110)

土井由利子他. 思春期における健康障害にはどのようなものがあり, その支援のあり方はどうあるべきか. 厚生省心身障害研究. 生涯を通じた女性の健康づくりに関する研究班(班長: 樋口恵子)平成8年度研究業績集: 1997; 177-186

川南勝彦, 藤田利治, 箕輪眞澄他. 難病共通 QOL(主観的 QOL)尺度の開発(予備調査結果). 厚生省特定疾患調査研究事業「特定疾患に関する疫学研究班」(主任研究者: 大野良之)平成8年度研究業績集: 1997; 117-121

川南勝彦, 尾崎米厚, 箕輪眞澄. ウイルス性肝炎(B型,

C型). 難病の記述疫学——既存資料による比較を中心に(稲葉裕, 大野良之編). 厚生省特定疾患調査研究事業「特定疾患に関する疫学研究班」: 1997; 109-110

川南勝彦, 尾崎米厚, 箕輪眞澄. 原発性胆汁性肝硬変. 難病の記述疫学——既存資料による比較を中心に(稲葉裕, 大野良之編). 厚生省特定疾患調査研究事業「特定疾患に関する疫学研究班」: 1997; 111-112

川南勝彦, 尾崎米厚, 箕輪眞澄. 激症肝炎(急性または亜急性肝臓壊死)難病の記述疫学——既存資料による比較を中心に(稲葉裕, 大野良之編). 厚生省特定疾患調査研究事業「特定疾患に関する疫学研究班」: 1997; 113-115

川南勝彦, 尾崎米厚, 箕輪眞澄, スモン. 難病の記述疫学——既存資料による比較を中心に(稲葉裕, 大野良之編). 厚生省特定疾患調査研究事業「特定疾患に関する疫学研究班」: 1997; 212-214

Originals

Hosoda Y, Kuba M, Miyake T, Kudo S, Matsudaira H, Kaneko M, Yoshimura T, Akiba S, Tango T, Minowa M, Murata M, Yoshimoto Y, Kusami S, Iwasaki T, Kumadori T. **First analysis of mortality of nuclear industry workers in Japan.** *J Health Physics.* 1997, 32(2), 173-184

Tango T. **Detection of overall space-time clustering in a non-uniformly distributed populations.** *Statistics in Medicine.* 1997; 16: 2621-2623

Wakai K, Ohta A, Tamakoshi A, Ohno T, Kawamura T, Aoki R, Kojima M, Lin Y, Hashimoto S, Inaba Y, Minowa M, Aizawa S, Ichikawa Y, Miyasaka N. **Estimated prevalence and incidence of adult Still's disease: finding by a nationwide epidemiological survey in Japan.** *J Epidemiol.* 1997; 7: 221-225

Reviews

Sawaguchi T, Fujita T, Kobayashi M, Sawaguchi A. **Underdiagnosis of Sudden Infant Death Syndrome in Japan.** *Acta Criminologiae et Medicinae Legalis Japonica.* 1997; 63(1): 10-22

Sawaguchi T, Fujita T, Knight B, Sawaguchi A. **Statistical relationship between sudden infant death syndrome and congenital anomaly in Wales.** *Acta Criminologiae et Medicinae Legalis Japonica.* 1997; 63(5

-6): 158-163

Proceedings with Abstracts

Ohno Y, Kawamura T, Tamakoshi A, Wakai K, Aoki R, Kojima M, Lin Y, Hashimoto T, Nagai M, Minowa M. **Epidemiology of intractable diseases in Japan 1997.** *J Epidemiol.* 1996; 6 (Suppl): S99-S109

Tango T. **Clinical equivalence test and confidence interval for the difference in proportions for the paired-sample design.** Joint Conference of International Society of Clinical Trials and International Society for Clinical Biostatistics. Boston. 1997. 7

Tango T. **Comparison of general tests for spatial clustering.** WHO/Biomed International Workshop-Disease Mapping and Risk Assessment for Public Health Decision Making. Rome. 1997. 10 (Invited Paper)

Sawaguchi T, Fujita T, Sawaguchi A, Nishida H. **Epidemiological analysis of registered SIDS cases in Tokyo: comparison between SIDS diagnosed after autopsy and without autopsy.** VIIth European Society of the Study and Prevention of Infant Death Congress, Anales Espanoles de Pediatria Suplemento 92: 1997; 65-66

Kawaminami K, Minowa M, Mei J. **Smoking habit, drinking habit and obesity of residents of farming districts in Jiangxi province in China.** International Scientific Conference on Epidemiology, Tianjin. 1997; 256

公衆衛生行政学部

Department of Public Health Administration

原 著

筒井孝子, 小山秀夫. 介護力強化病院, 老人保健施設, 特別養護老人ホームにおける施設版「高齢者タイプ」の有

効性の検討—高齢者タイプ分類手法による入院・入所者タイプ別 (C.A.T: Classification of Aged by Measured Total Care) の精神的負担感・身体的負担度の関係—. 病院管理. 1997; 34 (1): 51-60

筒井孝子. 公的介護保険制度における要介護認定の考え方—全国60地域で行われた要介護認定結果を基に—. 社会福祉学. 1997; 38 (2): 36-52

筒井孝子. 看護量の測定および推定のための方法論に関する研究—看護業務分類コードの作成について—. 看護管理. 1997; 7(12): 890-900

府川哲夫, 武村真治. 保健サービスの規模と役割. 厚生学の指標. 1997; 44 (1): 3-8.

武村真治, 橋本由生, 郡司篤晃. 受療行動と予防的保健行動との関連. 日本公衆衛生雑誌. 1997; 44(2): 102-112.

武村真治, 府川哲夫, 中原俊隆, 近藤健文. 全国の市における老人保健事業の費用とその関連要因. 日本公衆衛生雑誌. 1997; 44 (5): 353-363.

総説

岩永俊博. 地域保健の理想像を求めて. 公衆衛生. 1997; 61(1): 12-16

石井敏弘. 自ら発つ健康教育の試論—健康教育のパラダイム転換. 医学のあゆみ. 1997; 181(13): 1086-1087

著書

新井宏明, 丸地信弘, 山根洋右, 島内節, 岩永俊博編. 健康の政策科学 市町村・保健所活動からの政策づくり, 医学書院, 東京: 1997

神馬征峰, 岩永俊博, 松野朝之, 鳩野洋子訳 (ローレンス W.グリーン, マーシャル W.クロイター著). ヘルスプロモーション-PRCEDE-PROCEED モデルによる活動の展開. 医学書院, 東京: 1997

中原俊隆, 石井敏弘. 地域保健にかかる研修の強化, 厚生省健康政策局計画課監修. 地域保健法による新しい地域保健事業の進め方. 日本公衆衛生協会, 東京: 1997; 52-57

的野秀利, 石井敏弘, 福本悟, 堤一純, 田辺昌代, 日向敏子, 的野ひとみ. マタニティ・オーラルケア. 母と子の歯科保健研究会, 赤穂: 1997; 1-12

筒井孝子. ケアにおけるコード化, 岡本民夫, 高橋絃士, 森本佳樹, 生田正幸編. 福祉情報化入門. 有斐閣, 東京: 1997; 253-259

抄録のある学会報告

下元裕子, 檀原三七子, 脇坂美和子, 鳩野洋子, 岩永俊博. 保健活動の発展過程の測定と推進要因の検討 第1報—測定指標の策定—. 第56回日本公衆衛生学会, 神奈川. 1997.10; 499

檀原三七子, 下元裕子, 脇坂美和子, 鳩野洋子, 岩永俊博. 保健活動の発展過程の測定と推進要因の検討 第2報—発展過程の測定結果—. 第56回日本公衆衛生学会, 神奈川. 1997.10; 500

脇坂美和子, 下元裕子, 檀原三七子, 鳩野洋子, 岩永俊博. 保健活動の発展過程の測定と推進要因の検討 第3報—推進要因の検討—. 第56回日本公衆衛生学会, 神奈川. 1997.10; 501

和田秀代, 辻川仁美, 田中良明, 三井文子, 赤尾典子, 渡邊まり, 磯濱亜矢子, 上住津恵, 渡邊かおり, 檀原三七子, 岩永俊博, 畑栄一, 川南勝彦, 佐藤加代子, 石井敏弘. 地域づくり型保健活動の展開 第1報—参加態度の段階的变化—. 第56回日本公衆衛生学会, 神奈川. 1997.10.502

磯濱亜矢子, 根本仁美, 和田秀代, 三井文子, 田中良明, 赤尾典子, 渡邊まり, 上住津恵, 渡邊かおり, 檀原三七子, 岩永俊博, 畑栄一, 川南勝彦, 佐藤加代子, 石井敏弘. 地域づくり型保健活動の展開 2—住民の参加態度の変化をもたらした支援—. 第56回日本公衆衛生学会, 神奈川. 1997.10.503

田中良明, 根本仁美, 和田秀代, 三井文子, 赤尾典子, 渡邊まり, 上住津恵, 磯濱亜矢子, 渡邊かおり, 檀原三七子, 岩永俊博, 畑栄一, 川南勝彦, 佐藤加代子, 石井敏弘. 地域づくり型保健活動の展開 3—展開のために働いた機能—. 第56回日本公衆衛生学会, 神奈川. 1997.10.504

岩永俊博, 箕輪真澄, 尾崎米厚, 箕形崇史, 岩崎和代, 三徳和子, 林素子. 一般住民の性行動調査—1 調査手順と回答者の特性. 第56回日本公衆衛生学会, 神奈川. 1997.10; 1176

岩崎和代, 岩永俊博, 箕輪真澄, 尾崎米厚, 箕形崇史(東京都中野区), 三徳和子(岐阜県大野保健所), 林素子. 一般住民の性行動調査—2 コンドームの使用. 第56回日本公衆衛生学会, 神奈川. 1997.10; 1177

林素子, 岩永俊博, 箕輪真澄, 尾崎米厚, 箕形崇史, 岩崎和代, 三徳和子. 一般住民の性行動調査—3 感染に対する不安. 第56回日本公衆衛生学会, 神奈川. 1997.10; 1178

岩永俊博. 生涯保健のための教育の在り方. 第6回日本健康教育学会, 北九州市. 1997.5. 32-33

曾根智史, 中原俊隆. テレビドラマにおける喫煙行動—若者向け民放ドラマにおける喫煙シーン—. 第56回日本公衆衛生学会総会. 日本公衛誌. 1997; 44(10): 321.

橋本修治, 中井里史, 陳ビョウ, 土井徹, 曾根智史, 山東太介, 野田広. 老人保健施設の在所期間と関連要因. 第1報 在所期間と対処後の状況. 第56回日本公衆衛生学会総会. 日本公衛誌. 1997; 44(10): 197.

土井徹, 陳ビョウ, 橋本修治, 中井里史, 曾根智史, 山東太介, 野田広. 老人保健施設の在所期間と関連要因. 第2報 入所者の在宅介護上の問題点. 第56回日本公衆衛生学会総会. 日本公衛誌. 1997; 44(10): 198.

陳ビョウ, 土井徹, 橋本修治, 中井里史, 曾根智史, 山東太介, 野田広. 老人保健施設の在所期間と関連要因. 第3報 在所期間と家庭介護力. 第56回日本公衆衛生学会総会. 日本公衛誌. 1997; 44(10): 199.

中井里史, 橋本修治, 陳ビョウ, 土井徹, 曾根智史, 山東太介, 野田広. 老人保健施設の在所期間と関連要因. 第4報 在所期間と対処後の状況. 第56回日本公衆衛生学会総会. 日本公衛誌. 1997; 44(10): 200.

筒井孝子. 介護保険制度におけるケアプランナーその考え方と策定①—. 第6回全国老人ホーム女性施設長フォーラ

ム, 神奈川, 1997.3 (シンポジウム)

筒井孝子, 在宅保健福祉サービスの提供システムの構築に関する研究—訪問看護およびホームヘルプサービス利用者の比較—, 第11回日本地域福祉学会, 沖縄, 1997.6

筒井澄栄, 筒井孝子, 日常生活動作の自立度と impairment の関連性とその優位性に関する研究(その1)—施設利用高齢者の身体機能に関する評価項目の縮約化—, 第39回日本老年社会科学会, 東京, 1997.6

筒井孝子, 筒井澄栄, 日常生活動作の自立度と impairment の関連性とその優位性に関する研究(その2)—施設利用高齢者の身体機能と日常生活自立度等との関係—, 第39回日本老年社会科学会, 東京, 1997.6

筒井孝子, 在宅高齢者の住環境整備に関する研究(4)—高齢者の状態と住宅改造との関連性—, 日本建築学会大会学術講演, 東京, 1997.9

筒井孝子, 訪問看護サービスと介護者のケアとの関連—訪問看護婦の訪問日と非訪問日の主介護者の介護内容と介護量の変化—, 第56回日本公衆衛生学会, 神奈川, 1997.10

筒井孝子, 岩井郁子, 嶋森好子, 開原成允, 看護量測定のための方法論に関する研究—看護業務分類コードおよび患者の状況に関するアセスメント項目の作成—, 第35回日本病院管理学会学術総会, 仙台, 1997.10.24

筒井孝子, 松本博規, 高齢者介護施設におけるケアマネジメントに関する研究—最適なケアサービス量を配分するための方法論の検討—, 第35回日本病院管理学会学術総会, 仙台, 1997.10.

武村真治, 府川哲夫, 中原俊隆, 白翰康嗣, 島田直樹, 近藤健文, 潮見重毅, 松田亮三, 山下節義, 全国の市における在宅老人福祉事業の費用, 第56回日本公衆衛生学会総会, 横浜, 1997.10; 353

白翰康嗣, 島田直樹, 近藤健文, 武村真治, 府川哲夫, 中原俊隆, 松田亮三, 潮見重毅, 保健婦活動を中心とした保健と福祉の連携, 第56回日本公衆衛生学会総会, 横浜, 1997.10; 383

武村真治, 福田敬, 郡司篤晃, 地域住民の医療機関に関する情報探索行動とその影響要因, 第35回日本病院管理学会学術総会, 仙台, 1997.10; 62

福田敬, 武村真治, 郡司篤晃, 初診外来における特定療養費制度導入に伴う受療の価格弾力性の検討—1病院における患者数の変化と支払い意思からの事例検討—, 第35回日本病院管理学会学術総会, 仙台, 1997.10; 48

学術報告書等

曾根智史, 中原俊隆, 政策立案に関するケースメソッド

(案), 公衆衛生における卒後研修体系に関する研究班(代表: 古市圭治) 1996年度報告書: 1997; 127-130.

曾根智史, 中原俊隆, 公衆衛生行政学分野の Syllabus(シラバス)に求められる内容とその活用に関する研究, 公衆衛生における卒後研修体系に関する研究班(代表: 古市圭治) 1996年度報告書: 1997; 193-201.

曾根智史, 武村真治, 府川哲夫, 中原俊隆, 他, 大都市における保健・健康理由による移転者の実態と保健サービスの在り方に関する研究 1996年度報告書(主任研究者: 府川哲夫), 平成8年度厚生科学研究保健医療福祉地域総合調査研究事業, 1997.

石井敏弘, 岩永俊博, 佐藤加代子, 福島富士子, 保健婦・栄養士の卒後教育における健康教育に関する研修の実施状況, 公衆衛生における卒後教育研修体系に関する研究班(代表: 古市圭治) 1996年度報告書: 1997; 205-221

石井敏弘, 佐分利輝彦, 二次医療圏における救急疾患の発生予測に関する研究, 二次医療圏における救急医療の確保に関する研究班(主任研究者: 松田朗) 1996年度報告書: 1997

筒井孝子, 高齢者のケアサービスの数量化に関する研究, 長寿科学総合研究推進事業研究報告集: 財団法人長寿科学振興財団, 1997; 309-312

筒井孝子, 看護サービスの実情把握に関する研究報告書, 平成8年度老人保健健康増進等事業による研究報告書, 医療経済研究機構: 1997

筒井孝子, 患者分類による看護量の評価方法に関する研究, 厚生科学研究(主任研究者: 開原成允), 平成8年度厚生科学研究報告書: 1997

武村真治, 中原俊隆, 府川哲夫, 他, 保健サービスの経済的分析に関する研究 1996年度報告書(主任研究者: 近藤健文), 平成8年度厚生科学研究保健医療福祉地域総合調査研究事業, 1997.

武村真治, 府川哲夫, 高齢者の医療制度に関する日英比較研究報告書(主任研究者: 府川哲夫), 平成8年度厚生科学研究厚生行政科学研究事業, 1997.

武村真治, 他, 看護サービスの経済的評価に関する研究報告書(主任研究者: 菅田勝也), 平成8年度厚生省看護対策総合研究事業, 1997.

武村真治, 他, 介護業務および福祉用具が高齢者の状態に与える効果分析的研究報告書—声かけ効果研究—(主任研究者: 株式会社 明治生命フィナンシャル研究所), 平成8年度老人保健事業推進費等補助金 高齢者ケアにかかる支援体制研究 介護業務研究班, 1997.

implants on living tissue. Nowadays (Hebrew Academic Arch. & Pub.) 1997; 9: 309-328

Proceedings with Abstracts

Mochizuki-Kobayashi Y. Impact of cigarette marketing on female smoking. 10th World Conference on

Originals

Sone T. Frequency of contact with cigarette advertising and smoking experience among young women in Japan. *J Epidemiol.* 1997; 7: 43-47.

Ishii T. The influence and effect of porous metal

Tobacco or Health. Beijing. August 1997. Tobacco : The Growing Epidemic. Abstract Book : 4

Yamaguchi N, Mochizuki-Kobayashi Y, Watanabe S. **Tobacco in Japan.** 10th World Conference on Tobacco or Health. Beijing. August 1997. Tobacco : The Growing

Epidemic. Abstract Book : 13

Nakahara T, M Kobayashi Y. **Estimated social costs of active and passive smoking in Japan.** 10th World Conference on Tobacco or Health. Beijing. August 1997. Tobacco : The Growing Epidemic. Abstract Book : 72

公衆衛生看護学部 Department of Public Health Nursing

原 著

大野絢子, 錦織正子, 佐々木美佐子, 宮地文子, 丸山美知子他. 保健所, 市町村保健婦の母子保健業務に関する職場内教育の実態調査—卒後1~3年目の新任保健婦を中心にして—. 日本公衆衛生看護教育研究会誌. 1997; 7(1) : 29-34

三浦なみ子, 丸山美知子. 福祉分野における保健婦の機能および職場環境づくりに関する研究. 保健婦雑誌. 1997; 53(11) : 903-914

総 説

石井享子. ケアマネージャーに必要な技術・能力. トータルケアマネジメント. 1997; 2(1) : 11-17

石井享子. 家族看護学の状況: 地域看護に活用する家族看護学. **Quality Nursing.** 1997; 3(4) : 310-314

石井享子, 北川公子, 菊井和子, 鈴木五郎, 伊藤雅治. 日本の医療職者と福祉職者の育成を考える—看護教育と福祉教育のユニフィケーションの視点から—. **Quality Nursing.** 1997; 3(9) : 888-902

石井享子. 今問われる地域の中の訪問看護ステーション—訪問看護をめぐる現状と展望—. 総合ケア. 1997; 7(10) : 6-11

丸山美知子. 保健婦活動の新戦略業務分担制と分散配属制をめぐって. 生活教育. 1997; 41(8) : 59-63

丸山美知子. 介護保険制度における保健婦の役割に関する提言. 生活教育. 1997; 42(1) : 11-15

丸山美知子. 介護保険制度(案)における介護支援専門員の役割と求められる能力. '97トータルケアマネジメント. 1997; 107-109

山田和子. 家庭訪問活動によるアプローチとケアのポイント. 小児看護. 1997; 20(7) : 901-904

山田和子. 大阪府における保健的アプローチの実践. 生活教育. 1997; 41(9) : 21-27

湯澤布矢子, 鳩野洋子他. 母子保健における訪問指導事業の機能1. 公衆衛生情報. 1997; 27(1) : 44-48

湯澤布矢子, 鳩野洋子他. 母子保健における訪問指導事業の機能2. 公衆衛生情報. 1997; 27(2) : 40-44

鳩野洋子, 岩永俊博, 神馬征峰. ジャカルタ宣言 21世紀にむけたヘルスプロモーション. 公衆衛生. 1997; 61(11) : 841-844

著 書

石井享子. ルボ看護と介護—連携と協働への示唆—. 日本看護協会出版会, 東京: 1997; 1-182

飯田澄美子, 松下和子, 紅林みつ子, 石井享子他. 基礎から学ぶ在宅ケア実践テキスト. ライフ・サイエンス・センター, 東京: 1997; 66-67, 82, 173-177

石井享子. 訪問看護の基本的原則, 新しい介護システムと保健婦活動, 飯田澄美子, 金川克子編. 保健学講座1 地域看護学概論. メヂカルフレンド社, 東京: 1997; 198-221, 244-255

鳩野洋子. 諸外国における在宅看護, 木下由美子編. 在宅看護論. 医歯薬出版株式会社, 東京: 1997; 215-220

神馬征峰, 岩永俊博, 松野朝之, 鳩野洋子(訳). ヘルスプロモーション—PRECEDE-PROCEEDモデルによる活動の展開, Lawrence W. Green, Marshall W. Kreuter. Health Promotion Planning. 医学書院, 東京: 1997

抄録のある学会報告

三井文子, 植田悠紀子. 自立した生活を支援するためのアセスメント. 第56回日本公衆衛生学会, 神奈川. 1997. 10; 519

若山葉子, 植田悠紀子. 肝炎流行地区の予後の検討. 第56回日本公衆衛生学会, 神奈川. 1997. 10; 1264

土橋理恵, 深沢幸枝, 植田悠紀子. みそ汁の塩分調査結果からみた減塩指導. 第56回日本公衆衛生学会, 神奈川. 1997. 10; 1320

佐藤和美, 石井享子. 住民が主体的に参加できるシステムに関する研究—保健婦による意思確認法の実態から—. 第23回日本保健医療社会学会, 東京. 1997. 5; 40

林義樹, 石井享子. 保健医療における「参画」を考える. 第23回日本保健医療社会学会, 東京. 1997. 5; 9-10(特別講演)

近藤政代, 佐々木昭彦, 石井享子. 高齢者からみた地域の福祉情報環境の現状—横浜市の2地域の比較—. 第56回日本公衆衛生学会, 神奈川. 1997. 10; 931

長谷部史乃, 鳩野洋子, 石井享子, 斎藤泰子他. 高齢者の閉じこもり予防に着目した生活実態調査. 第56回日本公衆衛生学会, 神奈川. 1997. 10; 942

田中久恵, 鳩野洋子, 石井享子, 斎藤泰子他. 総合相談窓口と地区担当保健婦の連携. 第56回日本公衆衛生学会, 神奈川. 1997. 10; 977

斎藤泰子, 田中久恵, 鳩野洋子, 石井享子他. 在宅高齢者ケアシステムの成立条件. 第56回日本公衆衛生学会, 神奈川, 1997.10; 983

鎌田ケイ子, 石井享子. 在宅痴呆高齢者の生活ニーズと援助内容. 第56回日本公衆衛生学会, 神奈川, 1997.10; 1046

佐々木昭彦, 望月友美子, 武村真治, 石井享子, 松本安生, 大場保. 都市の自律分散モデルによる福祉サービスの需給ギャップの予測. 第67回日本衛生学会, 東京, 1997.4; 433

村山正子, 丸山美知子, 山崎京子, 大野絢子, 斎藤泰子他. 保健婦の保健計画への参画状況. 第56回日本公衆衛生学会, 神奈川, 1997.10; 385

山田和子, 佐藤拓代, 納谷保子, 小林美智子. 保健活動からみた子どもの虐待(その1)～関係機関との連携～. 第56回日本公衆衛生学会, 神奈川, 1997.10; 812

佐藤拓代, 山田和子, 納谷保子, 小林美智子. 保健活動からみた子どもの虐待(その2)～リスクアセスメントを用いた援助の評価～. 第56回日本公衆衛生学会, 神奈川, 1997.10; 813

上村香子, 佐々木徳子, 妹尾ルミ, 永見智恵子, 南美香, 吉崎万里子, 山田和子他. 小規模事業所の健康・生活習慣に関する研究～健康診断受診状況の比較より～. 第56回日本公衆衛生学会, 神奈川, 1997.10; 1372

佐藤拓代, 山田和子, 山路雅代, 納谷保子, 小林美智子. 大阪府における児童虐待への援助(その1)～リスクアセスメントの試み～. 第44回日本小児保健学会, 京都, 1997.11; 60-61

山路雅代, 佐藤拓代, 山田和子, 納谷保子, 小林美智子. 大阪府における児童虐待への援助(その2)～保健婦の援助の視点～. 第44回日本小児保健学会, 京都, 1997.11; 62-63

山田和子, 佐藤拓代, 山路雅代, 納谷保子, 小林美智子. 大阪府における児童虐待への援助(その3)～保健所以外の関係機関関与の実態～. 第44回日本小児保健学会, 京都, 1997.11; 64-65

丸山久美子, 鳩野洋子他. 高齢者の生活の質の向上に関する検討～障害高齢者の日常生活と生活の質との関連要因. 第56回日本公衆衛生学会, 神奈川, 1997.10; 459

下元裕子, 鳩野洋子他. 保健活動の発展過程の測定と推進要因の検討～第1報～測定指標の作成～. 第56回日本公衆衛生学会, 神奈川, 1997.10; 499

壇原三七子, 鳩野洋子他. 保健活動の発展過程の測定と推進要因の検討～第2報～発展過程の測定結果. 第56回日本公衆衛生学会, 神奈川, 1997.10; 500

脇坂美和子, 鳩野洋子他. 保健活動の発展過程の測定と推進要因の検討～第3報～推進要因の検討. 第56回日本公衆衛生学会, 神奈川, 1997.10; 501

湯澤布矢子, 鳩野洋子他. 母子保健の訪問指導のあり方に関する研究～母子保健サービス市町村一元実施に伴う訪問指導状況調査から～. 第44回日本小児保健学会, 京都, 1997.11; 332-333

亀井智子, 鳩野洋子他. 在宅24時間ケアの実施方法に関する研究～第1報～全国訪問看護ステーションの設置主体別にみたケア体制条件の分析. 第17回日本看護科学学会, 神戸, 1997.12; 140-141

岩本佐織, 福島富士子. 農村部の母親の育児に伴う不安と社会資源. 第56回日本公衆衛生学会, 神奈川, 1997.10; 829

高田紀子, 福島富士子, 畑榮一. 父親の“子どもの世話”に対する意識調査. 第44回日本小児保健学会, 京都, 1997.11; 188-189

柴田真理子, 幅下貞美, 宮里和子, 福島富士子他. 地域母子保健事業における助産婦と保健婦の効果的な連携に関する研究～第一報 助産婦基礎教育における「地域母子保健」教育の実態調査～. 第38回日本母性衛生学会, 鹿児島, 1997.11; 360

幅下貞美, 福島富士子, 宮里和子他. 地域母子保健事業における助産婦と保健婦の効果的な連携に関する研究～第二報 訪問事例での両者の問題解決思考過程の分析～. 第38回日本母性衛生学会, 鹿児島, 1997.11; 361

常磐洋子, 宮里和子, 福島富士子他. 母子保健サービスの効率的実施に関する研究～N市における母子保健サービス利用者のニーズの実態～. 第38回日本母性衛生学会, 鹿児島, 1997.11

大西良之, 河本恭子, 牛山明, 水上みどり, 小嶋由美, 後藤幸枝, 近藤政代, 下元裕子, 佐藤和美, 岡永真由美, 山口洋子, 尾崎米厚, 藤田利治, 福島富士子, 井原成男. 乳幼児の事故予防対策 第1報. 第56回日本公衆衛生学会, 神奈川, 1997.10; 93

後藤幸枝, 河本恭子, 大西良之, 尾崎米厚, 藤田利治, 福島富士子, 井原成男他. 乳幼児の事故予防対策 第2報～事故予防教育プログラムの作成を試みて～. 第56回日本公衆衛生学会, 神奈川, 1997.10; 894

学術報告書等

植田悠紀子, 丸山美知子, 石井享子, 斎藤泰子, 鳩野洋子, 福島富士子. 保健所および市町村における保健事業の評価方法の開発. 厚生省保健医療福祉地域総合調査研究事業, 保健所の機能強化に関する研究班(主任研究者:小倉敬一)平成8年度研究報告書:1997;23-29

石井享子, 鳩野洋子. 地域保健における保健婦の役割・機能に関する研究～ケアコーディネーションの機能～. 厚生省地域保健における保健婦の役割・機能に関する研究班(主任研究者:田中久恵)平成8年度研究報告書:1997;1-21

石井享子, 鳩野洋子. ねたきり予防を主軸にした在宅ケアシステムの評価に関する研究. 厚生省地域保健における保健婦等の活動に関する研究班(主任研究者:田中久恵)平成8年度報告書:1997;23-62

石井享子. 都道府県レベルの研修体制と衛生院の支援体制に関する研究～ケースメソッドの展開に向けての私論～. 平成8年度総合的地域健康教育検討事業報告書:

1997; 79-84

石井享子. 保健福祉の連携促進を意図したケアマネジメント専門性評価. 保健福祉支援・評価システムと予測妥当性に基づくケアマネジメント専門性の構築に関する研究班(主任研究者: 高山忠雄)平成8年度報告書: 1997; 6-76

石井享子. 平成9年度職能集會検討資料. 日本看護協会保健婦職能委員会地域を担当する保健婦業務のあり方小委員会: 1997; 78-113

佐々木昭彦, 石井享子, 望月友美子, 大場保. 自律分散都市の保健福祉機能からみた住民の満足感と健康意識の評価. 科学技術振興調整費ソフト系科学技術総合研究報告書: 1997; 1-10

佐々木昭彦, 石井享子, 望月友美子, 松本安生. 都市の自律分散性と福祉連携が介護労働と住民の満足感に与える影響. 科学技術庁研究報告書: 1997

岩永俊博, 石井享子. 都道府県レベルでの研修体系のあり方と公衆衛生院としての支援体制に関する研究報告書—明日からの私を見ていてくださいと言え研修をめざして—. 効果的な研修を体系的に実施するための課題研究班(主任研究者: 岩永俊博)総合的地域保健教育検討事業報告書: 1997; 25-33

石井享子. 在宅要介護老人の看護・介護に関する論文報告書(主任研究者: 飯田澄美子)平成8年度研究報告書: 1997; 1-288

石井享子. 地域を担当する保健婦業務のあり方小委員会報告. 平成8年度日本看護協会保健婦職能委員会報告書: 1997; 78-113

丸山美知子. 保健所, 市町村保健婦の母子保健業務に関する職場内教育の実態. 厚生省心身障害研究班(主任研究者: 大野絢子)平成8年度研究報告書: 1997; 333-342

高野陽, 斎藤泰子, 丸山美知子. 保健センターにおける家族を基盤においた母子保健活動のあり方に関する研究. 日本公衆衛生協会: 1997; 1-25

丸山美知子, 斎藤泰子. 保健婦の保健計画, 施策化に関する能力に関する研究. 厚生科学研究, 地域における保健婦の活動に関する研究班(主任研究者: 村山正子)平成8年度研究報告書: 1997; 220-228

丸山美知子. 在宅における重度要介護者に対する介護実態および介護職の意識調査(主任研究者: 丸山美知子)第7回フランスベッド研究助成事業助成報告書: 1997; 249-276

山田和子. 子どもの虐待調査報告. 大阪府保健衛生問題研究, 母子保健における乳幼児虐待の予防援助に関するシステム研究班(主任研究者: 佐藤拓代)平成8年度保健衛生問題研究集: 1997; 3-6, 23-25

鳩野洋子. 訪問看護ステーションにおける24時間対応型在宅ケアシステムの普及方策に関する研究. 厚生省老人保健推進事業研究班(主任研究者: 島内節)平成8年度成果報告書: 1997.

石井敏弘, 岩永俊博, 佐藤加代子, 福島富士子. 保健婦, 栄養士の卒後教育における健康教育に関する研修の実施状況. 公衆衛生における卒後教育研修体系に関する研究班(代表: 古市圭治)1996年度報告書: 1997; 205-221

Proceedings with Abstracts

Whyte N, Murashima S, Hatono Y. **The Comparison of Public Health Nurses Activities—Japan and Canada—**. 2nd International Conference Community

Nursing, England. 1997. 8.

Fukushima F, Miyasato K, Osaki Y, Minowa M. **Smoking behavior among midwives in some hospitals in Japan.** X World Conference on Tobacco or Health. 1997. 8

生理衛生学部

Department of Physiological Hygiene

総説

佐々木昭彦. 都市の自律分散性から見た医療福祉サービスの利用と満足についての予測. 第3回ヘルスリサーチフォーラム: 新しい時代の医療を考える—医療の社会的側面に関する研究—, (財)ファイザーヘルスリサーチ振興財団, 東京, 1997; 92-99

原沢英夫, 本田靖, 内山巖雄, 佐々木昭彦. 温暖化の健康影響リスク評価について. 気候影響・利用研究会会報, 13; 74-79, 1997

著書

佐々木昭彦. 環境と人体・健康影響(第VIII部 人間活動圏データ編 第4章), 茅陽一監修, オーム社編: 環境年表

抄録のある学会報告

大久保千代次, J. Gmitrov, 徐慎之, 中山栄純. 磁場の微小循環動態に及ぼす影響に関する研究(その4). 第22回日本微小循環学会総会抄録集, 東京, 1997.2: 56

浅野牧茂, 大久保千代次. シガレット主流煙の経鼻的投与における皮膚微小循環変化と煙中粒子相物質存在の関係について. 第22回日本微小循環学会総会抄録集, 東京, 1997.2: 73

大久保千代次, 徐慎之, 浅野牧茂. ストレスと中膜硬化発生病因に関する研究. 1 第20回日本バイオレオロジー学会抄録集, 千葉, 1997.6: 22

大久保千代次. 生理学からみた電磁波. 第16回日本家政

学会被服衛生学部会夏期セミナー要旨集, 東京, 1997.8 : 3-5

山田重行, 大久保千代次. 健常マウスにおける糖摂取と微小血管の老化に関する生体顕微鏡的観察. 第22回日本微小循環学会総会抄録集, 東京, 1997.2 : 71

山田重行, 大久保千代次. マウス微小血管 Vasomotion の日内変動. 第67回日本衛生学会, 東京, 1997.3

山田重行. エタノール投与後の変形赤血球の出現及び赤血球脆弱性の変化に対する蜂蜜の防護効果. 第32回日本アルコール・薬物医学会, 東京, 1997.8

内山巖雄, 佐々木昭彦, 原沢英夫, 本田靖. GRID/GIS を用いた温暖化による健康影響のリスク予測. 2. 県別・季節別・性別比較. 第70回日本産業衛生学会, 富山, 1997.4 : S152

佐々木昭彦, 内山巖雄, Manomaipiboon K, Srimanobhas V, Hutacharoen R. バンコク近郊の事務労働者の生活温度と労働環境 1. 雨期. 第70回日本産業衛生学会, 富山, 1997.4 : S153

佐々木昭彦, 内山巖雄, 前山美由紀, 野崎恵子. 阪神大震災一年後の高齢者の生活温度と日常生活の変化—仮設住宅と新築住宅. 第67回日本衛生学会総会, 東京, 1997.4 : 429

佐々木昭彦, 望月友美子, 武村真治, 石井享子, 松本安生, 大場保. 都市の自律分散モデルによる福祉サービスの需給ギャップの予測. 第67回日本衛生学会総会, 東京, 1997.4 : 433

原沢英夫, 本田靖, 佐々木昭彦, 内山巖雄. 温暖化の日本への影響—暑熱の人間健康への影響評価について—. 土木学会第5回地球環境シンポジウム講演集, 東京, 1997 : 273-279

原沢英夫, 本田靖, 内山巖雄, 佐々木昭彦. 温暖化の健康影響リスク評価について. 第26回気候影響・利用研究会東京, 1997.2 : 1-4

本田純久, 三根真理子, 門司和彦, 佐々木昭彦, 内山巖雄, 本田靖. 月別気温と死亡率の関係: 長崎市被爆者の死亡構造解析. 第62回日本民族衛生学会, 前橋, 1997.11 : 40-41

牛山明, 尾崎米厚, 藤田利治, 福島富士子, 井原成男ほか. 乳幼児の事故予防対策 第1報. 第56回日本公衆衛生学会, 横浜, 1997.10 : 893

牛山明, 尾崎米厚, 藤田利治, 福島富士子, 井原成男ほか. 乳幼児の事故予防対策 第2報. 第56回日本公衆衛生学会, 横浜, 1997.10 : 894

学術報告 (研究調査報告書を含む)

大久保千代次, 山田重行, 牛山明, 徐慎之. 皮膚微小循環を中心とする生体の循環動態に及ぼす電磁場の全身暴露影響に関する研究. (主任研究者: 大久保千代次) 平成8年度環境保全研究成果集: 1997 : 19-1-19-9

大久保千代次, 徐慎之, 浅野牧茂. ストレスと動脈硬化発生因子に関する実験的研究. (主任研究者: 大久保千代次) 平成8年度喫煙科学研究財団研究年報: 1997 : 352-357

内山巖雄, 佐々木昭彦, 兵井伸行, 原沢英夫, 本田靖, 門司和彦・竹本泰一郎, 本田純久. 社会集団の健康事象に及ぼす気候変動の影響—アジア太平洋地域のライフスタイル研究—, 平成8年度環境庁地球環境総合研究「地球温暖化によるアジア太平洋地域社会集団に対する影響と適応に関する研究B-10 (3)」, 1997.5

佐々木昭彦, 石井享子, 望月友美子, 大場保. 自律分散都市の保健福祉機能からみた住民の満足感と健康意識の評価. 科学技術振興調整費総合研究「ゆとりや豊かさを実感できる生活環境・社会システムの設計に関する研究」平成9年度研究報告, 1997.5

佐々木昭彦. 自律分散都市における福祉サービスの基盤と都市間連携に関する調査研究—ドイツ訪問の報告—. 平成9年度科学技術庁海外中期派遣, 1997.11

Originals

Ohkubo C, Xu Sh. Acute effects of static magnetic fields on cutaneous microcirculation in rabbits. *In Vivo*. 1997 ; 11 : 221-226

Yamada S, Fu J, Ohkubo C, Hayano J. Effects of toluene inhalation on vasomotion and lymph circulation in mice. *Bull. Natl. Inst. Public Health* 1997 ; 46 : 118-122

Sasaki A, Uchiyama I, Mori N, Honda Y, and Harasawa H. Health effect and risk at population level in Japan by global warming. *Jpn. J. Risk Analysis*, 8 : 57-63, 1997

Harasawa H, Honda Y, Sasaki A, Uchiyama I. The potential impacts of global warming in Japan — Impacts on human health. *J. Global Environment Eng.* (submission), 1997

Books

Ohkubo C, Asano M. Studies on cutaneous microvascular responses to acupuncture and magnetic field exposure in the rabbit. *Microcirculation annual*. 1997 ; 13 : 23-24

Asano M, Ohkubo C. On the role of nicotine in particulate matter in cutaneous microvascular responses to intranasal administration of mainstream smoke of cigarette in the conscious rabbit. *Microcirculation annual*. 1997 ; 13 : 65-66

Ohkubo C, Gmitrov J, Xu Sh, Nakayama E. Vasodilator effects of static magnetic fields on cutaneous microcirculation under increased vascular tone in the rabbit. *Microcirculation annual*. 1997 ; 13 : 75-76

Gmitrov J, Ohkubo C, Yamada S, Gmitrova A, Xu Sh.

0.5T static magnetic field effect on sinocarotid baroreceptors in rabbits exposed under conscious conditions. *Microcirculation annual.* 1997; 13: 83-84

Yamada S, Ohkubo C. **An experimental study related to long-term excessive Intake of glucose and microvascular aging.** *Microcirculation annual.* 1997; 13: 103-104

Proceedings with Abstracts

Ohkubo C, Asano M. **Studies on cutaneous microvascular responses to acupuncture and magnetic field exposure in the rabbit.** Abstract of the 22nd Meeting of the Japanese Society for Microcirculation. Tokyo. 2: 35 (Panel Discussion)

Gmitrov J, Ohkubo C, Yamada S, Gmitrova A, Xu Sh.

Static magnetic field effect on sinocarotid baroreceptors in rabbits exposed under conscious conditions. Abstract of the 22nd Meeting of the Japanese Society for Microcirculation. Tokyo. 2: 58

Ohkubo C. **Studies on cutaneous microvascular responses to static magnetic field exposure in the rabbit.** Abstracts of International Workshop on Microcirculatory Aspect of Asian Traditional Medicine. Bangkok. 1997; 10: 17 (Workshop)

Sasaki A, Uchiyama I, Naka K, Hutacharoen R, Muangman D. **Diversity of temperature adaptation and its potential limit in Japan and Thailand.** 1997 Open Meeting of the Human Dimensions of Global Environmental Change Research Community, IIASA, Laxenburg, Austria, June 1997

Department of Nutrition and Biochemistry

原 著

山守育雄, 近藤雅雄, 長谷川晴彦. **遺伝性コプロポルフィリン症治療における静注用ヘミンの有用性と限界.** *ポルフィリン.* 1997; 6(1): 35-40

近藤雅雄, 市川勇, 網中雅仁, 中村馨男. **ポルフィリン代謝系諸酵素活性に及ぼす希土類元素化合物の試験管内での影響.** *ポルフィリン.* 1997; 6(2): 85-92

佐伯俊一, 細井仁, 林星舟, 田中武, 柴山隆男, 大竹寛雄, 田中慧, 鶴田耕二, 岡本篤武, 近藤雅雄. **肝細胞癌症例における癌部および非癌部肝組織中ポルフィリン代謝の検討.** *ポルフィリン.* 1997; 6(2): 105-110

諏佐真治, 大門真, 森田義弘, 山谷恵一, 山守育雄, 近藤雅雄, 加藤丈夫. **CPO 遺伝子 Exon 1 に deletion を認めた遺伝性コプロポルフィリン症(HCP)の一家系.** *ポルフィリン.* 1997; 6(3,4): 印刷中

落合香織, 亀山正明, 永井洋子, 杉本元信, 佐野泰清, 磯貝庄, 吉川博子, 関根万里, 近藤雅雄. **フェニトインが関与したと考えられる晩発性皮膚ポルフィリン症の一例.** *新薬と治療.* 1997; 47(4): 35

近藤雅雄, 堀江裕, 川崎寛中, 佐伯俊一, 三代俊治, 岡本宏明, 真弓忠. **C型肝炎およびC型肝炎を合併した晩発性皮膚ポルフィリン症のポルフィリン代謝異常日本臨床代謝学会記録.** 1997; 32: 142-143

網中雅仁, 中村馨男, 田中利明, 工藤吉郎, 近藤雅雄. **希土類元素化合物投与によるマウスのウロポルフィリノーゲン・デカルボキシラーゼ活性および過酸化脂質への影響.** *聖マリアンナ医科大学雑誌.* 1997; 24: 705-713, 13

総 説

近藤雅雄. **ポルフィリン症の生化学的診断 (生涯教育講**

座). *日本皮膚科学会雑誌.* 1997; 107(1): 1-8

著 書

近藤雅雄. **国家試験のための生理学問題集一傾向と対策一(第3版),** サンプリントーニング社. 1997; p.1-140,

抄録のある学会報告

湯山駿介. **ラット (SPF, GF) におけるトリゴネリンの吸収.** 第51回日本栄養食糧学会総会講演要旨集, 東京. 1997.5: 198(3H-a5)

湯山駿介, 荷田尚美. **In vivo におけるラット小腸でのトリゴネリンの吸収.** 第20回日本トリプトファン研究会抄録集, 東京, 1997.12: 13

鈴木妙子, 葛木みどり, 梶本雅俊, 須藤紀子, 八杉悦子, 大島美恵子. **スリランカ人の都市・農村における栄養摂取状況と血液性状.** 第51回日本栄養・食糧学会大会, 東京, 1997.78

田村須美子, 矢口理恵, 若林良孝, 升井孝子, 梶本雅俊, 佐藤加代子, 鈴木妙子. **地域における公衆栄養活動の展開(第1報)ー地域保健と学校保健の連携についてー.** 第56回日本公衆衛生学会, 神奈川, 1997.1316

矢口理恵, 陣内一保, 田村須美子, 若林良孝, 升井孝子, 梶本雅俊, 佐藤加代子, 鈴木妙子. **地域における公衆栄養活動の展開(第2報)ー食生活を中心とした壮年期からの健康づくり.** 第56回日本公衆衛生学会, 神奈川, 1997.1317

鈴木妙子, 梶本雅俊, 佐藤加代子, 板倉真由美, 佐々木登代子, 田村須美子, 矢口理恵. **個人別栄養調査の互換性の検討(第29報)ー地域栄養モニタリングのための関連データの経時変化の要因分析と選択指標の省略化ー.** 第44回日本栄養改善学会, 福岡, 1997.175

藤原富子, 三浦政巳, 尾崎信夫, 梶本雅俊. **肥満児童の生活実態調査ー5年間の調査結果より(第4報).** 第44回日

本栄養改善学会, 福岡, 1997, 357

佐藤加代子, 加藤則子, 布川直子, 梶本雅俊, 高野陽, 益子まり, 三歳児の健康状態に影響を及ぼす要因—食生活・養育環境との関連. 第44回日本小児保健学会, 京都, 1997, 386-387

近藤雅雄, 市川勇. ガリウム砒素によるポルフィリン代謝異常. 理研シンポジウム: 生体微量元素'97, 東京, 1997.3: 24 (シンポジウム)

近藤雅雄, 市川勇, 網中雅仁, 中村磐男, 工藤吉郎, 希土類元素のヘム合成に及ぼす影響(1). 第67回日本衛生学会総会, 東京, 1997.4: 186

近藤雅雄, 堀江裕, 川崎寛中, 佐伯俊一, 岡本宏明, 三代俊治, 真弓忠. C型肝炎およびC型肝炎を合併した晩発性皮膚ポルフィリン症のポルフィリン代謝異常第34回臨床代謝学会学術総会, 大阪, 1997.4: 28

中村磐男, 網中雅仁, 田中俊明, 大江敏江, 工藤吉郎, 近藤雅雄. 高校生の尿中ポルフィリン体について, 第7報(終報). 第67回日本衛生学会総会, 東京, 1997.4: 312

藤田博美, 近藤雅雄, 後天性(薬剤性)鉄芽球性貧血の発症機序. 第67回日本衛生学会総会, 東京, 1997.4: 96

堀江裕, 近藤雅雄, 岡野淳一, 北村厚, 前田直人, 川崎寛中, 伊藤俊雄, 三代俊治, 岡本宏明, 真弓忠. 晩発性皮膚ポルフィリン症とB型およびC型肝炎ウイルス. 日本消化器関連学会週間(DDW-Japan 1997), 名古屋, 1997.4: 167

山守育雄, 近藤雅雄, 長谷川晴彦. 遺伝性コプロポルフィリン症治療における静注用ヘミンの有用性と限界. 第23回ポルフィリン研究会, 東京, 1997.5: 11

佐伯俊一, 細井仁, 林星舟, 田中武, 柴山隆男, 大竹寛雄, 田中慧, 近藤雅雄. 肝細胞癌無黄疸例における尿中および組織中ポルフィリンの検討. 第23回ポルフィリン研究会, 東京, 1997.5: 5

近藤雅雄, 市川勇, 饗場直美, 櫻井浩. 砒素化合物単回経口投与したマウス赤血球系細胞のヘム合成異常機構について. 第8回ヒ素シンポジウム, 大阪, 1997.11: 88-89 (シンポジウム)

諏佐真治, 大門真, 森田義弘, 山谷恵一, 加藤文夫, 山守育雄, 近藤雅雄. 遺伝性コプロポルフィリン症(HCP)家系に見られたcoproporphyrinogenoxidase(CPO)遺伝子の異常. 第24回ポルフィリン研究会, 東京, 1997.11: 6

青木洋祐, 神田庸子, 渡辺朗子, 吉田幸代, 豊田裕子, 原章子, 山崎聖美. 顆粒球中性プロテアーゼに対する運動の影響. 生化学, 1997; 69(7): 835

須藤紀子, 加藤則子, 野田順子, 綿引信義, 西田茂樹. 育児支援施設の連携についての調査—第1報—施設間の連携の実態について. 第56回日本公衆衛生学会, 横浜, 1997.10: 882.

須藤紀子, 加藤則子, 野田順子, 綿引信義, 西田茂樹. 育児支援施設の連携についての調査—第2報—保健所の各種育児支援事業の認知度について. 第56回日本公衆衛生学会, 横浜, 1997.10: 883.

須藤紀子, 加藤則子, 野田順子, 綿引信義, 西田茂樹. 育児支援施設の連携についての調査—第3報—保健所の育児支援への期待について. 第56回日本公衆衛生学会, 横浜, 1997.10: 884.

Originals

Kondo M, Horie Y, Okano J, Kitamura A, Maeda N, Kawasaki H, Mishiho S, Yamamoto S, Itou T, Saeki S, Tanaka S, Okamoto H. **High prevalence of hepatitis C virus infection in Japanese patients with porphyria cutanea tarda.** *Hepatology.* 1997; 26(1): 246

Okano J, Horie Y, Kawasaki H, Kondo M. **Interferon treatment of porphyria cutanea tarda associated with chronic hepatitis type C.** *Hepato-Gastroenterology.* 1997; 44(14): 525-528

Sassa S, Kondo M, Taketani S, Nomura N, Furuyama K, Akagi R, Nagai T, Terajima M, Galbraith RA, Fujita M. **Molecular defects of the coproporphyrinogen oxidase gene in hereditary coproporphyrin.** *Cell Mol Biol.* 1997; 43(1): 59-66

Ochiai T, Morishima T, Kondo M. **Symptomatic porphyria secondary to hepato-cellular carcinoma.** *Br J Dermatol.* 1997; 136: 129-131

Furuyama K, Fujita H, Nagai T, Yomogida K, Munakata M, Kondo M, Kimura A, Kuramoto A, Hayashi N, Yamamoto M. **Pyridoxine refractory X-linked sider-**

oblastic anemia caused by a point mutation in the erythroid 5-aminolevulinic synthase gene. *Blood.* 1997; 90(2): 822-830

Yamamori I, Kondo M, Hasegawa H. **Treatment of hereditary coproporphyrin by intravenous hemin.** *Porphyria.* 1997; 6(1): 35-40

Kondo M, Ichikawa I, Aminaka M, Nakamura I. **The in vitro effects of rare earth elements on activities of porphyrin metabolic enzymes.** *Porphyria.* 1997; 6(2): 85-92

Saeki S, Hosoi H, Hayashi S, Tanaka T, Shibayama T, Ohtake H, Tanaka S, Tsuruta K, Okamoto A, Kondo M. **Comparison of porphyrin contents in the cancerous and noncancerous liver tissues of the patients with hepatocellular carcinoma.** *Porphyria.* 1997; 6(2): 105-110

Susa S, Daimin M, Morita Y, Yamatani K, Yamamori I, Kondo M, Kato T. **A deletion on the exon 1 of the coproporphyrinogen oxidase gene in a Japanese family with hereditary coproporphyrin.** *Porphyria.* 1997; 6(3, 4): In press

Aminaka M, Nakamura I, Tanaka T, Kondo M, Kudo

Y. **Effects of rare earth elements on uroporphyrinogen decarboxylase activities and lipid peroxide levels in mice.** *St. Marianna Med J.* 1997; 24: 705-713
 Yamazaki T, Aoki Y. **Cathepsin G binds to human lymphocytes.** *J Leukoc Biol.* 1997; 61: 73-79

Reviews

Kondo M. **Biological diagnostic technique of porphyria.** *Jpn J Dermatol.* 1997; 107(1): 1-8

Proceedings with Abstracts

Yuyama S. **Absorption of trigonellin from the small intestine of rats (SPF, GF) in vivo.** Abstracts of the 16th International Congress of Nutrition, Montreal, Canada. 1997. 7: 122 (PM216)

Yuyama S. **Urinary excretion of N'-methyl-2-pyridone-5-carboxylic acid and the fate of remaining trigonelline.** Abstracts of the 17th International Congress of Biochemistry and Molecular Biology. San Francisco, USA. 1997. 8: 1413 (No3254)

Sato I, Kuroda K, Kawada T, Mori Y, Kondo M. **Effect of dietary iron and lipids on the iron status, hepatic heme biosynthetic enzymes, and erythrocyte porphyrin in rats.** Abstracts of the 16th International Congress of Nutrition, Montreal, Canada. 1997. 7: 49 (PW4.13)

Susa S, Daimon M, Morita Y, Yamatani K, Yamamori I, Kondo M, Kato T. **A deletion on the exon 1 of the coproporphyrinogen oxidase gene in a Japanese family with hereditary coproporphyrin.** Abstracts of the 10th Symposium Molecular Biology of Hematopoiesis and Treatment of Leukemia and Lymphomas, Hamburg,

Germany. 1997. 7 (Symposium)

Kondo M, Ichikawa I, Aminaka M, Nakamura I. **Effects of rare earth elements on activities of porphyrin metabolic enzymes.** Abstracts of the RIKEN International Symposium, Bio-Trace Elements'97, Hachioji, Tokyo. 1997. 8: 26 (Symposium)

Ichikawa I, Kondo M. **Changes in production of active oxygens and contents of oxidation-reduction components in small Intestine of mice after oral administration of cerium chloride.** Abstracts of the RIKEN International Symposium, Bio-Trace Elements'97, Hachioji, Tokyo. 1997. 8: 7 (Symposium)

Saeki S, Hosoi H, Hayashi S, Tanaka T, Shibayama T, Ootake H, Tanaka S, Kondo M. **Study of urinary porphyrins in chronic hepatitis, liver cirrhosis and hepatocellular carcinoma.** Abstracts of the 14th Asia Pacific Cancer Conference, Honkon, China. 1997. 11: 124

Watanabe A, Kanda Y, Yamazaki T, Suzuki S, Urata G, Aoki Y. **Effects on the immune function-change of neutral protease levels in granulocytes by exercise.** Abstracts of the 16 the International Congress of Nutrition, Montreal Canada. 1997. 7: 378 (PR487)

Aoki Y, Watanabe A, Kanda Y, Yamazaki T. **Effects of fatty acids on the activity of neutral serine proteases in granulocytes.** Abstracts of the 16 the International Congress of Nutrition, Montreal Canada. 1997. 7: 383 (PR518)

Sudo N, Kajimoto M. **Nutritional status and life styles in Sri Lanka.** Abstracts of the 16th International Congress of Nutrition. Montreal Canada. 1997. 7: 293 (PT663)

衛生微生物学部

Department of Microbiology

原 著

樋口利之, 谷富昭, 月館説子, 須藤明, 赤尾信明, 藤田浩一郎, 荒木国興. **胸膜炎で発症し, 抗肺吸虫抗体が低値を示したウエステルマン肺吸虫症の1例.** 日本臨床寄生虫学会誌, 1997; 8: 80-82

石井明, 鈴木誠, 古屋富治雄, 田中博, 荒木国興. **マンソン孤虫症の1例.** 日本臨床寄生虫学会誌, 1997; 8: 138-140

山崎貢, 斎藤真, 犬塚和久, 島正吾, 谷脇弘茂, 伊藤健一郎. **日本で分離された散発下痢症由来大腸菌における eaeA 遺伝子の検出状況.** 感染症学雑誌, 1997; 71 (10): 1059-1065

柴田幹良, 森田耕司, 渡辺登, 沖津忠行, 山井志朗, 伊藤健一郎, 島田俊雄, 金森政人. **Aeromonas hydrophila**

の主要 O 群株からの耐熱性リパーゼ遺伝子の検出. 感染症学雑誌, 1997; 71 (11): 1172-1174

総 説

今岡浩一, 藤橋浩太郎, 清野宏. **粘膜免疫機構とワクチンへの応用.** 日本胸部臨床, 1997; 56: 994-1005

中島節子. **インフルエンザウイルス粒子の構造.** 日本臨床1997; 55: 2-3.

中島節子. **歴史的にみたインフルエンザの流行と今後の流行予想.** 日本胸部臨床, 1997; 56: S1-S6

伊藤健一郎, 松崎充宏. **Vero 毒素 (VT1, VT2) 遺伝子をターゲットとする EHEC の検出と型別.** 日本臨床, 1997; 55: 150-154,

著書

寺嶋淳, 和田昭仁, 稲垣善茂, 泉谷秀昌, 伊藤健一郎, 田村和満, 渡邊治雄: 腸管出血性大腸菌 O157の流行と対策, 「日本の集団発生例と分子疫学」医学微生物学の最先端, 菜根出版, 東京: 1997; 267-274

抄録のある学会報告

今岡浩一, Miller CJ, 窪田満, 山本正文, 本田三男, 藤橋浩太郎, McGhee JR, 清野宏, SIV p55gag とコレラトキシン (CT) の経鼻免疫によるウイルス特異的防御機構の誘導とその免疫機構のアカゲザルモデルでの解析. 第124回日本獣医学会, 鹿児島, 1997. 10, 抄録集, p163

中島節子, 中島捷久. インフルエンザ回復期のヒト血清中に存在する抗体の解析. 第45回日本ウイルス学会, 京都, 1997, 9, p98

中島捷久, 信沢枝里, 森下高行, 中島節子. インフルエンザウイルス HA 蛋白質の脱シアルサン反応に M1 蛋白質が関与する. 第45回日本ウイルス学会, 京都, 1997, 9, p110

森下高行, 佐藤克彦, 鈴木康元, 信沢枝里, 中島捷久, 中島節子. 1996/97シーズンに分離されたインフルエンザ B 型変異株について. 第45回日本ウイルス学会, 京都, 1997, 9, p115

杉枝正明, 長岡宏美, 柿島安博, 大下智子, 中村信也, 中島節子. ブタ盲腸内容物から RT-PCR 法で検出した Norwalk-like Virus の遺伝子解析. 第45回日本ウイルス学会, 京都, 1997, 9, p201

杉枝正明, 長岡宏美, 佐原啓二, 三輪好伸, 宮本秀樹, 中村信也, 中島節子. 市販生食用カキからの SRSV 遺伝子の検出状況 (1995-1996年) とその遺伝子解析. 第18回日本食品微生物学会, 東京, 1997, 12, p47

山上隆也, 渡辺由香里, 小沢茂, 西尾治, 横山宏. 第38回日本臨床ウイルス学会, 箱根, 1997, 6, ps53.

蜂矢正彦, 西尾治, 牛島廣治. 日本, タイ, マレーシアにおける乳幼児急性胃腸炎の原因ウイルスの検討. 第12回日本国際医療学会, 結城市, 1997, 7.

顧艶紅, 西尾治, 牛島廣治, 中華人民共和国におけるロタウイルスの血清型第12回日本国際医療学会, 結城市, 1997, 7.

西尾治, 南部みほ, 秋山美穂, 岡知宏, 斎藤邦宏, 牛島廣治, 大瀬戸光明. マイクロブレイトハイブリダイゼーションによる SRSV の PCR 増幅 DNA の確認について. 第45回日本ウイルス学会, 京都, 1997, 9, p204

Cao Xin-Ru I, 山西重機, 西尾治, 中込治, 牛島廣治. ヒトロタウイルス血清型内の変異について (続報) - 血清型 3 を中心に -. 第45回日本ウイルス学会, 京都, 1997, 9, p189

大瀬戸光明, 高橋一博, 呼石弘子, 森正俊, 井上博雄, 西尾治, 小林慎一, 武田直和, 石丸啓郎, 中野省三. 電子

顕微鏡, RT-PCR および ELISA による小型球形ウイルス (SRSV) の流行疫学, 第45回日本ウイルス学会, 京都, 1997, 9, p203

岡知宏, 松井清彦, 秋山美穂, 南部みほ, 西尾治, 長谷川あや子, 板垣朝男, 藤本嗣人. アデノウイルス 7 型の分子疫学的解析について. 第45回日本ウイルス学会, 京都, 1997, 9, p65

西川真, 新井礼子, 篠川且, 西尾治, 鈴木宏. 新潟県における SRSV 胃腸炎の分子疫学的解析. 第45回日本ウイルス学会, 京都, 1997, 9, p202

鈴木基子, 森田耕司, 伊藤健一郎, 荒木光三, 小川昌子, 川内菜穂子, 岡崎充宏, 江上輝夫, 古谷信慈, 内村英正, 渡辺登, 金森政人. 本院において糞便から分離した大腸菌の血清型と病原因子. 第8回日本臨床微生物学会, 神戸: 1997, 1

伊藤健一郎. PCR 法による *Burkholderia pseudomallei* のスクリーニング同定. 平成8年度希少感染症診断技術研修会, 東京, 1997, 2; 25-27

泉谷秀昌, 稲垣善茂, 和田昭仁, 寺嶋淳, 伊藤健一郎, 田村和満, 渡邊治雄. 腸管出血性大腸菌 O157 : H7 の分子疫学的解析 - 1 -. 第70回日本細菌学会総会, 宇都宮: 1997, 3; 342

和田昭仁, 寺嶋淳, 泉谷秀昌, 稲垣善茂, 伊藤健一郎, 田村和満, 渡邊治雄. 腸管出血性大腸菌 O157 : H7 の分子疫学的解析 - 2 -. 第70回日本細菌学会総会, 宇都宮: 1997, 3; 342

柴田幹良, 森田耕司, 渡辺登, 和田博志, 沖津忠行, 山井志朗, 伊藤健一郎, 島田俊雄, 金森政人. *Aeromonas hydrophila* 病原株の検出. 第70回日本細菌学会総会, 宇都宮: 1997, 3; 338

柴田幹良, 森田耕司, 渡辺登, 金森政人, 沖津忠行, 山井志朗, 伊藤健一郎, 島田俊雄. 16S ribosomal DNA 多型による *Aeromonas hydrophila* の分類. 第78回日本細菌学会関東支部総会, 横浜: 1997, 10

蛭田徳昭, 山口純子, 日守満里子, 増山亨, 伊藤健一郎, 岡村登. 横須賀市における散発下痢症からの腸管出血性大腸菌について. 第71回日本感染症学会総会, 札幌: 1997, 4; 149

森屋一雄, 諸石早苗, 角典子, 仲井充宏, 松下秀, 伊藤健一郎, 田村和満. 市販型別血清に凝集を認めない非定型の性状を示す腸管侵入性大腸菌による集団下痢症について. 第67回日本感染症学会西日本地方会総会, 那覇: 1997, 11

学術報告書等

内山巖雄, 熊江隆, 荒川はつ子, 村山留美子, 今岡浩一. アレルギー性疾患発症リスクとしての大気汚染に関する研究. (主任研究者: 内山巖雄). 平成8年度環境保全研究成果集, 1997: 15-1-15-26

Originals

Wallace M, Scharko AM, Pauza CD, Fisch P, Imaoka K, Kawabata S, Fujihashi K, Kiyono H, Tanaka Y, Bloom BR, Malkovsky M. **Functional $\gamma\delta$ T-lymphocyte defect associated with human immunodeficiency virus infections.** *Mol Med.* 1997; 3: 60-71

Yamamoto S, Takeda Y, Yamamoto M, Kurazono H, Imaoka K, Yamamoto M, Fujihashi K, Noda M, Kiyono H, McGhee JR. **Mutants in the ADP-ribosyltransferase cleft of cholera toxin lack diarrheagenicity but retain adjuvanticity.** *J Exp Med.* 1997; 185: 1203-1210

Yamamoto S, Kiyono H, Yamamoto M, Imaoka K, Yamamoto M, Fujihashi K, van Ginkel FW, Noda M, Takeda Y, McGhee JR. **A nontoxic mutants of cholera toxin elicits Th2-type responses for enhanced mucosal immunity.** *Proc Natl Acad Sci USA.* 1997; 94: 5267-5272

Kubota M, Miller CJ, Imaoka K, Kawabata S, Fujihashi K, McGhee JR, Kiyono H. **Oral immunization with simian immunodeficiency virus p55gag and cholera toxin elicits both mucosal IgA and systemic IgG immune responses in non-human primates.** *J Immunol.* 1997; 185: 5321-5329

Takano H, Yoshikawa T, Ichinose T, Miyabara Y, Imaoka K, Sagai M. **Diesel exhaust particles enhance antigen-induced airway inflammation and local cytokine expression in mice.** *Am J Resp Crit Care Med.* 1997; 156: 36-42

Nakagaki K, Nogami S, Araki K, Tagawa M, Maeda R. **Dirofilaria immitis: experimental infection of rabbits with immature fifth-stage worms.** *Am. J. Trop. Med. Hyg.* 1997; 57: 667-671

Morishita T, Nobusawa E, Luo S, Sato K, Nakajima S, Nakajima K. **Analysis of the host-specific haemagglutination of influenza A (H1N1) viruses isolated in the 1995/96 season.** *Epidemiol. Infect.* 1997; 119: 327-334.

Wne I, Nakayama M, Yamanishi Y, Nishio O, Fang Zy, Nakagomi O, Araki K, Nishimura S, Hasegawa A, MullerWEG, Ushijima H., **Genetic variation in the VP7 gene of human rotavirus serotype 3 (G3 type) isolated in China and Japan.** *Arch Virol.* 1997; 142: 1481-1489.

Watanabe H, Wada A, Inagaki Y, Ito K, Tamura K. **Outbreaks of enterohaemorrhagic Escherichia coli O157: H7 infection by two different genotype strains in Japan, 1966.** *Lancet.* 1997; 348 (9030): 831-832

Izumiya H, Terajima J, Wada A, Inagaki Y, Ito K, Tamura K, Watanabe H. **Molecular typing of enterohemorrhagic Escherichia coli O157: H7 isolates in Japan by using pulsed-field gel electrophoresis.** *J. Clin.*

Microbiol. 1997; 35: 1675-1680

Yamazaki M, Saito M, Inuzuka K, Shima S, Taniwaki H, Ito K. **eaecA Escherichia coli derived from Japanese patients with sporadic diarrhea, Kansenshogaku Zasshi,** 1997; 71(10): 1059-1065

Books

Fujihashi K, Yamamoto S, Marinaro M, Kweon M-N, VanCott JL, Yamamoto M, Imaoka K, Boyaka PN, van Ginkel FW, Kurazono H, Jackson RJ, Elson CO, Kiyono H, McGhee JR. **Regulation of mucosal immune responses by helper T cells and cytokines.** In "Inflammatory bowel diseases and chronic recurrent abdominal pain" (eds. Hadziselimovic F, Herzog B). Kluwer Academic Publishers, Hingham, MA, USA: 1997; 62-81

Terajima J, Wada A, Inagaki Y, Izumiya H, Ito K, Tamura K, Watanabe H. **Outbreaks of enterohaemorrhagic Escherichia coli O157: H7 in Japan and molecular epidemiology.** In "The tips of medical microbiology" Saikon Shuppan Publishers, Tokyo 1997; 267-274

Proceedings with Abstracts

Imaoka K, Miller CJ, Kubota M, Yamamoto M, Fujihashi K, McGhee JR, Kiyono H. **Intranasal combined SIV vaccine induces both Th1 and Th2 responses in mucosal tissues of rhesus macaques.** The American Association of Immunologists Meeting (AAI). San Francisco, CA, USA, February, 1997, J. Allergy Clin. Immunol., 1997; 99(1): S35 (A144)

Yamamoto S, Yamamoto M, Imaoka K, Yamamoto M, Fujihashi K, Kiyono H, Takeda Y, McGhee JR. **A nontoxic mutant of cholera toxin elicits mucosal immunity to vaccines given intranasally.** The American Association of Immunologists Meeting (AAI). San Francisco, CA, USA, February, 1997, J. Allergy Clin. Immunol., 1997; 99(1): S35 (A146)

Fujihashi K, Imaoka K, Kubota M, Miller CJ, Kiyono H, McGhee JR. **Both oral and nasal immunization with simian immunodeficiency virus p55gag and cholera toxin induce Th1 and Th2 cytokines for mucosal IgA and systemic IgG responses in nonhuman primates.** Mucosal Immunity in HIV Infection. Berlin, Germany, June, 1997

Imaoka K, Miller CJ, Kubota M, McChesney MB, Someya K, Yamamoto M, Fujihashi K, Honda M, McGhee JR, Kiyono H. **Nasal vaccine containing SIV p55gag and mucosal adjuvant cholera toxin (CT) induces Th1/Th2 help for anti-viral activities in non-human primates.** 15th Annual Symposium on Non-human Primate Models for AIDS. Seattle, WA, USA, September, 1997, J. Med. Primatol., 1998; A43 (in press)

Imaoka K, Fujihashi K, Yamamoto S, Yamamoto M, McGhee JR, Kiyono H. **Impaired immune responses in $\beta 2m$ -microglobulin deficient ($\beta 2m^{-/-}$) mice orally immunized with OVA and cholera toxin (CT).** 27th Annual Meeting of The Japanese Society for Immunology. Sapporo, October, 1997, Proc. Jpn. Soc. Immunol., 1997; 27: 117

Kubota M, Miller CJ, Imaoka K, Kawabata S, Fujihashi K, McGhee JR, Kobayashi K, Kiyono H. **Oral vaccine containing with SIV p55gag and CT induces mucosal Th1 and Th2 type cells for IgA responses.** 27th Annual Meeting of The Japanese Society for Immunology. Sapporo, October, 1997, Proc. Jpn. Soc. Immunol., 1997; 27: 219

Yamamoto M, Kiyono H, Kurazono H, Yamamoto S, Imaoka K, Takahashi I, Takeda Y, Azuma M, McGhee JR. **Comparison of B7-1 and B7-2 induction by mucosal adjuvants LT and CT for Th1 and Th2 responses.** 27th Annual Meeting of The Japanese Society for Immunology. Sapporo, October, 1997, Proc. Jpn. Soc. Immunol., 1997; 27: 237

Tong N, Nobusawa E, Morishita T, Nakajima S, Nakajima K. **M protein correlates with receptor binding specificity of HA protein of influenza A (H1N1) virus.** Tenth International Conference on Negative Strand Viruses. Dublin, Ireland 21-26, September, 1997, p58

母子保健学部

Department of Maternal and Child Health

原 著

田中哲郎. **暮らしに潜む環境問題—紫外線—**. 公衆衛生, 1997; **61**(1): 30-34

田中哲郎. **乳幼児突然死症候群**. 救急医学, 1997; **21**(3): 278-279

田中哲郎. **子どもの事故: 中毒防止のために**. 日本医師会雑誌, 1997; **117**: 1575

田中哲郎. **乳幼児の事故と防止**. 小児科臨床, 1997, 50巻増刊号: 1563-1572

大久保修, 巻野悟郎, 高野陽, 田中哲郎, 水田隆三, 山中龍宏. **小児のやけどに関する検討と提言**. 日本小児科学会雑誌, 1997; **101**(7): 1222-1224

田中哲郎, 加藤則子, 石井博子, 内山有子, 田中あゆ子, 三鶯文雄. **わが国における乳幼児期の事故**. 小児科, 1997; **38**(9): 1109-1119

加藤忠明, 宮原忍, 平山宗宏, 水野清子, 千賀悠子, 山口規容子, 佐藤紀子, 加藤則子, 松浦賢長. **発育・発達の時代推移に関する研究—乳幼児の発達等と関連する妊娠中・分娩時の因子—**日本総合愛育研究所紀要, 1997; 33集: 7-17

加藤則子, 高石昌弘. **Jenss-Bayley モデルを用いた妊娠期間別乳児期体重発育の検討**. Auxology, 1997; 4: 15-17

大森世都子, 八倉巻和子, 八倉巻尚子, 柿山哲治, 高石昌弘. **幼児の頭部計測に関する検討**. 小児保健研究, 1997; **56**(3): 447-452

八倉巻和子, 村田輝子, 森岡加代, 大森世都子, 高石昌弘. **幼児の食行動に関する研究—「遊び食べ」行動分析の事例—第1報**. 小児保健研究, 1997; **56**(6): 749-756

総 説

田中哲郎, 加藤則子. **小児の心肺蘇生法の実際**. 小児看護, 1997; **20**(7): 822-828

加藤則子. **1歳6ヵ月健診の実際とチェックの要点**. 小児科臨床, 1997; 50増刊: 1353-1358

加藤則子. **今あらためて乳汁栄養について**. 母子保健, 1997; 通巻460号: 8-9

加藤則子. **地域保健の到達レベル2**. 母子保健事業, Monthly 保健センター, 1997; 平成9年8月号: 8-9

加藤則子, 人口動態. 日本学校保健会編. **学校保健の動向** (平成9年版). 東山書房, 京都, 1997; 1-3

著 書

田中哲郎. **救急隊必携 救急マニュアル**, 5-1未熟児・新生児. (株)ぎょうせい, 1997; 270-273

田中哲郎. **救急隊必携 救急マニュアル**, 5-2乳・幼児. (株)ぎょうせい, 1997; 274-277

田中哲郎. **今日の小児治療指針 第11版 薬物乱用** (シンナー, 急性アルコール中毒). 医学書院, 1997; 27-28

田中哲郎. **今日の小児治療指針 第11版 消化管異物**. 医学書院, 1997; 316-317

田中哲郎. **子どもの健康管理 第2章小児の発育発達**. 建帛社, 1997; 9-40

田中哲郎. **子どもの健康管理 第6章事故と安全教育**. 建帛社, 1997; 165-185

田中哲郎. **小児科の進歩17 小児の事故**. 診断と治療社, 1997; 59-63

田中哲郎. **小児科学 15章事故, 乳幼児 (0~4歳)**. 医学書院, 1997; 155-161

田中哲郎. **乳幼児健診マニュアル(第2版)子どもの事故**. 医学書院, 1997; 78-82

田中哲郎. **小児の救急マニュアル**. 永井書店, 1997; 編著

田中哲郎. **新・育児相談**. 日本小児医事出版, 1997; 2-8: 209-262

田中哲郎. **子どもの事故と病気の応急手当**. 栄光教育文

化研究所, 1997: 編著

井原成男, 心のケアー, 子ども相談の実際一心の基礎づくりから育て直しへー, 日本小児医事出版社, 東京: 1997
加藤則子, 共働きと子育て, 小林臻, 田中哲郎監修, 新・育児相談, 日本小児医事出版社, 東京, 1997: 276-283

抄録のある学会報告

武谷茂, 市川光太郎, 衛藤隆, 田中哲郎, 谷口繁, 中川洋, 水田隆三, 山田至康, 小児救急医療体制に対する幼稚園児保護者の意識調査, 日本小児科学会福岡地方会, 1997, 4

中川洋, 市川光太郎, 衛藤隆, 武谷茂, 田中哲郎, 谷口繁, 水田隆三, 山田至康, 工藤充哉, 小児救急医療体制に関する保育園児保護者の意識調査, 日本小児科学会宮城地方会, 1997, 5

武谷茂, 市川光太郎, 衛藤隆, 田中哲郎, 谷口繁, 中川洋, 水田隆三, 山田至康, ワークショップわが国における小児救急医療の現状と課題, 小児救急医療体制に関する幼稚園児保護者の意識調査, 第11回日本小児救急医学会, 東京, 1997, 6: 21-26

内山有子, 田中哲郎, 津村直子, 基本健診受診者のライフスタイルと健康意識, 第56回日本公衆衛生学会, 横浜, 1997, 10: 230

田中哲郎, 市川光太郎, 山田至康, 武谷茂, 中川洋, 小児救急医療体制の現状と問題点の検討, 第56回日本公衆衛生学会, 横浜, 1997, 10: 887

石井博子, 田中哲郎, 小児の事故による超過死亡数の検討, 第56回日本公衆衛生学会, 横浜, 1997: 895

内山有子, 田中哲郎, 衛藤隆, 政令指定都市における小児事故の死亡率に関する検討—政令指定都市群と全国群の比較—, 第44回日本小児保健学会, 京都, 1997, 11: 490-491

石井博子, 田中哲郎, 中川洋, 武谷茂, 市川光太郎, 山田至康, 応急知識の普及度, 第44回日本小児保健学会, 京都, 1997, 11: 510-511

井原成男, 庄司順一, 汪玲, 移行対象と気質の日中比較, 第41回日本教育心理学会, 広島, 1997, 9: 431

井原成男, これからの外来小児科での成育支援—幼児期から思春期の子どもがいる家庭への支援, 日本外来小児科研究会ワークショップ, 東京, 1997, 8: 30

加藤則子, 乳児期の体重増加の母乳継続期間に及ぼす影響, 日本疫学会, 1997, 1: 167

加藤則子, 母子保健の研究における質問票調査の意義, 日本疫学会, 1997, 1: 174

浅香昭雄, 加藤則子, 双生児の卵性に関連する要因の検討, 第67回日本衛生学会総会, 東京, 1997, 4: 316

加藤則子, 身体発育の評価, 第100回日本小児科学会学術集会記念講習会, 東京, 1997, 4: 2-9

加藤則子, わが国における双胎の死亡動向, 第56回日本公衆衛生学会総会, 横浜, 1997, 10: 859

加藤則子, 大森世都子, 田中哲郎, 高石昌弘, 窪田英夫,

より不安を与えない身体発育の目安の表現の試み, 第44回日本小児保健学会, 京都, 1997, 11: 538-539

加藤忠明, 宮原忍, 平山宗宏, 水野清子, 千賀悠子, 山口規容子, 佐藤紀子, 加藤則子, 松浦賢長, 乳幼児の発育等と関連する妊娠中・分娩時の因子, 第44回日本小児保健学会, 京都, 1997, 11: 550-551

加藤則子, 高石昌弘, 胎児期から乳児期にかけての身長・頭囲発育に関する検討, 第8回 Auxology(成長学)研究会, 東京, 1997, 11: 3

佐藤加代子, 石田志子, 布川直子, 高野陽, 山本絃子, 古瀬米子, 地域における母子保健の栄養教育に関する研究(第3報), 第44回日本栄養改善学会, 福岡, 1997, 10: 119

布川直子, 佐藤加代子, 山本京子, 学童の健康状態と食生活状況からみた栄養教育のあり方について(第2報), 第44回日本栄養改善学会, 福岡, 1997, 10: 131

鈴木妙子, 梶本雅俊, 佐藤加代子, 板倉真由美, 佐々木登代子, 田村須美子, 矢口理恵, 個人別栄養調査の互換性の検討(第29報) 地域栄養モニタリングのための関連データの経時変化の要因分析と選択指標の省略化, 第44回日本栄養改善学会, 福岡, 1997, 10: 175

古瀬米子, 秋谷喜志子, 佐藤文宣, 佐藤加代子, 区民健診時における栄養指導のあり方に関する検討, 第44回日本栄養改善学会, 福岡, 1997, 10: 118

和田秀代, 辻川仁美, 田中良明, 三井文子, 赤尾典子, 渡邊まり, 磯濱亜矢子, 上住津恵, 渡邊かおり, 檀原三七子, 岩永俊博, 畑栄一, 川南勝彦, 佐藤加代子, 石井敏広, 地域づくり型保健活動の展開第1報—参加態度の段階的変化—, 第56回日本公衆衛生学会総会, 横浜, 1997, 10: 502

磯濱亜矢子, 根本仁美, 和田秀代, 三井文子, 田中良明, 赤尾典子, 渡邊まり, 上住津恵, 渡邊かおり, 檀原三七子, 岩永俊博, 畑栄一, 川南勝彦, 佐藤加代子, 石井敏広, 地域づくり型保健活動の展開2—住民の参加態度の変化をもたらした支援—, 第56回日本公衆衛生学会総会, 横浜, 1997, 10: 503

田中良明, 根本仁美, 和田秀代, 三井文子, 赤尾典子, 渡邊まり, 上住津恵, 磯濱亜矢子, 渡邊かおり, 檀原三七子, 岩永俊博, 畑栄一, 川南勝彦, 佐藤加代子, 石井敏広, 地域づくり型保健活動の展開3—展開のために働いた機能—, 第56回日本公衆衛生学会総会, 横浜, 1997, 10: 504

田村須美子, 矢口理恵, 若林良孝, 升井孝子, 梶本雅俊, 佐藤加代子, 鈴木妙子, 地域における公衆栄養活動の展開(第1報) 地域保健と学校保健の連携について, 第56回日本公衆衛生学会総会, 横浜, 1997, 10: 1316

佐藤加代子, 加藤則子, 布川直子, 梶本雅俊, 高野陽, 益子まり, 三歳児の健康状態に影響を及ぼす要因—食生活・養育環境との関連—, 第44回日本小児保健学会, 京都, 1997, 11: 386-387

柿山哲治, 武川素子, 高石昌弘, 八倉巻和子, 大森世都子, 小学校における食生活指導の実態—往復葉書による全国抽出調査結果より—, 第44回日本学校保健学会, 松山, 1997, 10: 302-303

大森世都子, 八倉巻和子, 高石昌弘. 幼児期の食生活に関する問題意識—第1報保護者調査と園長調査からみた問題意識. 第44回日本小児保健学会, 京都, 1997. 11: 102-103

学術報告書等

田中哲郎. 子どもの事故とその予防に関する研究. 厚生省心身障害研究「子どもの健康に及ぼす生活環境の影響に関する研究」平成8年度研究報告書, 1997; 153-155

田中哲郎, 福島靖正. 小児事故の地域差に関する検討. 厚生省心身障害研究「子どもの健康に及ぼす生活環境の影響に関する研究」平成8年度研究報告書, 1997; 156-158

石井博子, 田中哲郎, 杉山太幹. YPLL(損失生存可能年数)の国際比較. 厚生省心身障害研究「子どもの健康に及ぼす生活環境の影響に関する研究」平成8年度研究報告書, 1997; 159-162

田中哲郎, 石井博子, 中川洋, 武谷茂, 市川光太郎, 山田至康. 応急知識の普及度に関する研究. 厚生省心身障害研究「子どもの健康に及ぼす生活環境の影響に関する研究」平成8年度研究報告書, 1997; 63-67

井原成男. 思春期の心の相談において保健婦が行うべき指導内容. 厚生省心身障害研究「市町村における母子保健事業の効率的実施に関する研究」(主任研究者: 高野陽)平成8年度研究報告書: 1997; 300-307

加藤則子. 児童館の育児グループ・自主グループ等によ

る育児支援. 厚生省心身障害研究「市町村における母子保健事業の効率的実施に関する研究」(主任: 高野陽)平成8年度報告書, 1997; 197-198

加藤則子. 思春期保健対策事業とその事例. 厚生科学研究総合的地域健康教育検討事業「公衆衛生における卒後教育研修体系に関する研究」(主任: 古市圭治)平成8年度報告書, 1997; 151-156

加藤則子. 母子保健・学校保健分野における到達水準. 厚生科学研究保健医療福祉地域総合調査研究事業「保健サービスの到達水準に関する研究」(主任: 多田羅浩三) 1997; II-1~II-37

新保敏和, 高野陽, 佐藤加代子, 加藤則子, 他13名検討委員会. 川崎市におけるアレルギー性疾患の実態調査に関する報告書. 川崎市アトピー性疾患等調査検討委員会報告書: 1997. 3: 1-67.

佐藤加代子, 石田志子, 倉住玲子, 杉本聖子, 山本緞子, 近藤文子. 母子保健における食生活支援に関する研究. 厚生省心身障害研究「市町村における母子保健事業の効率的実施に関する研究」班(主任研究者: 高野陽)平成8年度研究報告書, 1997. 3: 373-378

石井敏弘, 岩永俊博, 佐藤加代子, 福島富士子. 保健婦栄養士の卒後教育における健康教育に関する研修の実施状況. 「公衆衛生における卒後教育研修体系に関する研究」(主任研究者: 古市圭治)平成8年度報告書, 1997. 4: 205-221

Proceedings with Abstracts

Tanaka T. **Symposium Perspectives of Childhood Injury in Japan.** 9th Asian Congress of Paediatrics, Hong Kong, 1997. 3: 17

Tanaka T, Shimizu M, Umeda M. **Evaluation of the Regional difference in childhood injuries in Japan.** 9th Asian Congress of Paediatrics, Hong Kong, 1997. 3: S137

Ishii H, Tanaka T, Osaka F, Ikemi Y, Kobayashi I, Ito I. **Incidence of Childhood Injuries in Japan.** 9th Asian Congress of Paediatrics, Hong Kong, 1997. 3: S137

Shimizu M, Umeda M, Tanaka T. **Yearly changes of the Incidence of Childhood Injuries in Japan.** 9th

Asian Congress of Paediatrics, Hong Kong, 1997. 3: S137

Eto T, Tanaka T, Ishii H, Kobayashi M, Aoyagi N, Saito R, Shimizu M, Umeda M, Sugiyama T. **To what extent do the mothers of young children know first aid in emergency?.** Third European Congress on CPR and Prehospital care, 1997. 11: 56

Tanaka T, Eto T, Ishii H, Kobayashi I, Shimizu M, Umeda M, Sugiyama T, Saito R. **Education of children in basic life support.** Third European Congress on CPR and Prehospital care, 1997. 11: 71

Kato N. **Perinatal mortality of twins in recent Japan.** Asia-Pacific Academic Consortium for Public Health, Perth, Australia, 1997. 11: 88

労働衛生学部

Department of Industrial Health

原著

後藤純雄, 峯木茂, 杉田和俊, 遠藤治, 村山留美子, 内山巖雄, 田中基裕, 早川和一. ナホトカ号重油流出事故により海岸に漂着した重油の変異原性及びPAH含量について. 環境科学, Vol.7, No.3 1997; 553-559

近藤雅雄, 市川勇, 網中雅仁, 中村繁男. ポルフィリン

代謝系諸酵素活性に及ぼす希土類元素化合物の試験管内での影響. ポルフィリン, 6(2), 1997; 85-92

熊江隆, 荒川はつ子, 内山巖雄, 鈴木一宏, 石崎香里. 大学駅伝選手における血清酵素活性と主観的疲労度に関する研究. 体力科学, 46(2), 1997; 189-200

熊江隆, 荒川はつ子, 村山留美子, 内山巖雄. 無拘束・無麻酔下におけるラットの心拍スペクトル解析に関する研

究. 体力・栄養免疫学雑誌, 7(1), 1997; 64-71

鈴川一宏, 熊江隆, 荒川はつ子, 石崎香里, 伊藤孝, 内山巖雄. 成熟ラットにおける強制運動と睡眠妨害の組み合わせが気管支肺胞洗浄液中細胞に及ぼす影響. 体力科学, 46(4), 1997; 389-396

総説

原沢英夫, 本田靖, 内山巖雄, 佐々木昭彦. 温暖化の健康影響リスク評価について. 気候影響・利用研究会会報13, 1997; 74-79

市川勇, 松村敏郎. 室内環境基準の現状. 衛生化学, 43, 1997; 162-173

著書

内山巖雄(翻訳). リスクコミュニケーションー前進への提言ー(原題 *Improving Risk Communication*) *National Research Council* 編 林裕造・関沢純監訳. 化学工業日報社, 1997; (11), 3-30

内山巖雄. 化学物質と環境リスク これからの環境保健を考える 第2部 人の健康に対するリスクアセスメントー用量・反応評価に関して. 環境庁リスク対策研究会監修. 化学工業日報社, 1997; 109-117

安田満, 小野雅司, 内山巖雄. 自然・人への影響予測地球温暖化と日本 第6章 健康への影響. 西岡秀三・原沢英夫編, 古今書院, 1997; 215-226

抄録のある学会報告

内山巖雄. ガス状物質(オゾン, NO_x)とストレス負荷. 第70回日本産業衛生学 富山, 1997. 4 産業衛生学雑誌, 39; S151.

内山巖雄, 佐々木昭彦, 原沢英夫, 本田靖. GRID/GISを用いた温暖化による健康影響リスク予測2 県別・季節別・性別比較 第70回日本産業衛生学会 富山, 1997. 4 産業衛生学雑誌, 39; S152.

佐々木昭彦, 内山巖雄, Manomaipiboon, K., Srimanobhas, V., Hutacharoen, R. バンコク郊外の事務労働者の生活温度と労働環境 1. 雨期. 第70回日本産業衛生学会 富山, 1997. 4 産業衛生学雑誌, 39; S153

有藤平八郎, 高橋正也, 内山巖雄. オゾン曝露に対するラットの自律系反応と適応. 第70回日本産業衛生学会 富山, 1997. 4 産業衛生学雑誌, 39; S181.

佐々木昭彦, 内山巖雄, 前山美由紀, 野崎恵子. 阪神大震災一年後の高齢者の生活温度と日常生活の変化ー仮設住宅と新築住宅. 第67回日本衛生学会総会, 東京, 1997. 4; 429

原沢英夫, 本田靖, 佐々木昭彦, 内山巖雄. 温暖化の日本への影響ー暑熱の人間健康への影響評価についてー. 第5回地球環境シンポジウム, 東京, 1997; 273-279

原沢英夫, 本田靖, 内山巖雄, 佐々木昭彦. 温暖化の健康影響リスク評価について. 第26回気候影響・利用研究会 東京, 1997. 2

本田純久, 三根真理子, 門司和彦, 佐々木昭彦, 内山巖雄, 本田靖. 月別気温と死亡率の関係: 長崎市被爆者の死亡構造解析. 第62回日本民族衛生学会, 前橋, 1997. 11

近藤雅雄, 市川勇. ガリウム砒素によるポルフィリン代謝異常. 理研シンポジウム: 生体微量元素 東京, 1997. 3; 24(シンポジウム)

近藤雅雄, 市川勇, 網中雅仁, 中村磐男, 工藤吉郎. 希土類元素のヘム合成に及ぼす影響(1). 第67回日本衛生学会総会, 東京, 1997. 4; 186

近藤雅雄, 市川勇, 饗場直美, 櫻井浩. 砒素化合物単回経口投与したマウス赤血球系細胞のヘム合成異常機構について. 第8回ヒ素シンポジウム, 大阪, 1997. 11; 88-89(シンポジウム)

市川勇, 池田耕一. 高温多湿条件下でのカビ育成に対する芳香剤の影響. 第38回大気環境学会年会, つくば, 1997. 9, 講演案旨集; 470

市川勇, 池田耕一, 高橋美加. 中温高湿条件下でのカビ育成に対する芳香剤の影響. 室内環境研究会第3回研究発表会, 1997. 12, 講演抄録集; 84-85

山田正人, 井上雄三, 木苗直秀, 小野芳朗, 吉野秀吉, 市川勇, 田中勝. 廃棄物ライフサイクルにおける有害化学物質のリスク評価手法の開発(1). 日本環境変異原学会第26回大会奏野, 1997. 12, プログラム・要旨集; 114

高橋美加, 栃原裕, 市川勇, 興水ヒカル, 池田耕一, 平山武久. ラジエータ型冷房システムを用いたオフィスの温暖環境評価. 空気調和・衛生工学会学術講演会 東京, 1997. 8, 講演論文集; 489-492

工藤恵子, 小林靖英, 秋山潮子, 三浦たみ子, 橋本雅美, 山田洋子, 高橋由起子, 岩本里織, 篠田道代, 藤田真実, 鈴木晃, 池田耕一, 市川勇. 在宅ケアから住宅計画へのアプローチ#1(雪国B町の在宅サービス利用世帯の住宅の特徴). 第56回日本公衆衛生学会 神奈川, 1997. 10; 588

高橋由起子, 小林靖英, 秋山潮子, 三浦たみ子, 橋本雅美, 工藤恵子, 山田洋子, 岩本里織, 篠田道代, 藤田真実, 鈴木晃, 池田耕一, 市川勇. 在宅ケアから住宅計画へのアプローチ#2(住宅改善の実態と住生活問題). 第56回日本公衆衛生学会 神奈川, 1997. 10; 589

三浦たみ子, 小林靖英, 秋山潮子, 橋本雅美, 工藤恵子, 山田洋子, 高橋由起子, 岩本里織, 篠田道代, 藤田真実, 鈴木晃, 池田耕一, 市川勇. 在宅ケアから住宅計画へのアプローチ#3(雪国B町における最近の建築主とその住意識). 第56回日本公衆衛生学会 神奈川, 1997. 10; 590

鈴木晃, 工藤恵子, 高橋由起子, 小林靖英, 秋山潮子, 三浦たみ子, 橋本雅美, 山田洋子, 岩本里織, 篠田道代, 藤田真実, 池田耕一, 市川勇. 在宅ケアから住宅計画へのアプローチ#4(最近の新築住宅の建築計画). 第56回日本公衆衛生学会 神奈川, 1997. 10; 591

鈴木晃, 工藤恵子, 高橋由起子, 小林靖英, 秋山潮子, 三浦たみ子, 橋本雅美, 山田洋子, 岩本里織, 篠田道代, 藤田真実, 池田耕一, 市川勇. 保健・医療・福祉サイドからの住宅計画へのアプローチ(在宅ケア対応住宅に関する

地域固有の課題に対して)、高齢者の居住環境と健康・福祉(国際比較と展望), 国際長寿センター1997. 3; 108-118

熊江隆, 荒川はつ子, 村山留美子, 内山巖雄, 山崎享子, 石崎香里. 実験小動物を用いた心拍スペクトル解析による慢性疲労の早期発見に関する研究. 第2報 飼育環境と運動ストレスによる影響. 第67回日本衛生学会総会 東京, 1997. 4 日本衛生学雑誌, 52(1); 173.

山崎享子, 熊江隆, 鈴川一宏, 石崎香里, 内山巖雄, 荒川はつ子, 村山留美子, 伊藤孝. 駅伝選手における好中球の活性酸素産生能と血中逸脱酵素活性との比較. 第67回日本衛生学会総会 東京, 1997. 4 日本衛生学雑誌, 52(1); 249

鈴川一宏, 熊江隆, 山崎享子, 石崎香里, 伊藤孝. 駅伝選手の強化トレーニングが非特異免疫能に及ぼす影響 第4報 夏期合宿による血清過酸化脂質量の変化. 第67回日本衛生学会総会 東京, 1997. 4 日本衛生学雑誌, 52(1); 250

熊江隆, 内山巖雄, 川原貴. 一ヶ月間の走り込みによる生体内の活性酸素種産生能と抗酸化機構とのバランスに関する検討. 第67回日本衛生学会ワークショップ 東京, 1997. 4 日本衛生学会ワークショップ講演集; 7

熊江隆, 荒川はつ子, 村山留美子, 内山巖雄, 鈴川一宏, 山崎享子, 伊藤孝, 石崎香里. 大学駅伝選手における生体内の活性酸素種産生と抗酸化機構とのバランスに関する検討. 第52回日本体力医学会大会 大阪, 1997. 9 体力科学, 46(6); 868

鈴川一宏, 熊江隆, 荒川はつ子, 内山巖雄, 伊藤孝. 微量血からの肉体的疲労度評価法の開発 第8報 成熟後ラットにおける強制運動と自発的運動が血清生化学検査値に及ぼす影響. 日本体力医学会大会 大阪, 1997. 9 体力科学.

46(6); 857

村山留美子, 内山巖雄, 高嶋のぞみ, 武長智子, 田島立子, 森延律子, 山崎みく, 広瀬弘忠, 中畝菜穂子, 石塚智一, 土田昭司. リスク認知(1)「環境リスク認知に関する調査研究1」「環境リスク認知に関する調査研究2」「環境リスク認知に関する調査研究3」. 日本リスク研究学会 第10回研究発表会, 京都, 1997. 11; 27-43

学術報告書等

内山巖雄, 佐々木昭彦, 兵井伸行, 原沢英夫, 本田靖, 門司和彦, 竹本泰一郎, 本田純久. 社会集団の健康事象に及ぼす気候変動の影響—アジア太平洋地域のライフスタイル研究—, 平成8年度環境庁地球総合研究「地球温暖化によるアジア太平洋地域社会集団に対する影響と適応に関する研究B-10(3)」, 1997. 5

内山巖雄, 石塚智一, 土田昭司, 広瀬弘忠, 池田三郎, 木下富雄, 中畝菜穂子, 村山留美子. 「大気環境基準等設置調査」報告書 平成8年度環境庁委託調査(財)日本環境センター 1997. 3

日下幸則, 出口洋二, 伊木雅之, 守内昭夫, 宮崎茂和, 内山巖雄, 後藤純雄, 河原和夫, 西正美, 佐藤一博, 森田明美. 「重油含有物質による人体影響及び危急時の健康管理体制に関する研究」厚生科学研究報告書 1997. 3

視聴覚資料/電子媒体等による研究成果

横山榮二, 田中勝, 内山巖雄(監修). シリーズ・日本の公衆衛生 健康リスクからみた今日の環境問題. 東映株式会社, 株式会社日本産業映画センター(1997) VHS 29分

Originals

Sasaki, A., Uchiyama, I., Mori, N., Honda, Y. and Harasawa, H. **Health effect and risk at population level in Japan by global warming.** *Jpn. J. Risk Analysis*, 8; 57-63, 1997

Harasawa, H., Honda, Y., Sasaki, A. and Uchiyama, I. **The potential impacts of global warming in Japan—Impacts on human health.** *J. Global Environment Eng.* (submission), 1997

Honda, Y., Ono, M., Sasaki, A., Uchiyama, I. **Relationship between Ambient Temperature and Mortality in Okinawa, Japan.** *Jpn. J. Biometeor.*, 34(2), 1997; 81-87

Arito, H., Takahashi, M., Iwasaki, T. and Uchiyama, I. **Age-related change in ventilatory and heart rate responses to acute ozone exposure in the conscious rat.** *Industrial Health*, 35, 1997; 78-86

Kumae, T., Saburi, Y., and Nasu, M.: **In vivo and in vitro effects of sizofiran on the human neutrophils and the serum opsonic activity.** *Biotherapy*, 10(2), 1997; 121-127

Kumae, T., Kawahara, T., and Uchiyama, I. **A study for prevention of chronic fatigue.** Part 1. Effects of endurance running during one month on blood properties and subjective fatigue. *Environ. Health Prevent. Med.*, 2(1), 1997; 21-27

Kumae, T., Machida, K. and Sugawara, K. **Seasonal changes of serum opsonic activity in healthy male adults.** *J. Phys. Fil. Nutr. Immunol.*, 7(1), 1997; 3-12

Kikuchi, T., Suzuki, K., Abe, T., Satoh, H., Endoh, T., Hasegawa, H., Nakaji, S., Sugawara, K. and Kumae, T. **Measurement of chemiluminescence from neutrophils in a 96-well microplate using Lumi Box U-800II.** *J. Biolumin. Chemilumin.*, 12(3), 1997; 149-153

Proceedings with Abstracts

Sasaki, A., Uchiyama, I., Naka, K., Hutacharoen, R., Muangman, D. **Diversity of temperature adaptation and its potential limit in Japan and Thailand.** 1997 Open meeting of the Human Dimensions of Global Environmental Change Research Community, IIASA, Laxenburg, Austria, June, 1997

Kondo, M., Ichikawa, I., Aminaka, M. and Nakamura, I. **Effects of rare earth elements on activities of porphyrin metabolic enzymes.** Abstracts of the RIKEN International Symposium, Bio-trace Elements 97, Hachioji, Tokyo, 1997. 8; 26 (symposium)

Ichikawa, I. and Kondo, M. **Changes in production of active oxygens and contents of oxidation-reduction components in small intestine of mice after oral administration of cerium chloride.** Abstracts of the RIKEN International Symposium, Bio-Trace Elements 97, Hachioji, Tokyo. 1997. 8; 7 (symposium)

Suzuki, A., Kudo, K., Takahashi, Y., Kobayashi, Y., Akiyama, S., Miura, T., Hashimoto, M., Yamada, Y., Iwamoto, S., Shinoda, M., Fujita, M., Ikeda, K. and Ichikawa, I. **A study on housing projects from the health and welfare points of view: Problems peculiar to a local town regarding adaptable housing.** International conference Living Environment, Health and Well-Being for the Elderly. International Longevity Center (Japan), Izu, 1997. 3; 2-10

Kumae, T. and Arakawa, H. **Effects of therapeutic low level diode laser on superoxide generation from rat alveolar macrophages.** The First Congress of the International Association for Laser and Sports Medicine, Tokyo, JAPAN, 1997. 12, Program & Abstracts; 32

Suzuki, K., Nakaji, S., Yamaya, M., Sugita, N., Sugawara, K. and Kumae, T. **Mechanistic approach to GaAlAs diode laser effects on production of reactive oxygen species from human neutrophils as a model for therapeutic modality at a cellular level.** The First Congress of the International Association for Laser and Sports Medicine, Tokyo, JAPAN, 1997, 12, Program & Abstracts; 31-32

Reports

Sasaki, A., Uchiyama, I., Hyoi, N., Harasawa, H., Thong-Nop, L. **Toward Asian network on health impact by global climate change-A discussion paper in Tokyo and Tsukuba - .** 1997. 12; 1-24

衛生薬学部

Department of Pharmaceutical Sciences

原書

森川馨, 加藤昌靖, 津崎要, 山本昇, 紀井良明, 中尾明夫, 宇田尚史, 福富直樹, 松倉成一, 柳原弘之, 河田茂雄, 重光真, 笠井隆行, 宮沢嘉延, 三浦勇二, 鈴木専二, 三川正明. **原薬 GMP 研究報告(後半).** 日本 PDA(医薬品品質保証学会), 東京: 1997 pp 1-1-16-8

抄録のある学会報告

福原守雄, 孫歩祥. **坑酸化剤と食品中天然物質フラボノイドとの複合作用について.** 日本毒科学会第24回学術年会, pp.124, 東京, 1997.7

磯崎恵美, 黒瀬光一, 頭金正博, 福原守雄. **Syrian hamster の新規 CYP2A 分子種の cDNA クローニングとその特性解析.** 第70回日本生化学会大会 pp.602, 金沢, 1997.9

黒瀬光一, 頭金正博, 福原守雄. **シリアンハムスター CYP2A8 遺伝子の転写調節機構の解析.** 第70回日本生化学会大会 pp.602, 金沢, 1997.9

森川馨. **開発段階からの医薬品の製造品質の保証とバリ**

デーション. 日本薬学会第117年会 pp.292, 東京, 1998.3
志村恭子, 大熊和行, 森川馨. **医薬品製造における品質試験法について.** 日本薬学会第117年会 pp.292, 東京, 1998.3

味村真弓, 香月英男, 森川馨. **内服固形製剤のプロセスバリデーションと実際と課題.** 日本薬学会第117年会 pp.51, 東京, 1998.3

森川馨, 平中真紀, 飯田真己, 遠藤景, 須田功, 布村茂樹. **多形核白血球活性化を調節するオリゴ糖脂質の解析.** 第19回糖質シンポジウム pp.84, 西宮, 1997.8

只木晋一, 野坂富雄, 田中章男, 森川馨. **医薬品のプロセスバリデーションに対する衛生研究所の取り組み.** 第34回全国衛生化学技術協議会年会 pp.154, 水戸, 1997.11
視聴覚資料やデジタル媒体による研究成果

森川馨. **白血球機能を調節する糖鎖利用による新規医薬品の開発.** (主任研究者: 森川馨) ヒューマンサイエンス基礎研究事業, 第二分野ニューテクノロジーとしての糖鎖工学の確立と医療・医薬分野への応用, 平成8年度研究業績集: 1997; 61-74

Originals

Sun B, Fukuhara M. **Effects of co-administration of butylated hydroxytoluene, butylated hydroxyanisole**

and flavonoids on the activation of mutagens and drug-metabolizing enzymes in mice. *Toxicology* 1997; 122: 61-72

衛生獣医学部 Department of Veterinary Public Health

原 著

藤原真一郎. 総合衛生管理製造過程による製造の承認制度. 獣医畜産新報, 1997; 50(1): 50-53

総 説

山崎省三. 環境微生物の測定方法. フードケミカル, 1997; 13(9): 68-75

藤原真一郎. 総合衛生管理製造過程に係る承認について. 食品衛生学雑誌, 1997; 38(1): J-6-9

著 書

山崎省三. バイオコンタミネーションコントロール, 日本空気清浄協会編. ISO/TC209クリーンルーム国際規格: 制定の現状と将来. 日本空気清浄協会, 東京, 1997; 44-103

藤原真一郎. 今後の食品衛生行政から見た HACCP. 日本食品保全研究会編. HACCP の基礎と実際. 中央法規出版, 東京: 1997; 9-16

藤原真一郎. HACCP: 衛生管理計画の作成と実践 総論編 (分担執筆). 中央法規出版, 東京: 1997

藤原真一郎, 松岡隆介. HACCP: 衛生管理計画の作成と実践 データ編 (分担執筆). 中央法規出版, 東京: 1997

抄録のある学術報告

松岡隆介, 尾池洋美, 田代靖人, 大塚佑子, 山崎省三. 無菌マウスの腸管出血性大腸菌 O157 感染に及ぼすピフィズス菌とフラクトオリゴ糖の影響. 腸内細菌学雑誌 11 巻, 第 1 回腸内細菌学会特集号, 東京, 1997; 23

津端利絵, 山崎省三, 阪口雅弘, 岩城隆昌, 吉澤晋. 実験動物施設における動物アレルゲンに関する検討. 第 15 回空気清浄とコンタミネーションコントロール研究大会予稿集. 東京, 1997; 399-402

服部憲児, 中島基雄, 山崎省三. ATP 法による空中浮遊菌の迅速測定. 第 24 回防菌防黴学会要旨集. 大阪: 1997; 50

山本茂貴, 服部憲児, 谷地館恵子, 藤原真一郎, 松岡隆介, 山崎省三, 中島基雄. ATP 消去剤を用いた ATP 法による食品微生物検査. 第 24 回防菌防黴学会要旨集. 大阪: 1997; 50

間處博子, 本間茂, 服部憲児, 日佐和夫, 山本茂貴, 藤原真一郎, 松岡隆介, 大塚佑子, 山崎省三. ATP 法による食肉の微生物汚染管理. 食品微生物学会講演要旨集. 東京: 1997; 80

岡田由美子, 牧野壯一, 山崎省三. 培地中の食塩が *Listeria monocytogenes* に与える影響について. 第 124 回日本獣医学会講演要旨集. 鹿児島, 1997; 189

久和茂, 田川陽一, 柴田進和, 土井邦雄, 町井研士, 岩倉洋一郎. マウス肝炎ウイルス感染による IFN- γ ノックア

ウトマウスの致死性腹膜炎. 第 44 回日本実験動物学会総会講演要旨集. 大宮, 1997; 112

町井研士, 後藤純雄, 遠藤治, 深井文雄, 高木敬彦, 光崎研一. タバコ煙抽出物及びその画分の細胞間連絡阻害. 第 6 回環境科学討論会講演要旨集. 東京, 1997; 197-198

久和茂, 田川陽一, 町井研士, 岩倉洋一郎. マウス肝炎ウイルス感染に置ける IFN- γ の役割. 第 45 回日本ウイルス学会総会講演要旨集. 京都, 1997; 186

久和茂, 田川陽一, 町井研士, 柴田進和, 土井邦雄, 岩倉洋一郎. マウス肝炎ウイルス感染による IFN- γ ノックアウトマウスの亜急性性腹膜炎. 第 124 回日本獣医学会講演要旨集. 鹿児島, 1997; 31

藤原真一郎. 総合衛生管理製造過程による食品の製造の承認制度. 日本防菌防黴学会第 24 回年次大会要旨集. 大阪, 1997; 5: 131-132 (パネルディスカッション)

学術報告書等

金子光美, 荒木国興, 国包章一, 真柄泰基, 山崎省三, 他. クリプトスポリジウム等の水道水源における動態に関する研究報告書. 平成 8 年度厚生科学研究費報告書. (財)水道技術研究センター, 1997

山本茂貴, 饗場直美. 放射線照射によるリンパ球の細胞死 (apoptosis) のメカニズムの解析及びその回避因子に関する研究. 平成 9 年度国立機関原子力試験研究費報告書

山崎省三. 容器包装詰加圧加熱殺菌食品への HACCP 導入研究. 平成 8 年度厚生科学研究事業研究報告書

山本茂貴. 微生物危害のリスクアセスメントに関する研究. 動物性食品等の高度衛生管理に関する研究 分担研究. 平成 9 年度食品衛生調査研究事業報告書

山本茂貴. Q 熱のリスクアナリシスに関する研究. 動物性食品等の高度衛生管理に関する研究 分担研究. 平成 9 年度厚生科学研究食品衛生調査研究事業報告書

山本茂貴. と畜場における廃棄並びに汚染食肉の流通による経済損失に関する疫学的研究. 食中毒等による経済損失の評価に関する経済疫学的研究 分担研究. 平成 9 年度厚生科学研究特別研究事業報告書

山本茂貴. *Mycobacterium avium complex* 経口感染 BALB/c マウスの腸管上皮内リンパ球の解析. 平成 9 年度日米医学研究協力ハンセン病・結核部会研究報告書

山本茂貴, 森岡豊. と畜場における廃棄並びに汚染食肉の流通による経済損失に関する疫学的研究. 平成 9 年度食肉に関する助成研究調査成果報告書 (伊藤記念財団)

山本茂貴. 食肉及び食鳥肉の検査に関する国際会議に出席して. 食品衛生研究, 1997; 47(10): 49-59

山本茂貴. ATP 測定技術の最新動向: 食品産業における ATP 法の利用. 食品と開発, 1997; 32: 4-6

藤原真一郎. 一般的衛生管理プログラムと重要管理点 (CCP) の区別の考え方. HACCP システム実践講座第 2 講

座. サイエンスフォーラム, 東京. 1997; 1-6

藤原真一郎. 製品の回収システム. HACCP システム実践講座第2講座. サイエンスフォーラム, 東京. 1997; 88-89

藤原真一郎, 品川邦汎. 危害分析と CCP の特定. HACCP システム実践講座第3講座. サイエンスフォーラム, 東

京. 1997; 1-51

藤原真一郎, 品川邦汎. 総合衛生管理製造過程の承認申請. HACCP システム実践講座第6講座. サイエンスフォーラム, 東京. 1997; 1-8

松岡隆介. 食生活の知識 残留農薬基準. ぐらしの豆知識97. 国民生活センター.

Originals

Hayashi T, Murakami M, Yamamoto S, Ono K, Onodera T. **Dimethylthiourea reduces pancreatic islet-cell damage in DBA /1 suckling mice with reovirus Type-2 infection.** *J. Comp. Path.* 1997; 117: 329-338

Reports

Nagaoka H, Sugieda M, Nakamura N, Yamamoto S, Hirai K. **Q fever in Japan.** Proceedings of the 2nd International Symposium on Lyme Disease in Japan, "Emerging and Re-emerging Disease Transmitted by Arthropod Vectors and Rodents" Shizuoka. 1997; 312-330

Okada Y, Makino S, Maruyama T, Yamamoto S. **A new method for direct detection of Listeria monocytogenes from foods by polymerase chain reac-**

tion. Abstracts for Science Sessions. 32nd Toxic Microorganisms Joint Panel meeting, United States-Japan Cooperative Program on Development and Utilization of Natural Resources. Osaka. 1997; 18

Kyuwa S, Tagawa Y, Machii K, Shibata S, Doi K, Fujiwara K, Iwakura Y. **MHV-induced fatal peritonitis in mice lacking IFN- γ .** 7th International Symposium on Coronaviruses and Arteriviruses. Spain. 1997; 16

Fujiwara S. **Residue requirements and management in Japan.** The 10th International FAVA Congress CD-ROM Conference Australia. 1997, Aug.

Matsuoka R, Iseki N. **Implementation of hazard analysis and Critical control point (HACCP) system to ensure food safety in Japan.** First International Food Safety HACCP Conference. Noordwijk aan Zee, the Netherlands. 1997. Feb. 17-18; 77-78

放射線衛生学部

Department of Radiological Health

原 著

三宅定明, 茂木美砂子, 大沢尚, 中澤清明, 出雲義朗, 中村文雄. 陸水系における¹³⁷Csの放射生態に関する研究—メダカ, *Oryzias latipes*, にとりこまれた¹³⁷Csの生化学的存在形態—. *RADIOISOTOPES*. 1997; 46(7): 419-426

総 説

出雲義朗. 食品の輸入規制. 放射線被ばくの社会的評価. 放医研環境セミナー. 1997; 24: 14-25

緒方裕光. フランスにおけるラドン吸入曝露実験研究. 一発ガン影響データの数量的解析—. *放射線科学*. 1997; 40(12): 405-409

抄録のある学会報告

杉山英男, 寺田宙, 出雲義朗, 前田憲二, 宮田昌弘, 渡辺芳則, 磯村公郎. 海産物および輸入食品の放射能モニタリング(3). 日本食品衛生学会第74回学術講演会講演要旨集, 福岡. 1997.10: 75

杉山英男, 寺田宙, 柴田尚, 松下和弘, 仁科正実, 加藤文男. キノコ菌糸によるセシウムの取り込み特性. 第41回日本薬学会関東支部大会講演要旨集. 船橋. 1997.10: 67

杉山英男, 寺田宙, 出雲義朗, 前田憲二, 宮田昌弘, 渡

辺芳則, 磯村公郎. 食品の放射能モニタリングに関する調査研究(3). 第34回全国衛生化学技術協議会年会講演集. 水戸. 1997.11: 74-75

池淵秀治, 米谷民雄, 五十嵐修一, 磯貝啓介, 岡田昌二, 杉山英男, 磯村公郎, 武田洋. 放射性物質試験法 ヨウ素-131, 四塩化炭素の代替え有機溶媒の検討. 日本薬学会第117年会講演要旨集4. 東京. 1997.3: 279

桑原千雅子, 綿貫知彦, 松下和弘, 仁科正実, 杉山英男. セシウムがキノコにおよぼす生育への影響とその取り込み. 日本放射線影響学会第40回大会講演要旨集. 京都. 1997.11: 91

三宅定明, 茂木美砂子, 大沢尚, 中澤清明, 出雲義朗. 陸水系における¹³⁷Csの放射生態に関する研究(第5報). 第23回埼玉県公衆衛生研究発表会抄録集, 埼玉県. 1997: 278-279

三宅定明, 茂木美砂子, 大沢尚, 中澤清明, 出雲義朗. 県内1湖沼の各種試料中における¹³⁷Csの放射能. 第56回日本公衆衛生学会総会抄録集, 神奈川. 1997: 1428

茂木美砂子, 三宅定明, 大沢尚, 中澤清明, 出雲義朗. 沸騰水調理におけるミツバからの¹³⁷Csの溶出. 第56回日本公衆衛生学会総会抄録集, 神奈川. 1997: 1429

出雲義朗, 緒方裕光, 橋本和子, 平井保夫, 高田芳矩. 食品中の¹³⁷Csに対する⁹⁰Srからの被ばくの割合. 第56回日

本公衆衛生学会総会抄録集, 神奈川, 1997: 1430

橋本和子, 平井保夫, 出雲義朗, 1993~1995年度茨城県産食品中の¹³⁷Csの放射能, 第56回日本公衆衛生学会総会抄録集, 神奈川, 1997: 1431

緒方裕光, 寺田宙, 出雲義朗, X線照射マウスの脾細胞におけるコバルト元素のとりこみ, 日本放射線影響学会第40回大会講演要旨集, 京都, 1997.11: 82

赤羽恵一, 甲斐倫明, 草間朋子, 内部被ばく線量評価に用いるファントム形状が及ぼす不確かさの分析, 日本保健物理学会第32回研究発表会, 奈良, 1997.5: 14

学術報告書等

杉山英男, 寺田宙, 出雲義朗, 海産食品ならびに輸入食品の放射能調査, 第39回環境放射能調査研究成果論文抄録集(平成8年度), 科学技術庁: 1997: 103-104

杉山英男, 魚介類に含まれる放射性核種, 日本医事新報: 1997: 3825: 115-116

緒方裕光, 寺田宙, 出雲義朗, 必須元素の代謝を指標とする放射線の影響評価法の開発と防護に関する研究, 平成8年度国立機関原子力試験研究成果報告書(第37集), 1997: 100: 1-4

Originals

Kuwahara C., Koyama K., Sugiyama H. **Estimation of daily uranium ingestion by urban residents in Japan.** *Journal of Radioanalytical and Nuclear Chemistry.* 1997; **220**(2): 161-165

Proceedings with Abstracts

Terada H., Shibata H., Kato F., Sugiyama H. **Influence of alkali elements on accumulation of radio-cesium by mushroom.** Fourth International Conference on Methods and Applications of Radioanalytical Chem-

istry. Kailua-Kona, 1997. 4: 83

Kuwahara C., Watanuki T., Matsushita K., Nishina M., Sugiyama H. **Studies on uptake of cesium by mycelium of the mushroom (*Pleurotis ostreatus*) by ¹³⁷Cs-NMR.** Fourth International Conference on Methods and Applications of Radioanalytical Chemistry. Kailua-Kona, 1997. 4: 48-49

Izumo Y. **Actions in Japan Following the Chernobyl Nuclear Power Accident—Mainly, Radioactivity Monitoring of Imported Foods.** Emerging Issues in Health; Priorities and Actions. Asia-Pacific Consortium for Public Health. Perth, 1997; 75-76

地域環境衛生学部

Department of Community Environmental Science

原 著

任恵峰, 林哲仁, 大久保忠利, 後藤純雄, 遠藤英明, 渡辺悦生, ヒスチジンを含む水産エキス試料に適した変異原性試験法の検討, *Nippon Suisan Gakkaishi*, 1997; **63**(1): 90-96

望月宏明, 後藤純雄, 渡辺征夫, 矢島博文, 石井忠浩, 田辺潔, 呼気中への有機塩素化合物の排出について, *環境化学*, 1997; **7**(1): 91-94

高木敬彦, 菅正和, 小谷野道子, 後藤純雄, 加藤行男, 金内長司, 光崎研一, 石油およびガスストーブの使用と室内多環芳香族炭化水素濃度, *日本獣医師会雑誌*, 1997; **50**(3): 169-172

遠藤治, 小谷野道子, 関谷幸江, 関幸雄, 高木敬彦, 光崎研一, 後藤純雄, 空気中の変異原性物質の個人曝露に及ぼす喫煙及び受動喫煙の影響, *環境化学*, 1997; **7**(2): 281-289

林哲仁, 酒井紀久子, 任恵峰, 後藤純雄, 遠藤英明, 渡辺悦生, マイワシ調味缶詰の変異原性に及ぼす調味料の影響, *Nippon Suisan Gakkaishi*, 1997; **63**(5): 773-779

白尾美佳, 鈴木澄子, 後藤純雄, 中澤裕之, 高分子表面における好中球様HL-60細胞の挙動に関する研究—スルホン化ポリスチレンに接触した細胞の反応について—, *人*

臓器, 1997; **26**(3): 756-761

森康明, 辻清美, 節田節子, 後藤純雄, 小野寺祐夫, 松下秀鶴, 室内空气中アルデヒド類測定のためのPEBOA法の有用性, *環境化学*, 1997; **7**(3): 515-520

早川和一, 木津良一, 安藤京子, 村橋毅, 東成見, 山本茂樹, 長谷川幸司, 中浜慶子, 山下克美, 松本健, 後藤純雄, ナホトカ号流出重油及び汚染環境試料中の芳香族炭化水素と毒性, *環境化学*, 1997; **7**(3): 545-552

徳原賢, 貴戸東, 藤野廣, 薬師神重二, 城戸浩三, 渡辺征夫, 後藤純雄, 室内及び屋外の揮発性有機化合物の北九州市における分布の実態(I), *環境化学*, 1997; **7**(4): 809-819

森康明, 行谷義治, 節田節子, 後藤純雄, 小野寺祐夫, 松下秀鶴, **Air Toxics** 管一ポンプ法およびCarbopack B管一拡散法による室内空気試料の採取と加熱脱着—GC/MSシステムによる揮発性有機化合物の測定, *環境化学*, 1997; **7**(4): 851-857

後藤純雄, 峯木茂, 杉田和俊, 遠藤治, 村山留美子, 内山巖雄, 田中基裕, 早川和一, ナホトカ号重油流出事故により海岸に漂着した重油の変異原性及びPAH含量について, *環境化学*, 1997; **7**(3): 553-559

林哲仁, 任恵峰, 後藤純雄, 遠藤英明, 渡辺悦生, 熱水抽出ポーンエキスの品質および変異原性に及ぼす抽出条件

等の影響. 日本食品化学工学会誌, 1997; 44(10): 716-723
山形定, 西尾明子, 太田幸雄, 原宏. 7種類の土壌粒子による亜硫酸イオン光酸化の促進. 大気環境学会誌, 1997; 32: 68-72

大泉毅, 田畑亨, 北村守次, 瀬戸信也, 竹内正, 出口輝之, 野口泉, 守敏男, 原宏. 降水時開放型装置で捕集した降水のpHの自動連続測定と降水pHの地域分布. 日本化学会誌, 1997; 7, 1997: 632-640

原宏. 日本の降水の化学. 日本化学会誌, 1997: 1997: 733-748

稲津晃司, 小林孝彰, 久松由東. 粒子担体上のベンゾ(a)ピレンとクリセンの二酸化窒素-空気雰囲気下における気-固不均一光反応速度と生成物分布におよぼす担体の影響. 日本化学会誌, 1997; 5: 385-388

小川正彦, 坂井亨, 大熊和行, 松本正, 久松由東, 中澤裕之. GPC及びGC/MS-SIMを用いた農産物中残留農薬の迅速一斉分析. 食品衛生学雑誌, 1997; 38(2): 48-61

総説

渡辺征夫. ごみ処理と地球温暖化. SUT BULLETIN, 1997; 1997(1): 34-39

著書

渡辺征夫(分担執筆). 分析実務者のための環境分析“Q & A”, 環境測定分析検討会統一精度管理調査部会編. 環境庁企画調整局環境研究技術監修. しらかば出版(埼玉県入間郡), 1997

渡辺征夫(分担執筆). キャピラリーガスクロマトグラフィー. 日本分析化学会ガスクロマトグラフィー研究懇談会編, 朝倉書店(東京), 1997

原宏. 酸性雨-全体像と研究の展望, 生成と沈着. 日本化学会酸性雨問題研究会編. 身近な地球環境問題-酸性雨を考える. コロナ社, 東京, 1997: 1-18

原宏. 湿性沈着. 大喜多敏一, 戸塚績, 菱田一雄編. 地球環境の行方-酸性雨. 中央法規出版, 東京, 1997: 61-71

原宏(分担執筆), 横山長之, 市川惇信共編. 環境用語辞典. オーム社, 東京, 1997

抄録のある学会報告

杉田和俊, 後藤純雄, 小谷野道子, 遠藤治, 石井弓美子, 小野寺祐夫, 矢島博文, 石井忠浩. ディーゼル排出粒子中PAHの肺内挙動について. 日本環境化学会第6回環境化学討論会, 東京, 1997, 6: 193-194

望月宏明, 後藤純雄, 遠藤治, 渡辺征夫, 辻貴子, 矢島博文, 石井忠浩. 有機塩素化合物の室内空気と呼吸濃度. 日本環境化学会第6回環境化学討論会, 東京, 1997, 6: 195-196

町井研士, 後藤純雄, 遠藤治, 深井文雄, 高木敬彦, 光崎研一. タバコ煙抽出物及びその画分の細胞間連絡阻害. 日本環境化学会第6回環境化学討論会, 東京, 1997, 6: 197-198

小谷野道子, 後藤純雄, 遠藤治, 松下秀鶴, 宇田川忠, 水野悟, 岩井和郎. 通常軽油及び低硫黄軽油使用時のディーゼル排出ガス粒子中成分の比較. 第38回大気環境学会年会, つくば, 1997, 9: pp. 425

古谷卓, 杉田和俊, 後藤純雄, 高木敬彦, 石井忠浩. 環境空气中多環芳香族炭化水素の粒径分布. 第38回大気環境学会年会, つくば, 1997, 9: pp. 491

遠藤治, 小谷野道子, 加藤基恵, Ruby Valdivia, M. Ilabaca Marileo, 後藤純雄. 都市大気浮遊粒子の変異原性並びにPAH濃度-東京圏と南米サンチャゴ市の比較-. 日本環境変異原学会第26回大会, 秦野, 1997, 12: pp. 113

稲葉洋平, 岸野令, 杉田和俊, 遠藤治, 後藤純雄, 太田敏博, 山形秀夫. 重油の変異原性測定方法の検討. 日本環境変異原学会第26回大会, 秦野, 1997, 12: pp. 119

渡辺征夫, 竹澤一郎, 田子博, 泉克幸. GC/Dry-ELCDによる排ガスおよび空気中の低級ハロゲン炭化水素の分析. 日本化学会第72春季年会, 東京, 1997; I: 521

富田潤一, 杉田和俊, 渡辺征夫, 中西基晴, 泉克幸. 大気中のpptレベルのPeroxyacyl-nitrates用捕集用トラップ管の開発. 日本化学会第72春季年会, 東京, 1997; I: 521

渡辺征夫, 山田正人, 田中弘充, 竹澤一郎, 庭野知子, 富田潤一. ごみ焼却炉から排出される温室効果ガスの分析. 第38回大気環境学会年会, つくば, 1997, 9: pp. 304

王青躍, 丸山敏彦, 坂本和彦, 羅仁学, 溝口次夫, 渡辺征夫, 高世東. 中国重慶市における石炭バイオブリケットの試作実験. 第38回大気環境学会, つくば, 1997, 9: pp. 313

坂本和彦, 王青躍, 丸山敏彦, 溝口次夫, 羅仁学, 渡辺征夫. 試作バイオブリケット技術に関する燃焼実験. 第38回大気環境学会, つくば, 1997, 9: pp. 314

溝口次夫, 王青躍, 坂本和彦, 丸山敏彦, 小島麗逸, 新家増美, 羅仁学, 渡辺征夫. 石炭バイオブリケットに関する重慶市民評価. 第38回大気環境学会, つくば, 1997, 9: pp. 315

坂本和彦, 王偉, 高世東, 渡辺征夫. 石炭のバイオブリケット化によるSO₂とフッ化物の排出制御. 第38回大気環境学会, つくば, 1997, 9: pp. 319

富田純一, 杉田和俊, 中西基晴, 前田恒昭, 泉克幸, 渡辺征夫. GC/PD-ELCDによるPANとハロゲン炭化水素の分析. 第38回大気環境学会, つくば, 1997, 9: pp. 418

寺島千晶, 古野正浩, 古川昇, 山田正人, 渡辺征夫, 田中勝. HPLC-電気化学検出器を用いた都市ごみ焼却施設の排ガス・ドレン水中のクロロフェノール類の測定. 廃棄物学会第8回研究発表会, 川口, 1997: 549-551

渡辺征夫, 山田正人, 田中勝, 竹澤一郎, 河合美紀, 三好清香, 古川昇. 都市ごみ焼却施設から排出される低級ハロゲン炭化水素類の自動連続測定. 廃棄物学会第8回研究発表会, 川口, 1997: 552-554

渡辺征夫. 空気中の揮発性有機化合物の分析の歴史. ガスクロマトグラフィー研究会特別講演会 [空気中の揮発性

有機化合物のGC分析], 1997; 40-48

渡辺征夫, GP-ELCDについて, 第220回ガスクロマトグラフィー研究会 [最近話題のGC用検出器], 1997, 10

渡辺征夫, 光音響赤外吸収型ガス分析計による温室効果ガスの分析, 大気環境学会地球温暖化研究分科会特別講演会 [温室効果ガスの測定法と排出推定法], 1997, 3

渡辺征夫, 日本周辺の大気中のPANsの分布, 大気環境学会地球温暖化研究分科会特別講演会 [大気中の含窒素有機化合物の動態], 東京都 北トピア, 1997, 7

中尾允, 向井人史, 村野健太郎, 山口幸祐, 多田納力, 原宏, 隠岐島で採取されたエアロゾルに含まれる硫酸イオンの硫黄同位体比, 第38回大気環境学会年会, つくば, 1997, 9; 182-183

石川百合子, 原宏, 東京における降水中の窒素成分の歴史的变化, 第38回大気環境学会年会, つくば, 1997, 9; pp. 277

原宏, 大泉毅, 大石興弘, 北村守次, 瀬戸信也, 田畑亨, 野口泉, 守敏男, Wet/Dry型捕集装置による降水化学の全国的状況(7)平成6年度の降水化学の概要, 第38回大気環境学会年会, つくば, 1997, 9; pp. 527

野口泉, 大泉毅, 北村守次, 瀬戸信也, 大石興弘, 田畑亨, 守敏男, 原宏, Wet/Dry型捕集装置による降水化学の全国的状況(8)pHとイオン成分濃度について, 第38回大気環境学会年会, つくば, 1997, 9; pp. 528

大泉毅, 野口泉, 北村守次, 瀬戸信也, 大石興弘, 田畑亨, 守敏男, 原宏, Wet/Dry型捕集装置による降水化学の全国的状況(9)イオン沈着量の地域分布と経年変化, 第38回大気環境学会年会, つくば, 1997, 9; pp. 529

田畑亨, 大泉毅, 野口泉, 北村守次, 瀬戸信也, 大石興弘, 守敏男, 原宏, Wet/Dry型捕集装置による降水化学の全国的状況(10)データコンプライアンス(完全度)の地域比較と経年変化, 第38回大気環境学会年会, つくば, 1997, 9; pp. 530

原宏, Jie Tang, 大野卓也, 中国青海省 Mt. Waliguanにおける降水化学, 第38回大気環境学会年会, つくば, 1997, 9; pp. 529

原宏, 酸性沈着の全球規模での評価, 第38回大気環境学会年会, つくば, 1997, 9; pp. 533

原宏, 「酸性降下物」と酸性雨:用語法の考察, 日本環境教育学会第8回大会, 1997; pp. 134

原宏, 酸性雨の化学, セパレーションサイエンス'97(特別講演), 1997; 9-12

原宏, 酸性雨:大陸規模の大気汚染, 日本気象学会 第13回夏期大学 新しい気象学:大気汚染と酸性雨, 1997; 1-8
大野卓也, 石川百合子, 大山準一, 小川亮, 原宏, 綾里における降水化学の1976-1994年の変化, 日本地理学会, 1997; 51: 142-143

原宏, 酸性雨を考える, 北東アジア地域酸性雨シンポジウム, 1997, 2; 7-68

稲津晃司, 久松由東, 大気中ニトロアレーンに関する研究の現状, 第38回大気環境学会年会, 1997, 9; 196-197

寶田聰, 日高久夫, 久松由東, 二酸化窒素共存下におけるポリ塩化ビニルの熱分解反応生成物の変異原性, 第38回大気環境学会年会, 1997, 9; pp. 430

石井聡子, 稲津晃司, 小林孝彰, 久松由東, ベンズ(a)とピレンと二酸化窒素の反応生成物の変異原性とニトロ体の生成, 第38回大気環境学会年会, 1997, 9; pp. 431

学術報告書等

後藤純雄, 渡辺征夫, 遠藤治, 町井研士, 空気中の微量発癌関連物質の人体曝露測定法および曝露要因に関する研究, 平成8年度環境保全研究成果集, 1997; 17-1~17-18

後藤純雄, 遠藤治, 杉田和俊, 望月宏明, 大気汚染物質の肺内取込量の評価に関する研究, 1996年度公害健康被害補償予防協会委託業務報告書, 1997; 285-291

内山巖雄, 後藤純雄, 重油含有物質の人体曝露量測定及びその影響評価に関する研究(主任研究者:日下幸則), 福井県受託研究報告書ならびに厚生科学研究報告書, 1997; 50-59

渡辺征夫, 後藤純雄, 田中勝, 池口孝, 大迫政浩, 松澤裕, 技術評価のためのライフサイクル微量温室効果ガス排出量の分析に関する研究, 環境庁 地球環境研究総合推進費平成8年度終了研究成果報告集(I), 1997; 280-296

渡辺征夫, 後藤純雄, 溝口次夫, 後藤康男, 王青耀, 北村必勝, 中国西南部の酸性雨原因物質の排出制御のための総合対策立案手法に関する研究, 環境庁 地球環境研究総合推進費平成8年度終了研究成果報告書(II), 1997; 35-51

田中勝, 井上雄三, 中野正博, 大迫政浩, 山田正人, 渡辺征夫, 廃棄物処理分野におけるメタン, N₂Oの発生制御対策に関する研究, 環境庁 地球環境研究総合推進費平成8年度研究成果報告書, 1997; II

渡辺征夫, 田中弘充, 相内更子, 石井忠浩, 後藤純雄, 溝口次夫, 練炭などの民生用固形燃料での燃焼排ガスの解析, 環境庁地球環境研究総合推進費終了研究報告集 [東アジアの酸性雨原因物質の制御手法の実用化に関する研究, 平成6年度~平成8年度] 1997; 41-47

田中勝, 池口孝, 井上雄三, 大迫政浩, 山田正人, 渡辺征夫, ごみ焼却施設から排出される有害物質の管理手法に関する研究, 平成8年度環境庁総合研究プロジェクト別環境保全研究成果集, 1997; I: 9-1~9-20

渡辺征夫(分担執筆), 環境庁 平成8年度環境測定分析統一精度管理調査結果(ばいじん試料, 模擬大気試料), 1997

渡辺征夫(分担執筆), 亜酸化窒素(N₂O)の低減対策に関する調査報告書(II), 地球環境産業技術研究機構, 1997

渡辺征夫(分担執筆), 地球環境産業技術開発推進事業, 研究交流可能性調査報告書, 1997

原宏, 酸性雨におけるpHとその意義, 千葉市環境講演会要旨集, 1997; pp. 1-7

原宏, 降水のpHと大気汚染の簡易指標としての意義, 大気環境汚染評価の簡易指標の調査・研究, 平成8年度千葉市環境保全大気専門委員会報告書, 1997; 13-30

Originals

Sugita K, Goto S, Endo O, Machii K, Ishii T, Matsushita H, Lewtas J. **Influence of respiratory depth on the deposition ratio of PAHs of airborne particles in the human respiratory tract.** *J. Jpn. Soc. Atmos. Environ.* 1997; 32(1): 64-67

Goto S, Sugita K, Endo O, Takagi Y, Matsushita H, Lewtas J. **Method of Determining the Inhalation Deposition of Mutagenic Components in Environmental Tobacco Smoke Aerosol.** *Jpn. J. Toxicol. Environ. Health.* 1997; 43(2): 123-128

Goto S, Mizoguchi T, Minakawa N. **Chamber Experiments for the Effects of Acidic Deposition on the Materials Commonly Found in Cultural Artifacts.** *Proc. Intern. Conf. Effects of Acid Deposit. on Cultural Properties and Materials in East Asia.* 1997; 58-65

Hatakeyama S, Murano K, Mukai H, Sakamaki F, Bandou H, Watanabe I, Yamato M, Tanaka S, Akimoto H. **SO₂ and sulfate aerosols over the seas between Japan and the Asian Continent.** *Aerosol Kenkyu*, 1997; 12: 91-95

Tokuhara M, Kido A, Fujino H, Yakushijin J, Kido K, Watanabe I, Goto S; **Study of volatile organic compounds in indoor and outdoor air (1).** *J. Environmental Chemistry.* 1997; 7: 809-819

Ishikawa Y, Hara H. **Historical Change in Precipitation pH at Kobe, Japan; 1935-1961.** *Atmospheric Environment.* 1997; 31: 2367-2369

Enya T, Suzuki H, Watanabe T, Hirayama T, Hisamatsu Y. **3-nitrobenzanthrone, a Powerful Bacterial Mutagen and Suspected Human Carcinogen Found in Diesel Exhaust and Airborne Particulates.** *Environ. Sci. Technol.* 1997; 31: 2772-2776

Suzuki H, Enya T, Hisamatsu Y. **Synthesis and Characterization of Some Nitrobenzanthrones: Suspected New Mutagens in Atmospheric Environment.** *SYNTHESIS.* 1997; 11: 1273-1276,

Inazu K, Kobayashi T, Hisamatsu Y. **Formation of 2-nitrofluoranthene in gas-solid heterogeneous photoreaction of fluoranthene supported on oxide particle in the presence of nitrogen dioxide.** *Chemosphere.* 1997; 35(3): 607-622

Reviews

Watanabe I. **Solid waste treatment and global warming.** *SUT BULLETIN.* 1997; 1997(1): 34-39

Hara H. **Acid deposition chemistry in Asia, Europe, and North America.** *Progress in Nuclear Energy.* 1997; 32: 331-338

Ayers G, Gillet R, Hara H. **Acidic Deposition in East Asia and Oceania Global Acid Deposition Assessment (ed. by D. Welpdale and M.S. Kaiser).** WMO Publication. 1997; 106: 107-134. WMO-TD No.777

Whelpdale D.M, Summers P.W, Sanfueza E, Artz R.A, Ayers G, Delmas R.J, Dovland H, Galloway J.N, Gillet R, Hara H, Lacaux J.P, Luke W, Pedersen U, Ryaboshapko A. **Global Overview of Acid Deposition.** Global Acid Deposition Assessment (ed. by D.M. Welpdale and M.S. Kaiser) WMO Publication. 1997; 106: 193-218. WMO-TD No.777

Hara H. "Handbook of Environment" (ed. Ichikawa A and Yokoyama O). Omusha, Tokyo. 1997

Proceedings with Abstracts

Sugita K, Endo O, Koyano M, Takagi Y, Kohzaki K, Goto S. **Effects of cigarette smoking on the personal exposure to mutagens in air.** 7th International Conference on Environmental Mutagens, Toulouse, France. 1997. 9; pp.S97

Takagi Y, Endo O, Goto S, Kato Y, Kaneuchi C, Kohzaki K. **Mutagenicity of dog urine extracts by the ultra-low micro suspension assay.** 7th International Conference on Environmental Mutagens, Toulouse, France. 1997. 9; pp.S108

Watanabe I, Matsuzawa Y, Osako M, Yamada M, Tanaka M; **Emission of nitrous oxide from processes of night soil treatment.** Proceedings of 7th International Workshop on Nitrous Oxide Emissions (Cologne, Germany, April 21-23). 1997; 223-230

Watanabe I, Tanaka H, Aiuchi K, Ishii T; **Emission of gaseous pollutants from the combustion of briquet at cooking stove.** Abstract of 7th Asian Chemical Congress, Hiroshima. 1997; pp.108

Hara H. **Acid Deposition in Asia, Europe, and North America.** Proceedings of the International Workshop on Unification of Monitoring Protocol of Acid Deposition and Standardization of Emission Inventory. 1997. 3

Hara H. **Acid Deposition Chemistry. Abstracts of the 7th Asian Chemical Congress (Invited Talk), Hiroshima, Japan.** 16-20 May 1997; pp.94

Hisamatsu Y, Takarada S, Hidaka H. **Mutagenicity of thermal decomposition products of poly(vinylchloride) and polycyclic aromatic hydrocarbons formation by them.** Abstracts from 7th International Conference on Environmental Mutagens, Toulouse, France. 1997. 9; pp.S58

Enya T, Suzuki H, Hisamatsu Y. **Mutagenicity and clastogenicity of nitrobenzanthrone.** Abstracts from 7th International Conference on Environmental

Mutagens, Toulouse, France. 1997. 9; pp.S110

Reports

I. Watanabe (Partly contr.) (ed.) **Japan Soc. Atmo-**

spheric Environment(Tokyo). Report on Emission Factor Results for Combustion Facilities (Commissioned by Environment Agency of Japan), 1997. 3

建築衛生学部 Department of Architectural Hygiene Engineering and Housing

原著

吉田拓正, 騒音・振動のリスク評価, 日本リスク研究会誌, 1997, 8(1), 70-74

長田泰公, 吉田拓正, 航空機騒音の住民反応調査におけるアノイヤンスのパス解析, 日本音響学会誌, 1997, 53(8), 599-604

西村(高橋)美加, 市原真希, 斎藤正文, 田辺新一, サーマルマネキンを用いた立位・座位人体各部位の放射・対流熱伝達率の測定, 日本建築学会計画系論文集, 1997, (501), 45-51

総説

池田耕一, 室内空気汚染の健康影響, 公衆衛生研究, 45(4), 1997, 391-408

池田耕一, 新しいタイプの室内空気汚染問題・シックビル症候群, 高砂熱学工業総合研究所報, (11), 1997, 3-35

松本恭治, 最近の住まいと健康をめぐる問題, 建築とまちづくり, (247)1997, 4-9.

鈴木晃, 在宅療養者の住宅改善の支援方法—看護職・福祉職の視点と技術—, トータルケアマネジメント, 1997; 1(4): 16-22

鈴木晃, 高齢化対応住宅の現実と本質—個別住宅改善から新築へのフィードバック—, 住宅と木材, 1997; 20(232): 14-27

鈴木晃, 看護職が療養環境・生活環境をつくる, ナースアイ, 1997; 10(6): 6-9

岩田利枝, 光と色—建築環境工学の立場から— 人間と生活環境, 1997; 5(3): 3-11

著書

池田耕一, 空気環境, 栃原裕編, 人工環境の健康影響と快適性, 第1章, 弘学出版, 1997, 6-16

鈴木晃, 在宅ケアにおける住宅改善支援の視点, 鈴木晃編, 保健婦・訪問看護婦のための住宅改善支援の視点と技術, 日本看護協会出版会, 東京: 1997; 3-18

鈴木晃, 「バリアフリー」とはなにか, 高齢者にやさしい住宅増改築実例集, 家の光協会, 東京: 1997; 3-7

鈴木晃, 住宅と地域福祉, 日本地域福祉学会編集, 地域福祉事典, 中央法規, 東京: 1997; 354-357

岩田利枝, 光環境, 栃原裕編著, 人工環境の健康影響と快適性, 弘学出版(株), 東京: 1997; 39-65

抄録のある学会報告

池田耕一, 大村道雄, 入江建久, 坂口雅弘, 室内型空気清浄機の性能比較(その2) ファン式とイオン式について(続), 第15回空気清浄とコンタミネーションコントロール研究大会予稿集, 1997, 177-180

池田耕一, 松村年郎, 堀雅宏, 木村洋, 集合住宅における室内空気質(その1) HCHOの測定, 第15回空気清浄とコンタミネーションコントロール研究大会予稿集, 1997, 373-376

池田耕一, 松村年郎, 堀雅宏, 木村洋, 集合住宅における室内空気質(その2) VOCの測定, 第15回空気清浄とコンタミネーションコントロール研究大会予稿集, 1997, 377-380

池田耕一, 塩津弥佳, 熊谷一清, 病院地下室におけるラドン濃度測定, 第15回空気清浄とコンタミネーションコントロール研究大会予稿集, 1997, 407-410

池田耕一, 木村洋, 集合住宅における室内空気質と改善方法, その1, 実態調査結果について, 第6回日本臨床環境医学会総会, 一般演題抄録集, 1997, 47

池田耕一, 室内空気汚染の防止対策, 第6回日本臨床環境医学会総会, シンポジウム抄録集, 1997, 24-25

池田耕一, 大村道雄, 入江建久, 室内空気清浄機による微生物汚染除去効果について, 空気調和・衛生工学会平成9年度学術講演会講演論文集, 1, 1997, 41-44

池田耕一, 飯倉一雄, 野崎淳夫, 堀雅宏, 吉澤晋, 集合住宅におけるベイクアウト効果に関する研究, 室内のHCHO, VOCに関する研究, その2, 空気調和・衛生工学会平成9年度学術講演会講演論文集, 1, 1997, 57-60

池田耕一, 野崎淳夫, 堀雅宏, 吉澤晋, 飯倉一雄, 家庭用空気清浄機におけるガス状物質の除去特性に関する研究, 室内のHCHO, VOCに関する研究, その3, 空気調和・衛生工学会平成9年度学術講演会講演論文集, 1, 1997, 61-64

池田耕一, 柏貴浩, 野崎淳夫, 堀雅宏, 松村年郎, 揮発性有機化合物及びホルムアルデヒドの測定法に関する研究, 空気調和・衛生工学会平成9年度学術講演会講演論文集, 2, 1997, 409-412

池田耕一, 高橋美加, 興水ヒカル, 栃原裕, 市川勇, 平山武久, ラジエータ型冷房システムを用いたオフィスの温熱環境, 空気調和・衛生工学会平成9年度学術講演会講演論文集, 2, 1997, 489-492

池田耕一, 入江建久, 佐藤泰仁, 小笠真一郎, 正田浩三,

建築物室内におけるアスベスト汚染に関する研究その7、一般建築物室内アスベスト濃度追跡調査、日本建築学会1997年度大会（関東）学術講演梗概集D-II、環境工学、1997、719-720

池田耕一、塩津弥佳、吉澤晋、病院地下におけるラドン濃度測定と換気量の関係に関する実測（その2）日本建築学会1997年度大会（関東）学術講演梗概集D-II、環境工学、1997、721-722

池田耕一、熊谷一清、吉澤晋、志澤耕治、伊藤英明、空調ダクトシステムより起因するMVOCの現状とダクト清掃効果に関する研究、日本建築学会1997年度大会（関東）学術講演梗概集D-II、環境工学、1997、727-728

池田耕一、松村年郎、木村洋、堀雅宏、新築及び既築集合住宅の室内空気質測定、その2）ホルムアルデヒド測定結果：日本建築学会1997年度大会（関東）学術講演梗概集D-II、環境工学、1997、753-754

池田耕一、木村洋、堀雅宏、松村年郎、新築及び既築集合住宅の室内空気質測定、その3）VOC測定結果：日本建築学会1997年度大会（関東）学術講演梗概集D-II、環境工学、1997、755-756

池田耕一、野崎淳夫、吉澤晋、堀雅宏、開放型燃焼器具による廃ガス汚染に関する研究（3）ガス器具の揮発性有機化合物発生量：日本建築学会1997年度大会（関東）学術講演梗概集D-II、環境工学、1997、775-776

池田耕一、野崎淳夫、吉澤晋、堀雅宏、飯倉一雄、ホルムアルデヒド、揮発性有機化合物による室内空気汚染に関する研究（その2）鉄骨造集合住宅におけるベイクアウト実施前後の室内空気汚染物質発生量率の変化について：日本建築学会1997年度大会（関東）学術講演梗概集D-II、環境工学、1997、781-782

池田耕一、通勤電車の車内空気性状：第21回人間・生活環境系シンポジウム報告集、1997、21-25

池田耕一、塩津弥佳、吉澤晋、病院地下環境に関する調査、その1、病院地下環境で働く人の環境に対する認識に関するアンケート調査、第21回人間・生活環境系シンポジウム報告集、1997、155-156

池田耕一、塩津弥佳、吉澤晋、病院地下環境に関する調査、その2、長期ラドン濃度測定、第21回人間・生活環境系シンポジウム報告集、1997、157-158

池田耕一、栃原裕、輿水ヒカル、加湿器導入にともなう冬季の工場労働者の愁訴変化：第21回人間・生活環境系シンポジウム報告集、1997、161-162

池田耕一、野崎淳夫、吉澤晋、飯倉一雄、入江建久、家庭用空気清浄機におけるガス状物質の除去特性に関する研究：室内環境研究会第3回研究発表会講演抄録集、1997、28-29

池田耕一、野崎淳夫、吉澤晋、堀雅宏、飯倉一雄、室内化学物質汚染防止対策としてのベイクアウトに関する研究：室内環境研究会第3回研究発表会講演抄録集、1997、50-51

池田耕一、人見敬一、大橋美佐子、酒井久美子、岡田安

雄、松村年郎、安藤正典、熊谷一清、栃木県内の住宅におけるホルムアルデヒド濃度、その1、新築住宅の場合：室内環境研究会第3回研究発表会講演抄録集、1997、34-35

池田耕一、人見敬一、大橋美佐子、酒井久美子、岡田安雄、松村年郎、安藤正典、熊谷一清、栃木県内の住宅におけるホルムアルデヒド濃度、その2、既築住宅の場合、室内環境研究会第3回研究発表会講演抄録集、1997、62-63

池田耕一、野崎淳夫、堀雅宏、松村年郎、飯倉一雄、柏貴浩、VOC、ホルムアルデヒドの測定法に関する研究、室内環境研究会第3回研究発表会講演抄録集、1997、64-65

池田耕一、市川勇、高橋美加、中温高湿でのカビ生育に対する芳香剤の影響：室内環境研究会第3回研究発表会講演抄録集、1997、84-85

松本恭治、郊外の大規模分譲集合住宅団地におけるフィルタリング構造の分析、日本マンション学会第6回大会研究報告集、1997、360-369、

松本恭治、集合住宅団地のフィルタレーションと健康：日本公衆衛生雑誌44(10)特別付録、1997、597、

江口司津、高橋尚子、松本恭治、長期経過した公的分譲集合住宅団地における居住者の高齢化と住まい方 その6 長期経過団地における住宅経済からの評価：日本建築学会大会学術講演梗概集（計画系）、1997、1127-1128、

高橋尚子、松本恭治、江口司津、長期経過した公的分譲集合住宅団地における居住者の高齢化と住まい方 その7 親族近居のプロセス、日本建築学会大会学術講演梗概集（計画系）、1997、1129-1130、

松本恭治、江口司津、高橋尚子、長期経過した公的分譲集合住宅団地における居住者の高齢化と住まい方 その8 室内のリフォームと別宅使用、日本建築学会大会学術講演梗概集（計画系）、1997

吉田拓正、長田泰公、川口毅、岸山佳治、山本和郎、道路交通騒音の住民反応に関する研究、日本音響学会秋季講演論文集、1997：699-700

吉田拓正、市街地道路における交通量と騒音レベルの関係に関する検討、日本建築学会大会学術講演梗概集(D)、1997：3-4

鈴木晃、在宅ケア対応住宅に関する地域固有の課題（新潟県B町の建築確認申請図面の調査結果より）、日本建築学会大会学術講演梗概集（F-1）、1997：931-932

豊見山京子、仲宗根美佐子、鈴木晃、平良市における住宅改善の取り組み（保健婦の役割を考える）、第19回全国地域保健婦学術研究会、山梨、1997、11：284-285

吉田優、鈴木晃、地域における居住環境改善活動の重要性、第56回日本公衆衛生学会、神奈川、1997、10：518

上住津恵、鈴木晃、在宅ケアにおける住生活問題発見と動機づけ（ホームヘルパーとの実態調査活動を通して）、第56回日本公衆衛生学会、神奈川、1997、10：578

工藤恵子、小林靖英、秋山潮子、三浦たみ子、橋本雅美、山川洋子、高橋由起子、岩本里織、篠田道代、藤田真実、鈴木晃、池田耕一、市川勇、在宅ケアから住宅計画へのアプローチ#1（雪国B町の在宅サービス利用世帯の住宅の特

徴). 第56回日本公衆衛生学会, 神奈川, 1997, 10:588

高橋由起子, 小林靖英, 秋山潮子, 三浦たみ子, 橋本雅美, 工藤恵子, 山田洋子, 岩本里織, 篠田道代, 藤田真実, 鈴木晃, 池田耕一, 市川勇. 在宅ケアから住宅計画へのアプローチ#2 (住宅改善の実態と住生活問題). 第56回日本公衆衛生学会, 神奈川, 1997, 10:589

三浦たみ子, 小林靖英, 秋山潮子, 橋本雅美, 工藤恵子, 山田洋子, 高橋由起子, 岩本里織, 篠田道代, 藤田真実, 鈴木晃, 池田耕一, 市川勇. 在宅ケアから住宅計画へのアプローチ#3 (雪国B町における最近の建築主とその住意識). 第56回日本公衆衛生学会, 神奈川, 1997, 10:590

鈴木晃, 工藤恵子, 高橋由起子, 小林靖英, 秋山潮子, 三浦たみ子, 橋本雅美, 山田洋子, 岩本里織, 篠田道代, 藤田真実, 池田耕一, 市川勇. 在宅ケアから住宅計画へのアプローチ#4 (最近の新築住宅の建築計画). 第56回日本公衆衛生学会, 神奈川, 1997, 10:591

渡邊まり, 鈴木晃. 在宅療養者の住宅改善に対する保健婦の視点(継続的支援者としての役割をととして). 第56回日本公衆衛生学会, 神奈川, 1997, 10:594

富川谷枝, 鈴木晃. チームアプローチによる住宅改善(訪問調査と住民参加による事例検討会をととして). 第56回日本公衆衛生学会, 神奈川, 1997, 10:595

学術報告書等

池田耕一, 高気密住宅の空気質の実態, 建築技術別冊, 高断熱・高気密の実践マニュアル, 1997, 47-53

池田耕一, 室内空気環境について…新しいタイプの室内空気環境問題…, 木材工業, 52 (4), 1997, 184-185

池田耕一, シックビルディングについて, 建築設備士, 29 (4), 48-52, 1997

池田耕一, シックハウス症候群, 暮らしの安全情報, 23, 1997, 1-6

池田耕一, 公衆衛生の立場からみた化学物質過敏症に対する取り組み, 工業材料, 45 (8), 1997, 119-123

池田耕一, 人に優しい建築材料, 公共建築, 39(154)1997, 54

池田耕一, 対策が急がれる室内空気汚染, 建築雑誌, 112 (1412), 1997, 22-23

池田耕一, 急増する化学物質過敏症, ニュートン, 17(12), 1997, 78-83

池田耕一, 住まいの健康・快適性と建材・設備, 建築知識, 39 (13), 1997, 158-162

池田耕一, 室内空気質に関する課題と対策の現状, 建築設備&昇降機, 1997, 20-30

池田耕一, 村上周三ほか, 換気効率小委員会平成8年度活動報告書, 社団法人空気調和衛生工学会, 換気効率小委員会報告書, 1997

池田耕一, 室内空気質に関する課題と対策の原状, 第29回建築設備技術者会議, 予稿集, 1997, 1, 1, 1-17

池田耕一, 入江建久, 大村道雄, 坂口雅弘, 長野地区生きダニ, ダニ・ネコアレルゲン調査および各種空気清浄機

の性能:平成8年度厚生省長期慢性疾患総合研究事業アレルギー総合研究報告書, 1997, 35-37

池田耕一, ウィルス, 風邪への影響, 社団法人空気調和・衛生工学会, オフィス用高温低湿空調の温熱設計用ガイドラインの策定に関する調査研究報告書, 第2章, 第4項, 1997, 2, 31-2, 35

池田耕一, 村上周三ほか, "HASS 102 換気基準・同解説"改訂原案作成終了の報告, 空気調和衛生工学, 71(5), 1997, 417-434

池田耕一, 野崎敦夫, 開放型燃焼器具による汚染発生に関する実験的研究, 公害健康被害保証予防協会委託業務報告書, 生活環境中の有害物質の実態把握と簡易測定法の開発に関する研究報告書, 1996年度版, 第III章, 1997, 60-77

池田耕一, 熊谷一清, 我国の住宅における換気量の推定に関する研究, 公害健康被害保証予防協会委託業務報告書, 生活環境中の有害物質の実態把握と簡易測定法の開発に関する研究報告書, 1996年度版, 第V章, 1997, 143-202

池田耕一, 岩田利枝, 高齢者の住環境の評価構造に関する研究・・快適性と心理的満足性・・, 平成8年度厚生省老人保健事業推進費等補助金(老人保健健康増進等事業分)事業実施報告書, 第1章, 1997, 7-56

池田耕一, 健康モデル住宅の設計と普及に関する研究, 平成8年度厚生省厚生科学研究費補助金特別研究事業実施報告書, 1997

高橋鷹志, 松本恭治, 他, 集合住宅と健康—集合住宅と健康に関する委員会報告書, 住宅都市整備公団住宅都市総合研究所, (財)ベターリビング, 1997, 1-100

鈴木晃, 工藤恵子, 高橋由起子, 小林靖英, 秋山潮子, 三浦たみ子, 橋本雅美, 山田洋子, 岩本里織, 篠田道代, 池田耕一, 市川勇. 保健・医療・福祉サイドからの住宅計画へのアプローチ (在宅ケア対応住宅に関する地域固有の課題に対して), 高齢者の居住環境と健康・福祉 (国際比較と展望), 国際長寿センター, 1997, 3:108-118

鈴木晃, 終の住み処はどこに, 週刊金曜日, 1997:184:14-15

岩田利枝, 近藤崇之, 木村建一. オフィス空間における上方視野・下方視野の輝度の頻度分布に関する統計的検討. 日本建築学会大会学術講演梗概集, 関東, 1997, 9 環境工学 I:317-318

塚見史郎, 岩田利枝, 木村建一. 昼光を含む視環境の評価システムに関する評価研究, その3. 昼光によるグレア感の室内分布に関する検討. 日本建築学会大会学術講演梗概集, 関東, 1997, 9 環境工学 I:341-342

戸倉三和子, 岩田利枝. 大光源のグレア評価における光源の形と位置の影響に関する実験研究. 日本建築学会大会学術講演梗概集, 関東, 1997, 9 環境工学 I:343-344

望月悦子, 岩田利枝, 塚見史郎, 木村建一. 大きい光源による高齢者の不快のグレアに関する実験研究. 日本建築学会大会学術講演梗概集, 関東, 1997, 9 環境工学 I:345-346

川口由美, 岩田利枝, 北原知治, 張娥寧, 木村建一. 順

応過渡状態における明るさ感に関する研究, その1. ステップチェンジにおける明るさ感. 日本建築学会大会学術講演梗概集. 関東. 1997. 9 環境工学 I ; 351-352

北原知治, 岩田利枝, 張娥寧, 木村建一. 順応過渡状態における明るさ感に関する研究, その2. 相当順応照度の算出とランプチェンジにおける明るさ感. 日本建築学会大会学術講演梗概集. 関東. 1997. 9 環境工学 I ; 353-354

吉村恭子, 三宅大朗, 坂本滋, 岩田利枝, 木村建一. 側窓教室における光環境の質的評価に基づく併用照明に関する研究, その1. 直射光を除いた場合のバランス, 明るさ感, 違和感の評価. 日本建築学会大会学術講演梗概集. 関東. 1997. 9 環境工学 I ; 373-374

三宅大朗, 岩田利枝, 吉村恭子, 坂本滋, 木村建一. 側窓教室における光環境の質的評価に基づく併用照明に関する研究, その2. 部分明るさ感バランスの検討と直射光利用時のエネルギー評価. 日本建築学会大会学術講演梗概集. 関東. 1997. 9 環境工学 I ; 375-376

岩田利枝, 塚見史郎, 木村建一. 大光源の不快グレア評価式 PGSV の適用範囲の検討. 照明学会全国大会講演論文集 1997. 4 ; 213

北原知治, 岩田利枝, 張娥寧, 木村建一. 順応を考慮した明るさ感評価指標に関する検討. 1997. 4. 照明学会全国大会講演論文集, pp.206-207

近藤崇之, 岩田利枝, 木村建一. CCD カメラによるオフィス空間内の輝度の測定と輝度の頻度分布に関する考察. 照明学会全国大会講演論文集 1997. 4 ; 125

坂本滋, 岩田利枝, 吉村恭子, 三宅大朗, 木村建一. 併用照明におけるバランスの個人差に関する検討. 照明学会全国大会講演論文集 1997. 4 ; 128-129

高橋美加, 田辺新一, 長谷部ヤエ. サーマルマネキン各部位の裸体時表面熱抵抗に与える椅子の影響. 繊維学会第11回感覚と計測に関するシンポジウム S168 (1997)

高橋美加, 輿水ヒカル, 柄原裕. 冷房時の室内外の温度差と滞在時間が人体生理心理反応に及ぼす影響その1. 二室間移動に伴う生理心理反応. 日本建築学会大会学術講演会梗概集, 391-392 (1997)

輿水ヒカル, 高橋美加, 柄原裕. 冷房時の室内外の温度差と滞在時間が人体生理心理反応に及ぼす影響その2. 二室間移動の自律神経系への影響. 日本建築学会大会学術講演会梗概集, 393-394 (1997)

高橋美加, 輿水ヒカル, 永井由美子, 大西晶子, 片岡佳子, 関美加子, 柄原裕. 高気密高断熱住宅の冬期の温熱環境と高齢者の生理心理反応 その1. 温熱環境について, 第21回人間-生活環境系シンポジウム, 131-134 (1997)

輿水ヒカル, 高橋美加, 永井由美子, 大西晶子, 片岡佳子, 関美加子, 柄原裕. 高気密高断熱住宅の冬期の温熱環境と高齢者の生理心理反応 その2. 生理心理反応について, 第21回人間-生活環境系シンポジウム, 135-138 (1997)

市川勇, 池田耕一, 高橋美加. 中温高湿でのカビ生育に対する芳香剤の影響. 室内環境研究会第3回研究発表会講演抄録集, 84-85 (1997)

Originals

Yoshida T., Osada Y., Kawaguchi T., Hoshiyama Y., Yoshida K., Yamamoto K. **Effects of road traffic noise on inhabitants of Tokyo.** *Sound Vib.* 1997; 205(4); 517-522

Osada Y., Yoshida T., Yoshida K., Kawaguchi T., Hoshiyama Y., Yamamoto K. **Path analysis of the community response to road traffic noise.** *Sound Vib.* 1997, 205(4), 493-498

Iwata, T., Tokura, R., Position Index for a glare source Located below the line of vision. *CIBSE Lighting Research & Technology* 29(3) 1997:

Takahashi, M., Ichihara, M., Saito, M. and Tanabe, S., Measurement of Convective and Radiative Heat Transfer Coefficients of Standing and Sitting Human Body by Using a Thermal Manikin, *Journal of Architecture, Planning Engineering, Transaction of Architectural Institute of Japan*, 1997, (501), 45-51

Takahashi, M., Tanabe, S. and Hasebe, Y., Effects of Skin Surface Temperature Distribution of Thermal Manikin on Clothing Thermal Insulation, *Applied Human Science, Journal of Physiological Anthropology*, 1997, 16(5), 181-189

Proceedings with Abstracts

Ikeda, K., Shiotsu, M., Yoshizawa, S. and Iida, T., **On the Long Term indoor Radon Concentration Measurements in the Basement of Japanese Hospitals,** : Preprints for the Symposium on Radon and Thoron in the Human Environment, p. D-5, 1997

Ikeda, K., Shiotsu, M., Yoshizawa, S. and Kumagai, K., **On the Long Term indoor Radon Concentration Measurements in the Basement of Japanese Hospitals:** Proc. for Healthy Buildings/IAQ97, 1, 1997, 369-374

Ikeda, K., Kumagai, K., Yoshiuawa, S. and Shizawa, K., **The Effects of Air Duct Cleaning on TVOC and Fungi,** : Proc. for Healthy Buildings/IAQ97, 1, 1997, 611-616

Ikeda, k., Nouaki, A Yoshiuawa, S. Hori, M. and Matsyshita, H. **Emission Characteristics of Volatile Organic Compounds from Domestic Flue-less Combustion Heaters:** Proc for Healthy Buildings/IAQ97, 3, 1997, 63-66

Ikeda, K., Kimura, H., Matsumura, T. and Hori, M., **Indoor Air Quality Measurements Japanese Apartment Houses, Part I, Formaldehyde Concentration**

Measurements, : Proc. for Healthy Buildings/IAQ97, 3, 1997, 75-80

Ikedo, K., Kimura, H., Matsumura, T. and Hori, M. **Indoor Air Quality Measurements Japanese Apartment Houses, Part I, VOC**: Proc. for Healthy Buildings/IAQ97, 3, 1997. 75-80

Akira Suzuki, **A study on housing projects from the health and welfare points of view**: Problems peculiar to a local town regarding adaptable housing. International conference Living Environment, Health and Well-Being for the Elderly. International Longevity Center (Japan), Izu, March 1977: 2-10

Iwata, T., Miyake, T. Sakamoto, S., Yoshimura, K., Kimura, K.: **Experimental study on the integrated lighting system with daylight and artificial light based on the subjective response and energy saving, Right Light 4**. Copenhagen. 1997. 11: vol.2. 139-126

Iwata, T., Kondo, T., Tsukami, S. Kimura, K. **Study on the evaluation system of visual environment, including daylight**. Right Light 4. Copenhagen. 1997. 11: vol.2. 255-259

Iwata, T. Joung, A. Hatanaka, A. Kimura, K. **Study**

on perceived brightness based on adaptation illuminance Part 1. Proposal of brightness sensation chart based on preadaptation level. Lux Pacifica (Nagoya). 1997. 10; A67-A72

Iwata, T., Joung, A. Kitahara, T. Kawaguchi, Y. Kimura, K. **Study on perceived brightness based on adaptation illuminance Part 2**. Change in adaptation level due to change in illuminance level and lapse of time. Lux Pacifica (Nagoya), 1997. 11; A73-A78

Tokura, M, Iwata, T. **Effects of position and shape of a large light source on discomfort glare**. Lux Pacifica (Nagoya). 1997. 11; A89-A94

Mochizuki, E, Iwata, T., Tsukami, S., Kimura, K.: **The comparison of glare sensation between young and old subjects, Lux pacifica (Nagoya)**. 1997. 11; A83-A88

Iwata, T., Kashiwa, P., Kimura, K. **Pilot study on the features of evaluation of living spaces judged by the elderly**. Healthy Buildings '97 (Washington) 1997. 9; vol. 3. 45-50

Mochizuki, E., Iwata, T., Tsukami, S. Kimura, K. **Discomfort glare evaluated by Japanese older people**. Healthy Buildings '97 (Washington). 1997. 9; vol.2. 35-40

水道工学部

Department of Water Supply Engineering

原 著

国包章一. 膜ろ過高度浄水施設導入ガイドライン案. 水道公論. 1997; 33(6): 35-37

大倉敏裕, 武智拓郎, 森喜一, 井上博雄, 相沢貴子, 真柄泰基. 水中に残留する化学物質の分析法に関する研究—Frit/FAB-LC/MS法による農薬分析について. 水環境学会誌. 1997; 20(5): 324-331

榎信昭, 伊藤雅喜, 真柄泰基. 兵庫県南部地震時の浄水施設の被害と原因の考察. 水道協会雑誌. 1997; 66巻, 1号: 35-53

浅見真理, 橋本暢之, 相沢貴子, 真柄泰基. 上水中の臭素酸イオンの分析方法に関する検討. 水道協会雑誌. 1997; 66(4): 34-42

学術誌に発表した総説

相沢貴子. 水の味覚. 科学技術ジャーナル. 1997; 16(6): 16-17

相沢貴子. 水中の有機物の実態と動態および環境への影響. 土, 水研究会. 1997; 14(3): 1-11

著 書

真柄泰基(監修), 相沢貴子, 浅見真理他(水道水質問題研究会)編著. 水道の水質調査法. 技報堂出版社. 東京: 1997

茅陽一(監修), 国包章一(分担執筆) 環境年表'98/'99.

オーム社. 東京. 1997

水文・水資源学会(編集) 国包章一(分担執筆) 水文・水資源ハンドブック. 朝倉書店. 東京. 1997

土木学会編(分担執筆). 阪神・淡路大震災調査報告書 第9巻 ライフライン施設の被害と復旧 第2章 水道: 土木学会. 平成9年

抄録のある学会報告

西澤常彦, 若松亨二, 国包章一. 危機管理のための参加型データベースの活用について. 第4回水道管路国際シンポジウム講演集. 1997. 11: 123-131

国包章一. 湖沼/ダム湖生態系の持続的保全・修復・創生手法の確立. 環境科学会1997年年会講演要旨集. 北九州. 1997. 10: 425

相沢貴子, 胡建英, 森田健志, 真柄泰基. **LopPow** を指標としたポリマー系/活性炭固相処理法の適用範囲. 第31回水環境学会年会講演集. 北海道. 1997. 3: 328

胡建英, 相沢貴子, 大久保豊, 真柄泰基. **APCI-LC/MS** 法による環境水中における熱分解性・極性農薬の分析. 第31回水環境学会年会講演集. 北海道. 1997. 3: 327

藤波洋征, 相沢貴子, 原淳彦, 大月邦夫. 河川底泥中における殺虫剤フェニトロチオンの動態. 第31回水環境学会年会講演集. 北海道. 1997. 3: 186

齊藤 健, 五味謙之, 国包章一, 菅原 繁. **Microcystis** の凝集特性とその電荷量による評価. 全国水道研究発表会.

神戸, 1997, 6; 64-65

大久保豊, 森田健志, 胡建英, 相沢貴子, 真柄泰基. オクタノール-水分配係数(LogDow)を用いた水中解離性物質の粉末活性炭への吸着性評価. 全国水道研究発表会. 神戸, 1997, 6; 124-125

伊藤雅喜, 住友恒. 異臭味被害と処理方法の現状および今後の対策における課題—生物起因の異臭味水対策に関する研究会報告(1)—: 1997, 6, 第48回全国水道研究発表会講演集: 562~563

松原秀吉, 安楽幸一, 国包章一, 伊藤雅喜. ナノろ過法による河川水の高度浄水処理(A)—高度処理 MAC21合同実験—: 1997, 6, 第48回全国水道研究発表会講演集: 230~231

伊藤義一, 西尾弘信, 国包章一, 伊藤雅喜. ナノろ過法による河川水の高度浄水処理(B)—高度処理 MAC21合同実験 B 系列—: 1997, 6, 第48回全国水道研究発表会講演集: 232~233

鬼塚卓也, 品田司, 国包章一, 伊藤雅喜. ナノろ過法による河川水の高度浄水処理(C)—高度処理 MAC21合同実験—: 1997, 6, 第48回全国水道研究発表会講演集: 234~235

森山茂樹, 伊藤雅喜, 真柄泰基, 沖本祐二. NF膜の除去性評価の基礎的研究(I)—溶質濃度と阻止率, 透過流束—: 1997, 6, 第48回全国水道研究発表会講演集: 236~237

田中芳寛, 伊藤雅喜, 真柄泰基, 小川幹治. NF膜の除去性評価の基礎的研究(II)—溶質濃度と阻止率, 透過流束—: 1997, 6, 第48回全国水道研究発表会講演集: 238~239

村田周和, 廣川浩之, 横山繁樹, 奥野裕, 国包章一, 伊藤雅喜. 膜ろ過法による排水処理(I): 1997, 6, 第48回全国水道研究発表会講演集: 268~269

横山繁樹, 塩山昌彦, 廣川浩之, 奥野裕, 国包章一, 伊藤雅喜. 膜ろ過法による排水処理(II): 1997, 6, 第48回全国水道研究発表会講演集: 270~271

大西真人, 奥野裕, 廣川浩之, 横山繁樹, 国包章一, 伊藤雅喜. 膜ろ過法による排水処理(III): 1997, 6, 第48回全国水道研究発表会講演集: 272~273

竹田静雄, 赤澤寛, 国包章一. 全国水道水の FI 値調査: 1997, 6, 第48回全国水道研究発表会講演集: 588~589

末広章一, 中谷健治, 国包章一, 伊藤雅喜. ナノろ過膜法の前処理への適用を目的とした凝集沈澱・砂ろ過処理: 1997, 6, 第48回全国水道研究発表会講演集: 250~251

国包章一, 伊藤雅喜, 真柄泰基. ナノろ過法を用いた高度浄水処理における高回収率運転の可能性. 化学工学会第30回秋季大会. 福岡, 1997

田中芳寛, 伊藤雅喜, 真柄泰基. ナノろ過膜による農薬の除去特性: 1997, 9, 第52回土木学会年次学術講演会講演概要集: 350~351

伊藤雅喜, 真柄泰基, 国包章一. バッチ実験によるナノろ過高度浄水処理の検討: 1997, 11, 第5回衛生工学シンポジウム論文集: 246~251

浅見真理, 相沢貴子, 真柄泰基. 公共用水域に排出され

る臭化物イオンが水道水質に及ぼす影響. 第31回水環境学会年会講演集. 北海道, 1997, 3; 193

浅見真理, 橋本暢之, 西嶋涉, 金干侑, 本山信行, 相沢貴子, 真柄泰基. GAC/BACによる臭素酸イオンの除去機構. 全国水道研究発表会. 神戸, 1997, 6; 138-139

橋本暢之, 浅見真理, 森岡崇行, 相沢貴子, 真柄泰基. りん酸・炭酸・アンモニア共存下のオゾン処理による臭素酸イオン生成. 全国水道研究発表会. 神戸, 1997, 6; 136-137

大内楨, 浅見真理, 相沢貴子, 真柄泰基. Microtox法を用いた水質評価に関する検討. 全国水道研究発表会. 神戸, 1997, 6; 540-541

野嶋義教, 澤田恵枝, 相沢貴子, 浅見真理, 真柄泰基. 水道原水のヒ素汚染の実態. ヒ素シンポジウム. 大阪, 1997, 11

澤田恵枝, 野嶋義教, 相沢貴子, 浅見真理, 真柄泰基, 井上嘉則, 酒井徹志. LC-ICP/MSを用いた水道水中のヒ素の形態別分離定量分析法. ヒ素シンポジウム. 大阪, 1997, 11

酒井徹志, 伊達由紀子, 井上嘉則, 澤田恵枝, 野嶋義教, 相沢貴子, 浅見真理. LC-ICP/MSによる環境中のひ素化合物の形態別測定. 分析化学会. 東京, 1997, 11

比嘉悟, 相沢貴子, 浅見真理. 水道における光触媒処理の利用—その1光触媒の副生成物. 光触媒シンポジウム. 東京, 1997, 12; 58-59

学術報告書等

真柄泰基, 国包章一, 伊藤雅喜他. 藻類増殖制御の面から見た公共用水域の水質管理技術の向上に関する研究(主任研究者: 真柄泰基) 平成8年度環境庁環境保全研究成果集: 1997

真柄泰基, 相沢貴子, 浅見真理他. 水道水源水域及び利水過程における親水性利水障害物質の適正管理に関する研究(主任研究者: 中村文雄) 平成8年度環境庁環境保全研究成果集: 1997

真柄泰基, 相沢貴子, 浅見真理他. 平成8年度オゾン処理副生成物に関する研究報告書. オゾン処理副生成物に関する研究委員会(主任研究者: 真柄泰基) 日本水道協会: 1997

真柄泰基, 相沢貴子, 浅見真理他. 平成8年度水道における代替消毒剤の評価に関する研究報告書. 塩素代替消毒剤の導入に関する委員会(委員長: 真柄泰基) 日本水道協会: 1997

真柄泰基, 国包章一, 相沢貴子, 浅見真理他. 平成8年度清浄で安心な生活環境の創造: 環境低負荷型浄化技術の開発と応用. 科学技術庁科学技術振興調整費による生活社会基盤研究班: 1997

真柄泰基, 相沢貴子, 浅見真理他. 平成8年度有害金属の形態別分析技術の開発と地下水の汚染機構解明に関する研究報告書. ヒ素処理技術委員会(処理技術研究班長: 真柄泰基): 1997

真柄泰基, 相沢貴子, 浅見真理他. 平成8年度浄水操作

によって生ずる有害物質の抑制に関する調査報告, THM 対策技術委員会 (委員長: 真柄泰基), 水環境学会: 1997

真柄泰基, 相沢貴子他, 平成 8 年度有害金属の形態別分析技術の開発と地下水の汚染機構解明に関する研究, 平成 8 年度環境庁環境保全研究成果集: 1997, 98-1-98-13

国包章一, 湖沼/ダム湖生態系の持続的保全・修復・創生手法の確立, 文部省科学研究費重点領域研究「人間地球系」総括班平成 8 年度研究成果報告, 1997, 3: 129-130

相沢貴子他, 平成 8 年度未規制受水槽等に係わる衛生確保対策検討調査報告書 (委員長: 紀谷文紀) 日本環境衛生センター: 1997

真柄泰基, 相沢貴子, 浅見真理他, 水道水源水域及び利水過程における親水性利水障害物質の適正管理に関する研究 (主任研究者: 中村文雄), 水道水源水域及び利水過程における親水性利水障害物質の適正管理に関する研究委員会: 1997

相沢貴子他, 平成 8 年度突発水質汚染の監視対策に関する研究報告書 (委員長: 安藤正典) 日本水道協会: 1997

真柄泰基, 相沢貴子, 国包章一他, 水道水の白濁および発泡の指標に関する研究報告書 (委員長: 真柄泰基) 厚生省: 1997

視聴覚資料やデジタル媒体等による研究成果

国包章一, <高度処理 MAC21> 研究成果総括, 第 1 回浄水技術セミナーテキスト, 1997, 9: 199-206

国包章一, 伊藤雅喜, 真柄泰基, 河川流域における水の高度利用とそれに伴う利水上の問題点—福岡県約川流域の事例—, 第 5 回水資源に関するシンポジウム 1997: 17-24

国包章一, 平成 8 年度環境庁委託持続可能な開発支援基盤整備事業, 水環境保全技術移転テキスト, (社) 海外環境協力センター, 1997: 180-190

相沢貴子, 柿本修三, 箱嶋次雄, 振井重宏, 水を活かす—限りある資源の有効利用, 水と国土, 1997, (7): 10-21

Originals

Hu J-Y, Aizawa T, Magara Y. **Evaluation of Adsorbability of Pesticides in Water of Powdered Activated Carbon Using Octanol-water Partition Coefficient.** *Wat. Sci. Tech.* 1997; 38(7): 219-220

Books

Japan Society of Civil Engineers (JSCE) Ed. Report on the Hanshin-Awaji Earthquake Disaster Vol.9 Damage and restoration of lifelines systems. Section 2 Water Supply Systems. Japan Society of Civil Engineers (JSCE). 1997

Proceedings with Abstracts

Kunikane S, Itoh M, Magara Y, **Advanced Membrane Technology for Application to Water Treatment.** 1997, 7, IWSA World Congress 1997; SS1-1-6

Magara Y, Kunikane S, Itoh M, **Advanced Membrane Technology for Application to Water Treatment.** 1997, 7, IAWQ/IWSA Joint Specialist Group on Particle Separation Workshop

Aizawa T, Magara Y, Hu J-Y, Kume T, Asami M, Takagi H. **Chlorination By-products of Pesticides and their Health Risk Assessment.** IWSA Special conference. Barcelona. 1997. 10

Asami M, Aizawa T, Morioka T, Hashimoto N, Nishijima W, Tabata A, Magara Y. Bromate formation and BAC removal in drinking water treatment process, 6th Korea-Japan Symposium on Water Environment, Pusan, Korea, 1997. 10

Asami M, Aizawa T, Morioka T, Hashimoto N, Nishijima W, Tabata A, Magara Y. **Occurrence and BAC removal of bromate ions in drinking water treatment process.** 13th Ozone World Congress. Kyoto. 1997. 10; 115-120

廃棄物工学部

Department of Waste Management Engineering

原著

鳥貝真, 欧陽通, 岩島清, 大迫政浩, 田中勝, 誘導結合プラズマ発光分析法による都市ごみ焼却飛灰中のひ素, アンチモン, クロム, カドミウム, ニッケル及び鉛の迅速定量のためのマイクロ波加熱分解法の検討, 分析化学, 1997, 5; Vol. 46, No. 5: 401-405

坂井るり子, 大迫政浩, 吉田幸弘, 芳賀直樹, 岩島清, 田中勝, 酵素免疫測定法によるダイオキシン類のスクリーニングに関する研究, 廃棄物学会論文誌, 1997, 7; Vol. 8, No. 7: 9-17

西村和之, 河村清史, 真柄泰基, 限外ろ過を用いた活性

汚泥プロセスにおける溶解性有機物質の挙動, 水環境学会誌, 1997; 20(12): 41-48

総説

田中勝, 廃棄物処理における健康リスク—ダイオキシン削減対策に向けて—, 公衆衛生研究, 1996, 12; Vol. 45, No. 4: 378-387

田中勝, 地球を救うリサイクル—廃棄物処理と課題—, 工業技術 (東洋大学工業技術研究所報告), 1997, 2; No. 19: 15-17

田中勝, ごみ処理と健康—ダイオキシン削減対策について—, 都市清掃, 1997, 4;

Vol. 50, No. 217 : 172-181

田中勝. 都市ごみ焼却に係わるダイオキシンの安全性評価. 衛生化学. 1997, 4; Vol. 43, No. 4 : 203-208

田中勝. 都市ごみ焼却に伴って発生するダイオキシンとその対策. 都市清掃. 1997, 6; Vol. 50, No. 218 : 230-236

田中勝. 産業廃棄物焼却施設から排出されるダイオキシンとその対策. いんだすと. 1997, 11; Vol. 12, No. 11 : 2-6

田中勝. 医療廃棄物問題とダイオキシン問題. 医療廃棄物研究. 1997, 12; Vol. 10, No. 1 : 5-11

田中勝. 廃棄物焼却施設に係わるダイオキシン問題と自治体の対応. 辰. 1997, 12; Vol. 16, No. 12 : 14-15

田中勝, 池口孝. 産業廃棄物の処理の現状と問題点. 公衆衛生研究. 1997; 46(4) : 302-309

川西敏雄, 堀井安雄, 有元健太郎, 田中勝. 最終処分場埋立浸出水中のダイオキシンの処理. 都市清掃. 1997, 6; Vol. 50, No. 218 : 272-275

河村清史, 海野肇, 邢新会, 竹内準一, 土佐光司, 梨田実, 古米弘明. 水処理における健康関連微生物の除去と不活化. 水環境学会誌. 1997; 20(3) : 12-16

河村清史, 国安克彦, 竹田茂, 中島淳, 山本康次. 大型合併処理浄化槽の現状と今後の課題. 月刊浄化槽. 1997; 259 : 13-45

伊藤恵治, 森山雄嗣, 森田昭, 河村清史. 有機性廃棄物のメタン発酵技術. 生活と環境. 1997; 42(7) : 31-38

池口孝. 廃棄物分野の国際協力. 環境と測定技術. 1997; 24(2) : 43-64

池口孝. 廃棄物の埋立処分に係わる地下水汚染問題とその対応. 地下水学会誌. 1997; 39(3) : 187-199

池口孝, 荒木宏之, 河村清史, 真柄泰基. 持続可能な国際協力の試み(前編)ーチェンマイ大学環境工学科との研究協力プロジェクトの例一. 環境技術. 1997; 26(11) : 85-88

池口孝, 荒木宏之, 河村清史, 真柄泰基. 持続可能な国際協力の試み(後編)ーチェンマイ大学環境工学科との研究協力プロジェクトの例一. 環境技術. 1997; 26(12) : 57-70

大迫政浩, 加藤みづほ. 有機性廃棄物処理過程における発生臭気特性と対策. 環境技術. 1997; 26(2) : 116-120

大迫政浩, 重岡久美子. 臭気対策の側面からみた環境監査とLCA. 臭気の研究. 1997; 28(4) : 267-275

大迫政浩. 有機性廃棄物処理における脱臭ニーズの拡大. 臭気の研究. 1997; 28(5) : 342-351

大迫政浩. 海外における有害廃棄物の管理体系. 環境と測定技術. 1997; 24(3) : 51-61

大迫政浩, 田所正晴, 塚田敏之, 和田桂子, 水本正浩, 飯泉太郎, 中村寛治, 坂井るり子, 岩島清. 廃棄物埋立処分場における有害性モニタリングへの生物学的アプローチ. 用水と廃水. 1997; 39(9) : 805-819

鳥貝真, 欧陽通, 馬場和彦, 岩島清, 大迫政浩, 田中勝,

マイクロ波加熱分解/ICP発光分析法による都市ごみ焼却飛灰中の多元素迅速定量. 環境と測定技術. 1997, 2; Vol. 24, No. 2 : 25-28

王寧, 欧陽通, 岩島清, 大迫政浩. 廃棄物試料中の有機無機物質の溶出ポテンシャル評価手法. 用水と廃水. 1997; 39(7) : 571-579

堀井安雄, 川西敏雄, 大迫政浩, 田中勝. 廃棄物埋立処分場浸出水中のダイオキシン類の処理とモニタリング. 用水と廃水. 1997; 39(12) : 1089-1096

重岡久美子, 大迫政浩. 排水中溶存臭気物質濃度の測定法に関する一考察ーヘッドスペース法におけるSS混入の影響一. 環境と測定技術. 1997; 24(2) : 13-18

著書

河村清史(編集委員長). し尿処理施設の改良・改造技術に関する手引書. (財)日本環境衛生センター, 川崎: 1997

抄録のある学会報告

田中勝, 大迫政浩, 河村清史, 松井康弘, 山田正人, 藤井崇, 安岡孝司, 杉山涼子, 栗原和夫. 都市ごみ処理システム選定のためのLCAの活用. 第8回廃棄物学会研究発表会講演論文集. 1997, 10 : 128-131

鈴木正人, 瀬尾有一, 田中信寿, 田中勝, 大迫政浩. キャピラリーバリアを利用した降雨浸透抑制型処分場の開発(その2). 第8回廃棄物学会研究発表会講演論文集. 1997, 10 : 840-842

党正治, 木原徹太郎, 加藤大典, 田中勝, 河村清史. し尿処理施設に適用する各種平膜の性能評価. 第18回全国都市清掃研究発表会講演論文集. 1997, 1 : 285-287

河村清史, 大塚江理, 駒形恭美. 合併処理浄化槽処理水中汚濁物質の塩素との反応性. 第31回日本水環境学会年会講演集. 1997; 138

櫻田栄一, 河村清史, 藤原健史, 宗近誠治, 宮之原守利. 廃棄物処理に伴う除去物質の資源化・再生利用技術について(II). 第18回全国都市清掃研究発表会講演論文集. 1997; 116-118

足立伸一, 山本康次, 河村清史. 汚泥の膜分離における粘性物質の影響. 第31回日本水環境学会年会講演集. 1997; 43

金台東, 河村清史, 石澤絵美, 小林勝彦. 膜分離活性汚泥法における蓄積性有機物質の挙動と特性. 第31回日本水環境学会年会講演集. 1997; 242

井上雄三, 大迫政浩, 山田正人, 田中勝. 廃棄物ライフサイクルにおけるバイオアッセイの応用. 第31回日本水環境学会年会講演集. シンポジウム①水環境の安全性評価のためのバイオアッセイの役割. 1997, 3 : 392

井上雄三, 山田正人, 大迫政浩, 河村清史, 田中勝. 廃棄物ライフサイクルにおける有害物質のサブスタンスフローアナリシス. 第5回北海道大学衛生工学会衛生工学シンポジウム1997, 11 : 101-106

今岡務, 波多野啓史, 井上雄三, 岡田光正. オゾン酸化

処理による浄化槽汚泥の可溶化. 第31回日本水環境学会年
会講演集, 1997, 3; 430

岡田光正, 今岡務, 波多野啓史, 家藤治之, 井上雄三.
浄化槽汚泥の資源化のためのオゾン酸化と酵母培養. 第8
回廃棄物学会研究発表会講演論文集, 1997, 10; 243-245

今岡務, 波多野啓史, 家藤治之, 井上雄三, 岡田光正.
オゾン酸化処理用を用いた生物処理汚泥の資源化. 土木学
会第52回年次学術講演会講演概要集, 1997, 9; 508-509

大迫政浩, 重岡久美子. ライフサイクルアセスメントに
おける臭気のインパクト評価. 38回大気環境学会年次講演
要旨集, つくば, 1997, 9; 493

伊藤智雄, 大迫政浩, 田中勝. 酵素免疫測定法による汚
染土壤中多環芳香族類の簡易分析. 第8回廃棄物学会研究
発表会講演論文集, 1997, 10; 963-966

松井康弘, 大迫政浩, 田中勝, 畑栄一, 柿崎賢志, 藤波
博. ごみ別収集に対する市民参加の実態. 第18回全国都市
清掃研究発表会講演論文集, 1997, 1; 16-18

松井康弘, 大迫政浩, 田中勝, 畑栄一, 柿崎賢志, 藤波
博. ごみ分別収集に対する市民参加とその意識構造. 第18
回全国都市清掃研究発表会講演論文集, 1997, 1; 19-21

欧陽通, 王寧, 鳥貝真, 尹順子, 岩島清, 大迫政浩, 田
中勝. 都市ごみ焼却飛灰中の有害金属元素等の溶出ポテン
シャルの評価について. 第18回全国都市清掃研究発表会講
演論文集, 1997, 1; 38-40

杉山涼子, 大迫政浩, 栗原和夫, 山田正人, 田中勝. 廃
自動車からのシュレッターダストの処理方法に関する
LCAを用いた環境負荷評価. 第18回全国都市清掃研究発表
会講演論文集, 1997, 1; 322-324

仁木圭三, 小川浩, 国安克彦, 大森英昭, 大迫政浩. 合
併処理浄化槽用各種脱臭装置におけるSV(空間速度)の脱
臭機能への影響. 第18回全国都市清掃研究発表会講演論
文集, 東京, 1997, 1; 288-290

岡部洋, 仁木圭三, 久川和彦, 大森英昭, 大迫政浩. し
尿処理施設における脱臭装置の処理機能と運転管理. 第10
回臭気学会講演要旨集, 東京, 1997, 6; 7-8

加藤みづほ, 越田亮三, 大迫政浩, 河村清史, 井上雄三,
田中勝. 有機性廃棄物のバイオ処理におけるアンモニアの
発生挙動に関する検討. 第10回臭気学会講演要旨集, 東京,
1997, 6; 23-24

加藤みづほ, 越田亮三, 大迫政浩, 河村清史, 井上雄三,
田中勝. 有機性廃棄物の臭気抑制型バイオ処理システムの
開発. 第10回臭気学会講演要旨集, 東京, 1997, 6; 49-50

重岡久美子, 大迫政浩. 厨芥ごみのライフサイクルアセ
スメントにおける臭気発生負荷について. 第10回臭気学会
講演要旨集, 東京, 1997, 6; 25-26

樋口隆哉, 光田恵, 大迫政浩. 一般住民の臭気認容性に
対する影響因子の把握. 第10回臭気学会, 東京, 1997, 6;
31-32

光田恵, 磯田憲生, 大迫政浩. 住環境における快適性因
子としてのにおい事象について(第7報). 第10回臭気学会
講演要旨集, 東京, 1997, 6; 25-26

山田正人, 井上雄三, 木苗直秀, 小野芳朗, 吉野秀吉,
市川勇, 田中勝. 廃棄物ライフサイクルにおける有害物質
のリスク評価手法の開発(1). 日本環境変異原学会第26回
大会プログラム・要旨集, 1997; 114

山田正人, 井上雄三, 木苗直秀, 小野芳朗, 吉野秀吉,
市川勇, 田中勝. 廃棄物処理分野におけるバイオアッセイ
手法の適用について. 第5回衛生工学シンポジウム論文集,
1997; 76-81

寺島千晶, 吉野正浩, 古川昇, 渡辺征夫, 山田正人, 田
中勝. HPLC-電気化学検出器を用いた都市ごみ焼却施設
排ガス・ドレン水中のクロロフェノール類の測定. 第8回
廃棄物学会研究発表会講演論文集, 1997, 10; 549-551

渡辺征夫, 山田正人, 田中勝, 竹沢一郎, 河合美紀, 三
好清香, 古川登. 都市ごみ焼却施設から排出される低級ハ
ロゲン化炭化水素類の自動連続測定. 第8回廃棄物学会研
究発表会講演論文集, 1997, 10; 552-554

学術報告書等

田中勝, 池口孝, 井上雄三, 大迫政浩, 山田正人, 渡辺
征夫. ごみ焼却施設から排出される有害物質の管理手法に
関する研究(研究代表者: 田中 勝)平成8年度環境保全成
果集(環境庁); 1997; 9-1~9-20

田中勝(監修). 廃棄物処理コース特別調査研究レポート.
1~7回, いんだすと, 1997; Vol. 12, No. 3~Vol. 12,
No. 10

田中勝, 井上雄三, 大迫政浩. 最終処分場のリスク管理
のための監視及び修復技術の総合化に関する研究. 総合研
究プロジェクト別環境保全研究成果集(廃棄物の処理と資
源化技術に関する総合研究), 1997; 10-1~10-26

田中勝, 井上雄三, 大迫政浩, 山田正人, 渡辺征夫. 地
球温暖化抑制のためのCH₄, N₂Oの対策技術開発と評価に
関する研究, (7)廃棄物処理分野におけるメタン・亜酸化窒
素の発生抑制対策に関する研究. 地球環境研究総合推進費
平成8年度研究成果報告集, 1997; 321-325

田中勝, 河村清史, 井上雄三, 金台東. 液状廃棄物のエコ
処理システムの開発. 平成8年度ヒューマンサイエンス
基礎研究事業官民共同プロジェクト研究報告第4分野.
1997; 148-157

田中勝(分担執筆). ごみ等の衛生的な保管・処理方法に
ついて. 平成8年度快適な暮らしのスタイル開発促進事業
報告書・災害時の衛生的生活確保ガイドライン, 1997, 3;
37-48

田中勝, 河村清史他. 浄化槽汚泥対応型適正処理システ
ムの開発. 液状廃棄物のエコ処理システムの開発に関する
研究要旨書(平成8年度). (財)廃棄物研究財団, 1997;
182-187

渡辺征夫, 後藤純雄, 田中勝, 池口孝, 大迫政浩. 地球
温暖化防止対策技術の総合化に関する研究(1)技術評価
のためのライフサイクル温室効果ガス排出量の分析に關す
る研究(研究代表者: 渡辺征夫). 環境庁地球環境総合研究
終了研究成果報告集(I); 1997; 280-296

河村清史他. 地域環境に対応した生活排水処理施設等の処理水質の高度化に関する研究. 総合研究プロジェクト別環境保全研究成果集. 1997; 93-1~93-35

河村清史他. 合併処理浄化槽の面的整備による地域改善効果の評価に関する研究①~③. (代表者: 佐藤八郎). 月刊生活排水. 1997; Apr.: 51-61, May: 30-36, Jun.: 62-70

河村清史, 大迫政浩, 杉山涼子, 栗原和夫. ドイツの廃棄物処理事例 — バイオごみのコンポスト化と廃自動車の解体・再利用 —. 生活と環境. 1997; 42(7): 1-9

金台東, 河村清史. 限外ろ過を利用した嫌気好気活性汚泥法における蓄積性溶解性物質の挙動とその生物活性に及ぼす影響(その2). 液状廃棄物のエコ処理システムの開発

に関する研究要旨書(平成8年度). (財) 廃棄物研究財団. 1997; 188-193

井上雄三, 山田正人. 液状廃棄物の高速造粒メタン発酵プロセスの開発. 液状廃棄物のエコ処理システムの開発に関する研究要旨書(平成8年度). (財) 廃棄物研究財団. 1997; 170-180

視聴覚資料やデジタル媒体等による研究成果

「ビデオ教材」

横山榮二, 内山巖雄, 田中勝. シリーズ日本の公衆衛生 — 健康リスクから見た今日の環境問題. 国立公衆衛生院: 1997

Originals

Matsui Y, Tanaka M, Osako M. **Risk assessment and risk management in waste life cycle for mercury in used dry cells.** *Japanese Journal of Risk Analysis*. 1997; 8: 13-20

Osako M, Machida N, Tanaka M. **Risk management measures against antimony in residue after incineration of municipal waste.** *Waste Management*. 1997; 16: 519-526

Reviews

Tanaka M. **The evolution of WTE utilization — A global look asian perspective — waste incineration and it's value in Japan.** Proceedings of Fifth Annual North American Waste-to-Energy Conference. SWANA. 1997. 4; 21-33

Askinin B.T., Ikeguchi T. **Development of septage management system in Indonesia, Asia Pacific Tech Monitor.** 1997; 14(3): 33-39

Books

Tanaka M. (share writing) **Risk management for landfill disposal of solid waste.** Environmental Geotechnics 3. Balkema. 1997; 1531-1544

Proceedings with Abstracts

Tanaka M, Osako M, Fujii T. **Decision support model for system design of municipal solid waste (MSW) management based on LCA.** Proceedings of The Third International Conference on ECOMATERIALS. 1997. 9; 355-358

Tanaka M. **Management & recycling of waste in Japan.** The Proceedings of '97 International Symposium on System and Technology for the Recycling of Wastes. 1997. 10; 49-59

Tanaka M. **Risk to human health caused by PCDDs/**

PCDFs from waste incineration plants. Proceedings of the 8th Annual Conference of the Japan Society of Waste Management Experts (English Session). 1997. 10; 4-7

Kim T, Kawamura K. **Characteristics of soluble organic substances accumulated in the anaerobic-aerobic activated sludge process with cross-flow ultrafiltration.** *Asian Waterqual '97*. 1997; 872-879

Ikeguchi T. **Focal points in strengthening landfill regulation and criteria in Japan.** The 2nd French-Japan Science and Technology Symposium, Paris, 1997. 12

Inoue Y, Takahashi J, Tanaka M. **Acceleration of microbial granulation for a start-up phase in a UASB reactor with a UF membrane system.** Proceedings of The 18th International Conference on Anaerobic Digestion. 1997. 5; 79-85

Inoue Y, Shimizu Y, Ohta S, Yamagata S. **A study on the methane emission from the permafrost area in the middle Alaska.** Proceedings of The 18th International Conference on Anaerobic Digestion. 1997. 5; 345-348

Mikami E, Watanabe H, Inoue Y, Haga K, Inamori Y. **Trends of anaerobic treatment in Japan.** Proceedings of The 18th International Conference on Anaerobic Digestion. 1997. 5; 293-300

Yamada M, Inoue Y, Ishiwata N, Tanaka M. **Some control factors in methane emission from landfill,** Proceedings of the 8th International Conference on Anaerobic Digestion Volume 2, 1997; 609-614

Yamada M, Ono Y, Somiya Y. **Accumulation of freshwater red tide in a dam reservoir, Reservoir Management and Water Supply-an Integrated System Conference Proceedings Volume 1,** 1997; 281-288

Ono Y, Yamada M, Somiya Y. **Estimation of phototactic swimming velocity of the dinoflagellate peridinium, Reservoir Management and Water Supply-an Integrated System Conference Proceedings Volume**

1, 1997; 303-310

Teaching Video

Yokoyama E. Uchiyama I. Tanaka M. Series Japan'

s public health-recent environmental problems in preference to health risks. National Institute of Public Health. 1997

附属図書館
Library

原 著

山田兼雄, 森和夫, 木村哲, 三間屋純一, 伊藤正彦, 丹後俊郎. HIV 感染症に対する ddI 単独療法及び SNMC, ddI 併用療法の臨床比較試験. 臨床とウイルス, 1997; 25: 249-261.

著 書

丹後俊郎. 小児基準値の設定方法. 小児基準値研究班編. 日本人小児の臨床検査基準値. (財)日本公衆衛生協会, 1997; 467-473.

総 説

丹後俊郎. 線形関係式における Bootstrap 法の利用方法. 臨床検査, 1997; 41: 830-832.

妙録のある学会報告

丹後俊郎. 実質科学における同等性検定. 1997年度日本行動計量学会, 仙台. 1997.8; 242-243.

丹後俊郎. 不適格例を除外すべきでない臨床試験のデザイン. 第65回日本統計学会大会, 大阪. 1997.7.

丹後俊郎. 統計モデルの視点とデータサイエンス. 第65回日本統計学会大会, 大阪. 1997.7.

丹後俊郎. 研究の種類に応じたデータのまとめ方—統計的方法の適用以前の科学研究者としてのセンス—. 第39回日本消化器病学会大会, 福岡. 1997.10 (医学統計フォーラム基調講演)

山岡和枝, 丹後俊郎. 予測のための Cross Model Validation の利用—, 食物摂取頻度調査からの実摂取量の予測. 第56回日本公衆衛生学会総会, 横浜. 1997.10; 184.

渡辺満利子, 萩野アサ子, 小倉久代, 山岡和枝, 丹後俊郎. 糖尿病予防のための栄養教育評価に関する介入研究. 第56回日本公衆衛生学会総会, 横浜. 1997.10; 1315.

和田正道, 丹後俊郎. 患者の初発と最多発時による摂食時点の推定. 第56回日本公衆衛生学会総会, 横浜. 1997.10.

丹後俊郎. 日本人小児の臨床検査基準値について. 愛知県臨床衛生検査技師会・臨床検査情報システム講演会, 名古屋. 1997.11 (基調講演).

古市圭治, 上畑鉄之丞, 磯野威. 情報科学センターをめぐって. 第10回公衆衛生情報研究協議会, 高崎. 1997.1 (特別講演)

学術報告書等

丹後俊郎. 調査の評価方法—統計学的評価, 東京都編. 東京都衛生検査所精度管理事業報告書, 1997; 9-49.

Originals

Epidemiological Study Group of Nuclear Workers (including Tango, T). First analysis of mortality of nuclear industry workers in Japan, 1986-1992. *Journal of Health Physics*. 1997; 32: 173-184.

Tango, T. Detection of overall space-time clustering in a non-uniformly distributed populations. *Statistics in Medicine*. 1997; 16: 2621-2623.

Proceedings with Abstracts

Tango, T. Clinical equivalence test and confidence interval for the difference in proportions for the paired-sample design. Joint Conference of International Society of Clinical Trials and International Society for Clinical Biostatistics, Boston. 1997. 7.

Tango, T. Comparison of general tests for spatial clustering. WHO/Biomed International Workshop-Disease Mapping and Risk Assessment for Public Health Decision Making, Rome. 1997. 10 (Invited Paper).